農業は、記憶から記録へ。

アグリノート

By ウォーターセル株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

ITの力で勘に頼った農業経営に革新をもたらし、世代を超えたノウハウの伝承が可能に。
PCやスマホで農業日誌・圃場管理ができるクラウド型農業生産管理ツールです。

農作業の記録・作物の生育記録・農薬/肥料の使用記録などを
入力・集計できる(Web版)



日付を指定し、作業項目を
選択して入力できる

航空写真から
圃場を確認して入力できる

アグリノート にオープンデータが追加されたキッカケ

- 農業事業者は農作業の記録を手書きで管理するため、多大な時間と労力を必要としていた。また、汚損や記録忘れのリスクもあった
- 国が保有する農薬・肥料データの参照には手間がかかっていた



オープンデータ追加されて こう変わった！

- 農業事業者はPC、スマートフォン等から記録・集計が可能になり「いつもの作業」の続きで国の農薬・肥料のデータベースを参照できるようになった
- 圃場やハウスなど、いつでもその場でスマホから農薬・肥料データの確認が可能になった



農業は、記憶から記録へ。

アグリノート

By ウォーターセル株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

“農業×ICT”を支えるオープンデータ

アグリノートは、農業事業者がPCやスマートフォンから正確・簡単に農作業を記録することができるクラウド型農業支援システムである。システム内でオープンデータが活用されている。



copyright 2012 Google-画像 地図データ copyright 2011 ZENRIN画像 copyright 2012 Cnes/Spot Image,DigitalGlobe,GeoEye

（公式HPより　作業毎に色分けでき、効率が上がる）

活用しているデータは農林水産消費安全技術センターが公開している農薬データベースである。今までノートに記していた与えた肥料量や農薬使用量といった過去のデータと、手間をかけて調べていた農薬データベースを同時に参照することができる。

農業事業者はアグリノートを利用することで個人の勘やノウハウに頼ることなく、データを基に今後の農薬使用量を調整するなど生産活動の合理化に今後役立てることができるようになる。

このような「農業×ICT」は近年着実に増えている。農業支援システムの基盤としてオープンデータを利用することで、アグリノートは今や情報を駆使する農業従事者にとって欠かせないツールとなった。

農薬データといった一見静的なデータでも、業務効率化のためにビジネスやサービス付加価値を与えることができる。アグリノートは事業に更なる価値を与えるためにオープンデータを活用した成功例である。

使用データ	農林水産消費安全技術センター(FAMIC) 農薬データベース
データ形式	CSV
提供形態	Webアプリ、スマートフォンアプリ
受賞歴	―
地域	全国

アグリノートは“進化する”

アグリノートは「ユーザー参加型開発」を掲げている。これはシステム開発者と意欲的な農家・農業法人がインターネットで情報を共有しながら、より使いやすいインターフェースを作成していく方法である。

実際の機能にも「記録をつけるのは面倒」「大量の農地を覚えておけない」といったユーザーの要望が反映されている。

センサー乗降データでバス路線の最適化！

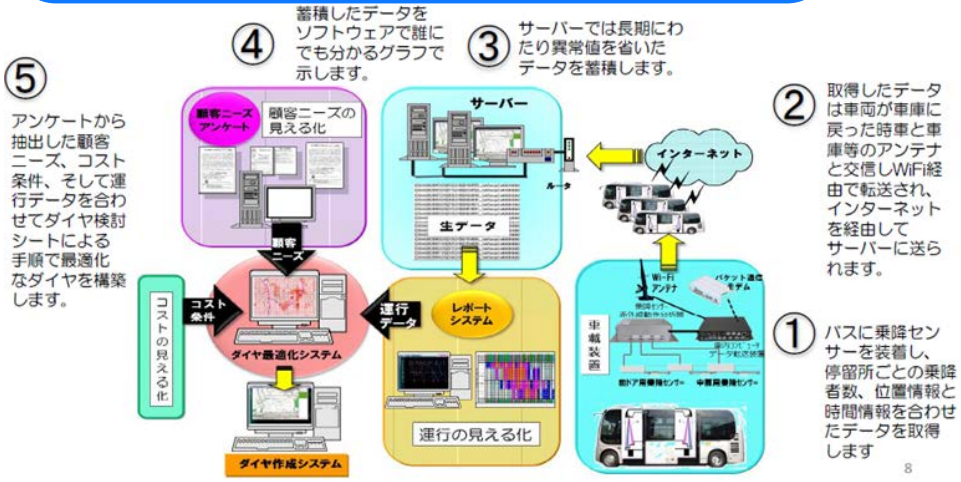
イーグルバス

By イーグルバス株式会社

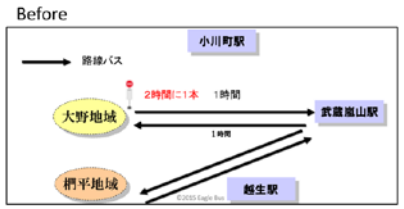
防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

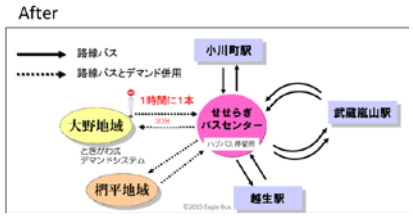
バスに簡易なセンサーを設置し、データを活用した最適化等を通じ、路線バスを再生。
さらに、新しいハブ停留所を設置し、生活関連施設を整備するなど、地域活性化にも寄与。

バスの入口と出口にセンサーを配置し、区間毎・時間帯毎の乗車率を把握（運行状況の見える化）



この区間毎・時間帯ごとのデータを基に、最適なルート、時間を設定し、ルートの改廃及び新たなハブ停留所を設置。





イーグルバス誕生の キッカケ

- 路線バス事業者の7割、大都市圏を除けば9割が赤字
- 勘と経験に頼った経営からデータを基にした見える化で赤字バスを復活したい
- 輸送の効率化だけでなく、ハブを作りそこを交通だけでなく地元の生活施設や観光施設を入れた小さな拠点として地域自体を活性化させたい



イーグルバスでこう 変わった！

- 車両数を増加させることなく、輸送量を1.5～3倍に拡大。企業としての収益改善と同時に、地域住民の利便性を高めた。
- 同システムは、十勝、宇部及びラオス・ビエンチャン市のバスにも採用。



センサー乗降データでバス路線の最適化！

イーグルバス

By イーグルバス株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

運行状況の見える化へのチャレンジ

日本のバス業界は、日本の少子高齢化による理由で、乗り合いバス事業者の75%が赤字、地方のバス事業は88%が赤字であり、毎年約2000kmの路線が廃止されている。乗合バスの通勤・通学の利用者が高齢化による定年退職者の増加、少子化による通学者の減少によって年々減少を続けている。



イーグルバス株式会社
代表取締役　谷島　賢

イーグルバスは1980年に設立。2006年、隣接する市の乗合バスが赤字撤退し、地元の要望を受けて、2013年に乗合いバス事業に参入。「なぜそこに停留所があるのか？」路線バスはデータがなく、運行の計画は職員の勘と経験だけでやっていた。そこで、路線バス事業の見える化に取り組み「運行・顧客・コスト」に加え、「改善過程」の4つの見える化を進めた。PDCAサイクルをバス業界向けに再定義し、ハード・ソフト・プロセスの三位一体による「PDCA3年改善モデル」を考案、7年間改善を実施した。

ハード開発ではバスの入り口に赤外線センサーとGPSを設置し、停留所ごとの乗降人数と各停留所の通過時刻を計測するしくみを構築。自社開発したデータの「見える化ソフト」によって、停留所ごとの乗降数、乗車人数、バスの遅延表示に加え、問題点の自動抽出やシュミレーション機能によって運行を見える化。併せて、短期、中期、長期の複数のアンケートで顧客ニーズを取得し、改善すべきポイントを包括的に分析。

埼玉県ときがわ町の交通再編で町の真ん中にハブのバス停留所を設置。バスを集約して乗り換えるハブ＆スポークを実証し、輸送効率と利便性のアップを実現した。
乗り換え機能をもつハブバス停留所にいろいろな施設機能を集約すれば住民の生活の質が上がる。ハブに施設機能だけでなく行政サービスを集約すればコミュニティの場になる取組みを東秩父村で開始。「和紙の里ハブ化構想」としてサービス機能を集約、観光誘致、産業雇用創出、交通の利便化が一挙にできる包括モデル、日本のモデル化を目指している。

使用データ　バスに」設置した赤外センサーによる乗降データとGPSで取得したデータ

データ形式

提供形態　自社開発見える化ソフト

受賞歴

- 08年ハイ・サービス日本300選（サービス産業生産性協議会）受賞
- 12年日経BP社が表彰する第11回「日本イノベーター大賞」優秀賞受賞
- 14年平成26年度情報化月間（経済産業省、総務省、文部科学省、国土交通省主催）情報化促進貢献企業として国土交通大臣表彰を受賞
- 16年、地域情報化大賞2015（総務省）にて、奨励賞を受賞

地域　埼玉県県。十勝、宇部、ラオス・ビエンチャン市のバスにも採用

「ハブ&スポークを活かした拠点づくり」で地域の活性化を！

- 人流が多い生活路線バスのハブバス停留所に住民の生活施設機能の施設と観光客のための観光施設を設置し、地域の活性化や、広域サービスの多様化につなげる
- 埼玉県東秩父市の和紙の里ハブ化構想などに取組んだ

借りたい一冊、見つかる！

カーリル

By 株式会社カーリル

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「読みたい本があるけれど、どこの図書館で借りられるか分からない」も今日で終わり。
全国6,000以上の図書館から貸出状況を確認できる、日本最大の蔵書検索サイトです。(2010年3月サービス開始)

① 本のタイトルを検索すると…



② 現在地から近い図書館の蔵書・貸出状況が分かる



全国6,000以上の図書館からリアルタイムの貸出状況を確認できる

カーリル 誕生の キッカケ

- 既存の図書館システムは各自治体が独自にサービスを確立させていたため、利用者にとっては個別に蔵書情報や貸出状況を調べる必要があった
- 海外に比べ日本人が図書館を利用する数は少なく、一部の自治体は利用促進が必要だと考えていた



カーリル でこう 変わった！

- 利用者にとって複数かつ多数の図書館等の蔵書情報や貸出状況が簡単に検索できるようになったため、図書館の利用促進に繋がった
- 民間企業が再構築することで、自治体が予算をかけずに使い勝手の良いサービスが制作できた



借りたい一冊、見つかる！

カーリル

By 株式会社カーリル

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

“日本だからできた”図書館システム



（カーリル運営会社の皆様　公式HPより）

カーリルは全国6,000以上の図書館の蔵書情報と貸出状況を簡単に検索できるサービスである。予め現在地を登録しておき、本のタイトルを入力すると、現在地から近い図書館の蔵書・貸出状況を確認することができる。加えて、Amazon等の書誌データベースと連携しており、検索した本を今すぐ手に入れたい場合はインターネット購入することも可能である。

カーリルが大きく飛躍した背景として日本の図書館サービスの品質の高さが挙げられる。例えばアメリカの図書館では、中心都市だけ図書館が発展しているため、地方によって受けられるサービスが異なるが、日本の図書館の場合は均質なサービスを全国どこでも受けられる。しかし、利用者目線で図書館情報や蔵書情報を提供する手段がなく、全国均一かつ提供サービスの品質が高いというポテンシャルが有効活用されていなかった。

創業者はこの点に着目し、独自に図書館から情報を収集してカーリルを開発した。民間企業が図書館利用者を伸ばすことで公共の分野に対してイノベーションを起こす、という切り口で生まれたカーリルは、民間ならではの使い勝手がよくポップでおしゃれなインターフェイスが利用者の好評を博した。経済産業省が2014年に開催した「IT融合フォーラム 公共データワーキンググループ」では、オープンデータの利用をビジネス化した成功事例として挙げられるなど、その名前は全国に知れ渡っている。

使用データ	図書館蔵書データベース
データ形式	独自形式
提供形態	Webアプリ
受賞歴	WISH2010 – asahi.com賞等 他2つ
地域	全国6,000以上の図書館

利用者の声

横断検索だったら都立図書館のサイトでもできるけど、こちらは読みたいリストを保存できるから便利！！

目的と手段の組み合わせを両立させたユーザーインタフェースの考え方が素晴らしい。

※カーリル社のデータベースの情報はカーリル社が独自に収集したものであり、自治体自らがデータを公開する「オープンデータ」とは若干異なる性質のものです。

もっと、お金に、楽しさを！

家計簿・会計アプリ Zaim

By 株式会社Zaim

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

自分が受けられる給付金や医療費控除、きちんと確認できていますか？
簡単に家計簿をつけながら国からの保障も見逃さない、500万人が利用するオンライン家計簿アプリ。

（2011年7月サービス開始）

プロフィールを登録するとユーザーが受けられる給付金を教えてくれる



家計簿から医療費控除の対象になる可能性のある支出を自動的に抽出。そのまま申告に使える医療費集計フォームのエクセルファイルを自動で作成

Zaim にオープンデータが加えられた キッカケ

- 給付金の支給条件は地域ごとに様々であるため、自分の住んでいる地域の情報を自ら収集する必要があり、住民の負担になっていた
- 医療費控除の請求は、年間の家族の治療費や交通費などの合算と申請の手間が負担になっていた



Zaim はオープンデータが加わってこう 変わった！

- 家計簿の記録やプロフィール情報から
もらえる可能性がある給付金や手当を割り出せるため、
探しやすさが増して負担軽減につながった
（「わたしの給付金」では国・全国1,718自治体に対応）
- 国内初のサービスとして独自機能のひとつとなった



もっと、お金に、楽しさを！

家計簿・会計アプリ Zaim

By 株式会社Zaim

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

公共データでサービスを格上げ

家計簿・会計アプリZaimでは、国や地方自治体（日本全国すべて）の給付金データを集約し、それらを居住地域等のユーザーのプロフィール情報に合わせて抽出することができる。（インターネット上に公開された自治体の情報を元にしてデータ化）

通常医療費控除の申請の際には国税庁が運営するウェブサイト「確定申告書等作成コーナー」から必要事項を記入して申告書類をPDFで出力し、印刷して提出する必要があり、手間がかかっていた。しかしZaimでは医療費控除用の書類として「医療費集計フォーム」を自動的に生成する機能があるため、ユーザーは申告書類を準備する手間を大幅に削減できる。

このような機能がついた背景には、確定申告の際困る人が多いと言われる医療費控除の計算をzaim機能としてどのように組み込むか、ということが出発点だったようだ。

きめ細かな機能開発が奏功し、Zaimの評判は口コミで広まり、広告費はほとんどゼロで現在では500万ダウンロードに達している。

使用データ	給付金・手当・控除情報
データ形式	―
提供形態	Webアプリ・スマートフォンアプリ
受賞歴	グッドデザインベスト100
地域	国内全域（海外通貨対応）

利用者の声

自分の居住地域の給付金の確認ができる！
この機能がある家計簿アプリははじめて！

まさか自治体からそんな補助が出るなんて
という給付金を知ることができた。

花粉症の日常を、ちょっと新しい体験に。

花粉くん

By 株式会社 博報堂アイ・スタジオ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

花粉症の日々は、辛いもの。花粉症体験をより楽しいものにできないか？
そんな制作者の想いと遊び心から生まれたKTP（カフン・ツライ・ポイント）を算出するアプリです。

① アプリを開くと、
当日のKTPが表示される

② 本日の花粉飛散量をグラフ化
地域ごとのランキングも閲覧できる



花粉くん 誕生の キッカケ

- 花粉症は住民にとって日常的かつ深刻な悩みであり、外出を控えることも多かった
- 自治体等が発表する飛散量などのデータを閲覧するには手間がかかり、花粉症患者にとって利用しにくかった



花粉くん でこう 変わった！

- 独自の飛散指数であるKTPを基準に、グラフやランキングで花粉飛散量と地域を可視化したことで事前の対策が可能となった
- 民間企業の開発する可愛らしいインターフェースを通じ間接的に住民が自治体のデータを利用するようになった



花粉症の日常を、ちょっと新しい体験に。

花粉くん

By 博報堂アイ・スタジオ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

オープンデータを“可愛く”使う

花粉くんはオープンデータとして公開されている花粉飛散量と飛散地点周辺や観光スポットでTwitterへ投稿された情報から算出した独自の体感ポイントKTP（カフン・ツライ・ポイント）や、総合花粉情報をオリジナルキャラクター「花粉くん」が毎日お知らせするアプリである。



花粉くん

このアプリではビッグデータ解析言語「R」を使った花粉飛散地周辺ツイートの即時解析・言語解析をオープンデータと組み合わせることで、独自の指標を生み出している。

また、花粉量に応じたヒートマップ表示やKTPの数値をグラフ化することで、利用者にとって一目で情報が分かるようになっている。

そして何より、花粉くんの特筆すべきはそのデザイン性にある。利用者に興味を持ってもらえるよう、アニメーション・キャラクターはもちろん、データ読み込み時のバッファで聞くことができる花粉ソングなど徹底的に「使って楽しい」演出が施されている。単に花粉情報のみを表示するのではなく、利用者が“使って楽しい”と思えるアプリに昇華した点は民間企業ならではのオープンデータ利用例である。

使用データ	花粉飛散量、Twitter投稿情報
データ形式	（要確認）
提供形態	Webアプリ、スマートフォンアプリ
受賞歴	オープンデータ・アプリコンテスト 2014年度　最優秀賞　ほか
地域	千葉県　ほか

利用者の声

google play / ポストコより

- 全国版が欲しい！歌が可愛い～
- 千葉県限定で終わりにして欲しくない。有料でいいので全国版や各県版がほしい
- そろそろ花粉が激しくなってくる季節です。これがあれば、少しは花粉が楽しめるかも！
- 観光地の花粉量が分かるので、遊びに行く時に利用します

住宅を建てる前に、地震のリスクがすぐ分かる！

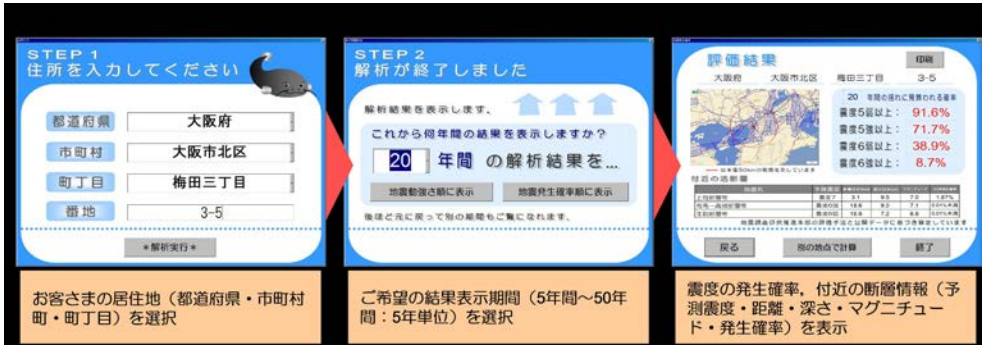
ココゆれ

By 大和ハウス工業株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

家を建てる全ての人が抱える「地震が来たら危ないかな…」という不安。
「ココゆれ」はあなたの家が建つ場所の地震発生確率や予測震度のリスクを教える評価ツールです。
（2012年11月サービス開始）

大阪・梅田に住宅を購入する予定の場合



建設予定地の住所を入力することで、
地震発生確率や予測震度を診断してくれる

ココゆれ 誕生の キッカケ

- 住宅の購入を検討する人は、購入する土地の地震リスクを把握したいという潜在的なニーズがあった
- 国が地震の被害が起きやすい地域をまとめた地図はあるものの、専門的な知識が必要となるため自治体や個人は利用しにくかった



ココゆれ でこう 変わった！

- 地震の発生確率や予測震度が簡単に読み取ることができるようになり、顧客は専門的な知識を持たなくても地震リスクを自身で調べられるようになった



住宅を建てる前に、地震のリスクがすぐ分かる！

ココゆれ

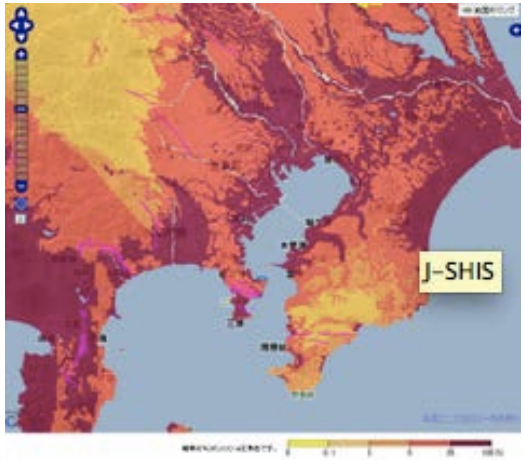
By 大和ハウス工業株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

オープンデータで付加価値を

「ココゆれ」は戸建住宅の購入を検討している顧客を対象として、建設予定地での地震発生確率や予測震度などのリスク情報を即時に提供する地震危険度評価ツールである。

任意の地点を選択することで、5年先から50年先まで5年単位の、震度5以上の地震の発生確率と当該地点付近の予測震度・距離・深さ・マグニチュード・発生確率といった断層情報を解析し、約30秒で結果を表示することができる。



（出典：J-SHIS MAPより
http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/ ）

「ココゆれ」が利用しているデータ「J-SHIS」は独立法人防災科学技術研究所が開発したシステムが保有するデータである。文部科学省・地震調査研究推進本部が作成した「全国地震動予測地図2010年版」を基に、消費者が専門的なデータを閲覧しなくてもブラウザで地震リスクを簡単に検索できる、オープンソースソフトウェアによるWebマッピングシステムとして開発された。

そして、大和ハウス工業はこの「J-SHIS」を利用して住宅の購入を検討する顧客に分かりやすいツールを生み出した。地震リスクという公的データが流れながら、それぞれの段階で消費者が利用したくなる付加価値が付けられ、高度に活用されている。公的なデータを公開することで、データを利用したサービスの波及が生まれている好例だろう。

使用データ	地震ハザードステーション J-SHIS が保有する地震動予測に関するデータ
データ形式	CSV、シェープ、KML ※J-SHISが提供しているオープンデータの形式
提供形態	Webアプリ
受賞歴	―
地域	全国

地震に強い家を検討する

誰でも地震が起きる確率が少ない地区に住みたいと考える。しかし、いくら確率が少なくとも、その発生を阻止することは不可能である。そこでできるだけ被害が及ばない家を建てることも重要となる。

大和ハウス工業は、耐震・制震技術を用いた戸建住宅「xevo（ジーヴォ）」シリーズを販売している。この住宅を建てる際は、最新の技術の中から顧客の希望に合わせ地震対策を選択できる。「ココゆれ」で得たデータを顧客に提示することで、地震に強い家を勧める検討材料としている。

鯖江の新たな魅力、発見！

さばえぶらり

By ATR Creative

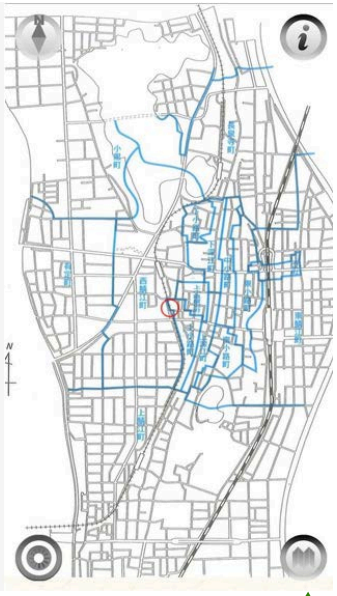
防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

さばえぶらりを開けば、観光情報やグルメ情報、Wi-Fi設置場所など便利な情報がたくさん！
思わずスマホを片手に街歩きしたくなる、新しいカタチの地図アプリです。(2013年1月サービス開始)

イラストマップ上に
様々な情報をわかりやすく
アイコンで表示







古地図などを表示して
現在の街と
見比べることができる

さばえぶらり 誕生の キッカケ

- 地図や観光情報などは公開しているものの、まとめて市民や観光客に伝えられるサービスは存在しなかった



さばえぶらり でこう 変わった！

- 市民や観光客がアプリ上で観光・グルメ・公共施設情報などを確認しやすくなり、市の盛り上がりを促した
- 古地図に切り替えれば歴史の移り変わりを感じながら街歩きを楽しめ、市の新しい魅力発見に繋がった



鯖江の新たな魅力、発見！

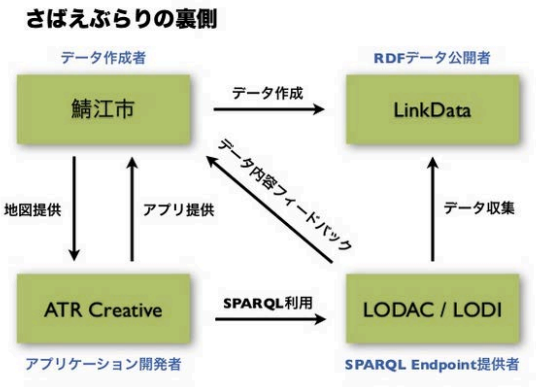
さばえぶらり

By ATR Creative

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

“役割分担”という必勝法

さばえぶらりは、現地に住んでいる人も新しく訪れた人もさらに鯖江を楽しむことのできる街歩きのためのアプリである。鯖江市を中心に描かれたイラストマップや古地図を見ながら街歩きができるだけでなく、公共施設や観光・グルメ・バス停の情報やWiFi設置場所等の多数のデータもアプリ内で確認できる。



しかし、このアプリが表しているのは鯖江の新たな魅力だけではない。さばえぶらりが体現しているのは、オープンデータを通した産官学協働のスタイルである。

鯖江市がデータ作成とオープンデータ化を行うことにより、学術機関がそのオープンデータを利活用するための整備を、そして民間企業はそのプラットフォーム運用と実際に広く利用できるアプリを作成することができた。

このように自治体、学術機関、民間企業が、それぞれの立場で別の役割を担っている。

行政はオープンデータの作成と管理に、民間はその利用性の向上に専念する、つまりそれぞれの専門分野に注力することにより実装に成功している。オープンデータ推進において重要な”仲間づくり”には様々な形があるが、そのお手本とも言える事例のひとつである。

使用データ	地図・観光・公共施設情報ほか
データ形式	JPEG（地図）、XML、RDF
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	LODチャレンジ2011−公共LOD賞他
地域	福井県鯖江市（同種アプリ（ちずぶらり）数：50超）

XMLとRDFって、なに？

オープンデータを使って何かをつくってみよう！というときに、XMLやRDFという単語を目にする機会は多いだろう。XMLは多様な情報を”意味”と”内容”に分けて記述ルールのことで、広く利用されている。

RDFはXMLの記述ルールに従ってデータをつくりあげる規格のことである。

人間がデータそのものを閲覧する場合にはエクセル形式などが扱いやすいが、RDFやXMLなどの広くアプリ開発に利用される記述方法でデータをオープンにすることでさらなる利活用を見込むことができる。

日本国内の不動産の相場感が分かる！

GEEO（ジーオ）

By おたに

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「物件の相場観が分かりづらい」という声に応え、オープンデータをベースにした1000項目以上のデータを使い、独自のアルゴリズムで不動産価格を予測し、地図上に表示。不動産取引における情報格差を是正。
（2014年9月 サービス開始）

地図上の対象地点の不動産価格を表示 （売買・投資物件、自宅の資産価値の検討等に有効）



時系列で価格表示も可能。

GEEO誕生の キッカケ

- 不動産取引の際、買い主と売り主の間の情報に偏りがあり、売り主は物件の内容を把握しているが、買い主が入手できる情報は限定的で、判断材料に乏しい。
- 路線価等は公開されているが、一般の消費者には見方がよく分からない。



GEEOでこう 変わった！

- 過去の取引価格に限らず、物件の種類や間取り、建築年、建築物の構造などを指定することで、ピンポイントで予測価格を把握可能。
- 独自のアルゴリズムにより、過去の取引価格に限らず、路線価、国勢調査、住宅・土地統計調査などのオープンデータをベースに、1000項目以上のデータを加味した情報から価格を算出。



日本国内の不動産の相場感が分かる！

GEEO（ジーオ）

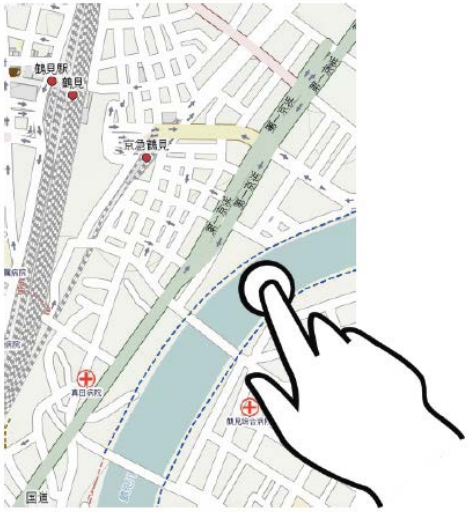
By おたに

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

独自のアルゴリズムで物件販売価格を予想し、不動産市場の健全な流通を実現

国内における不動産取引市場においては、現状、物件の履歴など多くの情報を持つ売り主が圧倒的に有利という状況になっている。買い主にとっては物件内覧などの限られた情報で判断するしかなく、その価格決定のプロセスも素人には理解が困難である。

このような市場の不均衡を是正するためには、簡単に物件価格を算出し、買い主が入手できる情報を底上げすることが必要となる。



GEEOでは、総務省統計局や国土交通省などが提供している路線価、国勢調査、住宅・土地統計調査などの官公庁系オープンデータをベースに、独自のアルゴリズムで物件の販売価格を予想する。これにより、購入を検討している物件がお得なのかそうでないのか、買い主自身による判断が可能となる。

価格予想にオープンデータを取り入れることで、解析対象となるデータ量は格段に増加し、アルゴリズムの工夫次第では、今後、データから解釈できる内容を広げることもできる。

また、物件価格は、地理空間分析用の機械学習機能を用いたエンジンによって算出されており、このエンジンは汎用性の高さから、不動産の価格だけでなく、他の分野を対象にしたエリアマーケティングツールの1つとしても利用可能である。例えば、犯罪や事故の発生、売上高等の予測に利用される。

使用データ	路線価、国勢調査、住宅・土地統計調査等
データ形式	ー
提供形態	Webアプリ、有償API等
受賞歴	Mashup Awardオープンデータ部門最優秀賞、2015年オープンデータ・アプリ総務大臣奨励賞 受賞
地域	日本

開発の背景

一般的に、不動産取引は、物件の履歴などの多くの情報を持つ売り主側に圧倒的に有利な状況となっている一方、買い主側は、物件内覧などの限られた情報しかなく、不動産価格の妥当性の判断が難しい状況にある。

買い主が、不動産仲介業者や売り主を通さず、第三者的な立場で簡単に物件の販売価格を算出できるサービスがあれば、不動産取引の透明性は高まり、市場の健全化につながる、と考えて、本サービスは生まれた。

あなたの住みたい街の戦闘力はいくつ？

周辺環境スカウター

By 30min.（株式会社イード）

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

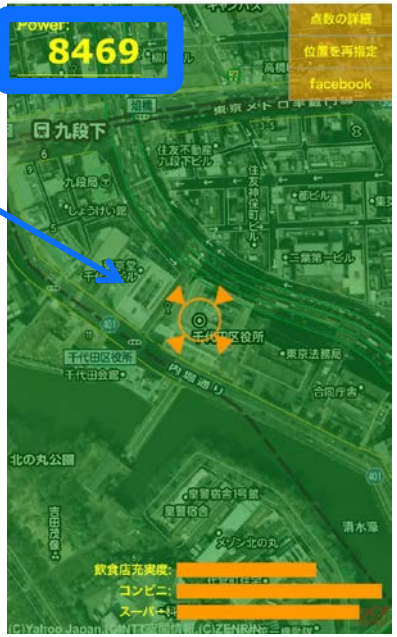
家賃や間取りには満足していたけれど、実際に住んでみないと周辺環境が分からない…。
そんな声に応えた、指定した住所の住みやすさを「戦闘力」で数値化してくれるWebアプリです。

サンゼロミニッツの地域情報データに基づいて、
周辺環境の利便性を独自のスコアで表示する

① 住所を入力して
検索ボタンを押す



②その地点の戦闘力が表示される
（右上タブから詳細が確認できる）



周辺環境スカウター 誕生の キッカケ

- 賃貸情報サイトを運営するサンゼロミニッツは、街によって異なる周辺環境を一概に定量的に示すツールを必要としていた
- 顧客にとって、物件の周辺環境は実際に住んでみないと利便性がよく分からなかった



周辺環境スカウター でこう 変わった！

- 物件の立地に着目し、交通の利便性や商業活性度を分かりやすく遊び心のある評価指標「戦闘力」として示すことで、話題を呼んだ
- 顧客は探している物件の周辺環境を容易に自宅やと他の候補地と比較できるようになった



あなたの住みたい街の戦闘力はいくつ？

周辺環境スカウター

By 30min.（株式会社イード）

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

“賃貸情報サイト”の遊び心

周辺環境スカウターは、タウン情報サービス30min.（サンゼロミニッツ）が賃貸情報サイト「サンゼロ賃貸」において提供しているWebアプリである。

ブラウザの位置情報や住所を入力すると、指定された位置の周辺環境スコアを「戦闘力」として表す。

この周辺環境スコアは、周辺飲食施設の充実度やコンビニへの近さなどの生活面から、保育園への近さ・保育園の定員に対する待機児童数の少なさといった子育てに関する情報まで、30min.が賃貸情報サイトを運営する中で得た地域情報データに基づき独自に算出される。これらは、スカウターの右上のボタンを押した詳細画面で確認可能である。



アプリ画面より　千代田区のスコア詳細

賃貸を契約したい顧客にとって、物件そのものの情報ではなく、周囲に何があるかを客観的に知ることは困難であった。30min.は公開されたデータと培ってきたノウハウや情報をもとに、“遊び心”を交えて顧客に寄り添ったサービスを提供することに成功した。

使用データ	店の位置情報（飲食店、コンビニ、スーパー、レンタルショップ）
データ形式	独自形式
提供形態	Webアプリ
受賞歴	—
地域	全国

ネット上で話題になったスカウター機能

このサイトは本来引っ越しを検討する人向けに作成されたアプリではあるが、公開されると「マンガで見たような戦闘力の面白さ」「自分の住む土地はどのくらい“戦闘力があるか”を競える」ため、ネット上でたちまち人気を集めた。

また、検索した結果はSNSの共有機能等で友達に公開することができるため、賃貸に関心のない人にまで広く知れ渡った。

いざという時。すべての人に、避難のための情報を

全国避難所データベース

By 電通・ゼンリンデータコム

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

避難所情報は膨大で、よく変わる。
正確で豊富なデータの鮮度を常に保って提供する、唯一の避難所データベースです。(2014年12月サービス開始)







複製許諾番号付与（Z15**第***号）

有償サービス（AreaCutterfor避難所）

全国避難所データベース 誕生の キッカケ

- 各所で保存・保管している紙の避難所情報は、一次情報が改定された時に編集し直したり、地図の使用・印刷の申請はかなりの労力と手間が必要だった
- スマートフォンなどの情報端末を持たない地域住民やイベントなどへの来訪者に対しては避難所情報を的確に伝達することはむずかしかった

全国避難所データベース でこう 変わった！

- サイト運営者が年に複数回独自に自治体等へヒアリングを行い、情報を更新し、さらに使用・印刷許諾権を取得しているため、常に鮮度の高い情報提供が可能になった
- 自治体には情報の無償提供を行っているため、自治体は制作・配布のコストを下げることができる。民間企業は有償ではあるが正確な避難所の情報を提供できるようになった。

いざという時。すべての人に、避難のための情報を

全国避難所データベース

By 電通・ゼンリンデータコム

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

避難問題への解決策を、ITで



全国避難所データベースは、電通とゼンリンデータコムが開発した避難所情報のデータベースである。電通が企画および仕様策定の役割を担い、日本最大のデジタル地図情報提供事業社であるゼンリンデータコムが運用および営業窓口の役割を担っている。

内閣府と全国の自治体が公開している避難所情報に正確性・更新性・網羅性を付加してまとめており、全国の自治体と在日外国大使館に対しては無償提供が行われている。（民間企業は有償利用）

さらに高度な活用をするための有料の解決策としては、市町村単位で避難所情報が付加された地図を配布枚数の制限を設けず提供する「AreaCutter for避難所」の提供が行われている。これによりスマートフォンなどの情報端末を持たない住民への対応も可能となる。

また、在日外国大使館と外国報道機関向けに英語版の提供も行われている。避難所の名称や住所が英語表記でまとめられており、これまで問題とされていた訪日客や在日外国人の避難情報不足への解決策となることが期待できる。

東日本大震災以降、全国的に防災に対する意識は高い。正確でわかりやすい防災情報の提供が求められる中、官民ともにその実現に向け全力を挙げている。

使用データ	内閣府と地方自治体が公開する避難所情報
データ形式	CSV、RDF、PDF（ASP,APIでの提供も可能）
提供形態	Webアプリ
受賞歴	オープンデータ・ユースケースコンテスト ー優秀アプローチ賞 他3つ
地域	全国(登録避難所数：約15万件)

コンテストで賞を狙え

日本では、オープンデータ普及を目指してコンテストが多く開催されている。200作品以上が集まるもの、総務省や民間企業がデータソースを提供するものなど、種類もさまざま。同時にハッカソンを開催し、アイディアを持つが技術はないひとも技術者を見つけて協力することができるものまである。受賞すれば賞金が手に入るだけでなく、サービスとしての質が保証されることにもなる。オープンデータを活用して何かをつくる際には、ぜひコンテストを視野に入れてほしい。

介護を支える、新しいカタチ

ミルモ

By 株式会社ウェルモ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

介護現場で課題とされている、適切な施設探し。1つの施設を探すのに3日かかることも。
もしそれを30分にまで縮めることができたら…？そんな願いを実現した、介護者を支えるサービス。（2014年4月頃 サービス開始）

介護に必要な情報がタブレット上で確認できる
（ミルモタブレットの使用画面例）



ミルモ 誕生の キッカケ

- 介護に関する情報は散在しており、
  情報を集約して介護現場に伝えられていなかった



ミルモ でこう 変わった！

- 自治体が提供する介護事業所情報（約2,100か所）をまとめて提供できるため、介護現場の負担を大幅に減らした
- リリース後1年半で、ケアマネージャの半数以上が使用するアプリに成長
- オープンデータを介護者に対し活用することにより
  “高齢者を支える人向け”として新たな可能性を示した



介護を支える、新しいカタチ

ミルモ

By 株式会社ウェルモ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

公共データは＋αで新ビジネスに



ミルモの基礎を構築しているのは、厚生労働省が公開している介護事業所データなどのオープンデータである。これまでケアマネージャーは、福岡市内で約2100ヶ所を超えるそれらの事業所についてを自ら調べ、必要な際には直接電話をし、要介護者に適切な施設を選ぶのに平均して3日の時間をかけていたという。

株式会社ウェルモは福岡市から住所・介護保険のあらまし・事業所番号・福岡市の障がい福祉加算情報・各窓口・連絡先一覧等・人員配置等の情報デジタル化許可を受け、さらには独自に収集した各所の配食やボランティアの情報などデータを情報プラットフォーム上に集約し、ミルモをつくりあげた。これによりケアマネジャーや家族の負担は大幅に軽減された。行政が公平性を担保しつつ公開するオープンデータに民間だからこそできる工夫を加えることで、新たなビジネスを構築している。

リリース後18か月時点で、福岡市内では包括支援センターでは95%のシェア、ケアマネジャー向けタブレットサービスは 66%のシェア、施設向けクラウドCRM対象介護事業所は27%シェアという圧倒的なシェア獲得を実現した。

使用データ	厚労省・福岡市・福岡県警提供の介護事業所情報
データ形式	HTML、PDF、XLSほか
提供形態	Webアプリ、タブレットアプリ、CRMシステム
受賞歴	福岡ビジネス・デジタル・コンテンツ賞2015 ―優秀賞、地域情報化対象2015ほか
地域	福岡市

電子行政オープンデータ戦略

日本政府は平成24年7月に「電子行政オープンデータ戦略」を発表している。これは政府が積極的に公共を公開することや営利・非営利目的に関わらず活用を促進することなどを原則とした取組である。これ以降、各省や自治体はこぞって公共データを公開している。つまり、ミルモのように新ビジネスや新サービスになり得るデータがまだ眠っている可能性があるということだ。日本のオープンデータへの取組はまだ始まったばかり。とりかかるなら今がチャンスである。

気象庁が発表するあらゆるデータを活用

HalexDream!

By　株式会社ハレックス

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

気象庁から発表される各種データを加工することにより、予報の詳細化、更新頻度アップ、データハンドリング性向上を実現。

気象庁の各種発表データを分析・活用する。



HalexDream! 誕生の キッカケ

気象庁が提供するデータでは事業者のニーズは十分に満たし切れていないところに着目してサービスを開発。気象庁が提供する各種データにHalexDream!ならではのデータハンドリング性向上等の付加価値を加え、事業者の抱える業務上の課題解決に資する気象データとして提供している。

HalexDream! でこう 変わった！

HalexDream!にて下記3点が実現。

- 地域特性を補正することにより予報の精度を向上
- 予測と実測の同化により1日48回のデータ更新を実現
- XMLやCSV、APIによりデータハンドリング性の向上

これらにより、各消費者の目的に合致したデータの提供が可能となった。

気象庁が発表するあらゆるデータを活用

HalexDream!

By　株式会社ハレックス

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「気象情報の新しい市場価値」の創出

ハレックスでは、気象庁から発表される既製の情報(天気予報や警報注意報など)に加え、予報の元となる膨大な予報基礎データ(数値予報データ)や、5分に1回更新されるナウキャストデータなどを自社のデータセンターに取り込み処理している。これにより気象庁提供の個別データでは難しかった下記の課題を解決している。

・地理的分解能の向上
・時間分解能の向上
・データハンドリングの容易化

地理的分解能については、気象庁発表では予測範囲が5～20kmの格子状であるため地形の変化が激しい地域では正確な予報が困難であったのに対し、地域ごとの特性補正を行うことで予測範囲を1kmの格子状に細分化して1km格毎の標高補正を実施することで向上させている。

時間分解能については、1日4回発表される1時間単位の時系列予報情報では予報と実況の乖離が発生していたのに対し、最新のアメダス観測データによる実測補正、および降水ナウキャストなど、レーダー観測データを活用して1日48回の予報更新を可能としている。

データハンドリングについては、独自圧縮かつ取り扱いに高度な専門知識が必要であった、気象庁から提供されるデータをCSV等の簡単に読み取ることができる形式へ変換することで容易化している。

使用データ	気象庁発表の各種データ
データ形式	独自形式
提供形態	XML、CSVやAPIを提供
受賞歴	朝日新聞等に紹介される。
地域	日本全国

利用者の声

これまでは天気予報の更新タイミングが1日4回しかなくて急変時に天気予報が外れることがあったけど、HalexDream!は頻繁な更新があるため、最新の予報がわかって助かる！

地域によっては実際の天気と気象庁が発表する天気情報が異なることがあったが、HalexDream!は地域補正があるため実際の天気と近い情報が提供されて便利。

カーナビデータを活用した事故多発箇所、危険箇所の提供

セーフティマップ

By 本田技研工業株式会社

平成29年7月12日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

行政から提供される交通事故発生状況に係るデータと、カーナビデータから得られる急ブレーキ情報、
さらに危険箇所に係る住民の声をもとに、事故多発箇所や要注意箇所を地図上に提示するサービスです。
（2013年　サービス開始）



セーフティマップ 誕生の キッカケ

- 各自治体では交通事故防止に向けた対策を推進しているが、車同士の事故は減少しても自転車・歩行者の死傷者数が減少しないことが課題となっていた。
- 自転車・歩行者の事故対策は、行政内に保有している情報だけでは限界があり、安全対策をより効率的・効果的に行うための取組み・仕組みが必要となっていた。



セーフティマップ でこう 変わった！

- 急ブレーキ多発箇所や要注意箇所を特定することができ、行政が効率的に自転車や歩行者を中心とした交通安全対策を実施
- 埼玉県の事例では、平成23年度までに県内で160カ所の安全対策を実施した結果、急ブレーキが約7割、人身事故が約2割減少



カーナビデータを活用した事故多発箇所、危険箇所の提供

セーフティマップ

By 本田技研工業株式会社

平成29年7月12日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

様々なシーンでの交通安全対策に活用

■急ブレーキ多発箇所における交通安全対策への活用

急ブレーキ多発箇所を特定し、以下の安全対策を低予算で効果的に実施。

・街路樹の剪定
（急ブレーキ回数が8回から3回/月に減少）
・路面標示による注意喚起
（急ブレーキ回数が9回から0回/月に減少）
・ポストコーンの設置



■通学路における交通安全対策への活用

県管理道路で、歩道が十分に整備されていない通学路を対象に（約320km）、朝夕2時間の登下校の時間帯に照準を当て、急ブレーキ多発箇所等の情報を調査。

平成24年度は31カ所、平成25年度は53カ所に対して対策を実施。



使用データ	自治体：交通事故情報、ゾーン30 Honda：急ブレーキ発生箇所等
データ形式	EXCEL
提供形態	Webサイト（PC、スマホ）
受賞歴	全国知事会「先進政策大賞」
地域	全国

さらなる利用範囲の拡大へ

セーフティマップの取組みの理念は、道路交通等に係るデータを広く社会に還元すること。将来的には交通事故以外にも、防犯対策や防災・減災対策（ハザードマップ等）等にも活用可能なプラットフォームにまで拡大していくことが考えられる。

現在、セーフティマップは、全国の自治体（埼玉県、福井県、茨城県つくば市等）で活用されており、また、危険箇所に係る住民の声は約9万件投稿され、利用者数は広がりつつある。

感染症の流行状況を可視化し、早期対策が可能に！

ワーンニング

By 株式会社オリズン

平成29年8月1日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

感染症が流行した際、迅速に流行地域や流行レベルを把握し、早期に対策をとることが重要です。
利用者からのかぜの症状に関する投票情報と医療機関・保健所が公表する感染症情報を地図上に表示。

（2015年　サービス開始）

利用者からの投票によるリアルタイムでの感染症情報を地図上に表示



医療機関・保健所が公表する感染症情報を地図上に表示





投票情報や公表情報をグラフで表示



ワーンニング 誕生の キッカケ

- インフルエンザ等の感染症が流行した際、感染症発生動向調査データの公開は発生から最低1週間は遅れるため、発生状況をリアルタイムに把握できなかった
- 医療機関・保健所が公表する感染症発生状況では、地図上で視覚的に発生地域を把握することができなかった



ワーンニング でこう 変わった！

- 利用者が自宅近くの地点において、かぜの症状を投票することで、感染症情報をリアルタイムに共有することが可能
- 医療機関・保健所が公表する定点毎の感染症の報告数を元に、地図上に表示することで視覚的に確認することが可能



感染症の流行状況を可視化し、早期対策が可能に！

ワーンニング

By 株式会社オリズン

平成29年8月1日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

産・官が連携して オープンデータの利活用を積極的に推進

感染症流行警告アプリ「ワーンニング」は、平成26年度オープンガバメント推進協議会「ビッグデータ・オープンデータ活用アイデア・アプリケーションコンテスト」で最優秀賞を受賞したアプリケーションです。

「ワーンニング」の開発にあたっては12の自治体からなるオープンガバメント推進協議会と協力し、「ビッグデータ・オープンデータの具体的活用策の検討及び活用推進」に資する取組みとして実現されました。



ワーンニングのTOP画面

感染症発生動向調査データの公開は発生から最低1週間は遅れるため、このデータだけでは感染症の発生状況をリアルタイムに把握することができません。この課題を解決するため「利用者によるかぜの症状の投票機能」により、自分や家族のかぜの症状（鼻水・せき・のど・発熱）を投票してもらい、他の利用者がそれら状況を地図上で確認できるようにすることで、感染症の発生状況をリアルタイムに把握できるようにするものです。

現在、「ワーンニング」へのアクセス数は、累計で115,504件となっており（H29.4時点）、年々増加傾向にあります。

使用データ	感染症発生動向調査データ
データ形式	CSV
提供形態	Webアプリ
受賞歴	オープンガバメント推進協議会 平成26年度実施事業「ビッグデータ・オープンデータ活用アイデア・アプリケーションコンテスト」 アプリケーション部門　最優秀賞
地域	室蘭市、弘前市、郡山市、千葉市、横須賀市、浜松市、三重県、大津市、　奈良市、福岡市、武雄市、日南市 （室蘭市、武雄市、日南市は投票機能のみ提供）

オープンガバメント推進協議会の活動

オープンガバメント推進協議会（上記12地域の自治体で構成）は、「ビッグデータ・オープンデータの具体的活用策の検討及び活用推進」などに取り組むことで，行政の効率性及び透明性を高め、市民主体のまちづくりの推進や市民サービスの向上、新産業の創出、地域経済の活性化へ寄与することを目的に活動している団体です。

平成25年4月1日に「ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会」として設立し、平成27年からは「オープンガバメント推進協議会」として、公開シンポジウムの開催やマイナンバー普及啓発イベントの開催等を行っています。

火災現場で迅速に対応でき、自主防災や地域防災の強化に役立つ！

平成29年8月10日版

全国水利台帳

By 株式会社placeOn

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

火災現場の位置情報を入力することにより、現場に近い防災用の水利の位置・種類を表示。
消防団員・消防署職員だけでなく、自主防災や地域防災においても活用することが可能。
（2016年　サービス開始）



全国水利台帳 誕生の キッカケ

- 一刻一秒を争う火災現場では、従来の紙媒体の地図にないような、最新の水利の位置情報・種類を瞬時に把握する必要があった
- 近年の人口減少、地域交流の減少等により、地域防災力を少しでも改善できる施策を検討していた



全国水利台帳 でこう 変わった！

- 火災現場から近い最新の水利の位置情報・種類を、だれでも瞬時に把握することが可能
- 自主防災や地域防災においても活用することができ、日常的に防災に関する意識を向上させることが可能



火災現場で迅速に対応でき、自主防災や地域防災の強化に役立つ！

平成29年8月10日版

全国水利台帳

By 株式会社placeOn

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

みんなで作り、みんなが使うことができる水利台帳

火災現場の位置情報を入力することにより、現場に近い防災用の水利の位置・種類(防火水槽、消火栓、自然水利、防災設備・施設)を表示できるアプリです。サイトのメンバー登録者により、水利の登録・修正・削除も可能であり、みんなが作り、みんなが使うことができます。

現在、多くの消防団員・消防署職員の方々に利用されており、一刻一秒を争う火災現場で、不慣れな場所であっても、瞬時に水利の位置情報・種類を把握することでき、迅速な消火対応をすることができます。



水利の位置や詳細情報編集可能

「全国水利台帳」の水利編集画面

また、全国の自治体において、各自治体が保有する防災用の水利情報を必要な時に瞬時に取り出せる仕組みにより、地域防災力の維持・向上を図ることができます。

現在、「全国水利台帳」のダウンロード数は、約2,500件となっており、地域防災の向上に向けて今後の活用が期待できます。

使用データ	水利の位置・種類のデータ(防火水槽、消火栓、自然水利、防災設備・施設)
データ形式	CSV
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	―
地域	全国30自治体(平成29年8月現在)

LINEアプリとの情報連携

アプリの機能として、「LINE転送ボタン」があります。選択した水利情報及び水利地図、Google Map地図情報がLINEアプリに送られます。GoogleMap地図情報URLを押すことで水利までのナビゲーションを使用することができます。
これにより、一刻一秒を争う火災現場において、関係者への迅速な情報の拡散が可能になります。



メッセージのイメージ

現在地から最短の避難所・避難場所を検索することが可能に！

全国避難所ガイド

By ファーストメディア株式会社

平成30年2月21日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

現在地から最も近い避難所・避難場所を検索し、位置情報・施設情報等を表示。
検索した位置情報を元に、現在地からの道順をルート案内をすることが可能。

（2011年　サービス開始）

全国の自治体からの災害時の避難所や、避難場所のデータ



アプリ起動時に避難所を検索して、地図データをキャッシュ。
現在地から最も近い避難所、避難場所などを表示。

地図上で、現在地から最も近い避難所を案内。
ストリートビューで実際の道順を確認することも可能。

全国避難所ガイド 誕生の キッカケ

- 事前に避難所・避難場所を調べることが少ないため、災害時に、避難所・避難場所までの道順を正確に把握できていない
- 不慣れな場所で、突然の災害等に遭った際、現在地に近い避難所・避難場所を探し出すことは難しい



全国避難所ガイド でこう 変わった！

- 避難所・避難場所までの道順をストリートビューを使用して、わかりやすくルート案内することが可能
- 全国の自治体からの防災情報提供により、出先においても現在地から最も近い避難所・避難場所を検索することが可能



現在地から最短の避難所・避難場所を検索することが可能に！

平成30年2月21日版

全国避難所ガイド

Byファーストメディア株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

全国の自治体が提供する13万件以上の避難所・避難場所の情報を収録！

防災情報「全国避難所ガイド」は、全国の自治体が定めた災害時の避難所や避難場所の情報を13万件以上収録している。
現在地から最も近い避難所・避難場所を検索して、位置情報・施設情報を表示する。また、検索した位置情報を元に現在地からの道順をストリートビューを使用して、ルート案内することができる。

現在地に連動した気象情報や、避難勧告や国民保護情報、気象警報や地震情報などの防災情報（Lアラート®）がプッシュ配信される。安否登録や安否確認機能を登載しているので、災害に備えての事前確認や、災害時における避難所検索に役立つ。

また、多言語対応（英語・中国語・韓国語）やAED設置場所の表示、全国の活断層の表示など、ユーザーのニーズ等を基に、アプリのバージョンアップを随時行っている。

避難所や避難場所の登録件数は、139,090件となっており、データベースは随時更新されている。アプリは、累計約36万のダウンロードを達成した。（H29.5時点）



全国避難所ガイドのホームページ

使用データ	全国の避難所、広域避難場所、一時避難場所、帰宅困難者一時滞在施設、津波避難施設　等に関する情報（位置情報等）
データ形式	CSV
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	—
地域	全国すべての自治体

自治体や地域で開催される防災訓練等での活用

全国避難所ガイドのアプリを運営する株式会社ファーストメディアでは、自治体や地域で開催される防災訓練等において、参加協力している。
災害時に備えて、日頃より全国避難所ガイドアプリを利用して、アプリの使い方に慣れておくことが必要だからである。
また、防災訓練等を行った後には、全国避難所ガイドを利用した感想や、改善点などを実際にアプリを活用したユーザーからの声を、今後の機能改善や、バージョンアップに生かしている。

保育施設情報を、簡単かつ効率的に検索・比較することが可能

平成30年2月21日版

働くママ応援し隊

By 株式会社アイネット

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

認可外保育施設も含め、横浜市が把握している全1430の保育施設情報を掲載。
子どもを預ける保護者が「保育施設を選ぶ際に知りたい情報」を簡単に収集可能。

（2017年6月サービス開始）

横浜市の保育施設情報を「区」・「路線」・「施設名」から簡単かつ効率的に検索・比較





地図上に表示される検索結果のイメージ　　保育施設の詳細情報イメージ

「働くママ応援し隊」URL　http://kosodate.inet.co.jp/

働くママ応援し隊 誕生の キッカケ

- 株式会社アイネットの女性社員が子育てをしながら保育施設を探すことに苦労した
- 多くの保育施設では、施設の情報発信を効率的に行うための方法が整備できていなかった



働くママ応援し隊 でこう 変わった！

- 子育てをしながら働き続けたい保護者が保育施設を探し、情報収集する際の負担を軽減できるようになった
- 保育施設は各種PRや保育士募集等の情報を無料で発信できるようになった



保育施設情報を、簡単かつ効率的に検索・比較することが可能

平成30年2月21日版

働くママ応援し隊

By 株式会社アイネット

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「わかりやすい」「検索しやすい」「多くの情報が掲載されている」保育施設検索サイト

「働くママ応援し隊」は、0歳児から未就学児を持つ保護者を支援するための横浜市保育施設検索サイトである。横浜市内にある保育施設情報を、簡単かつ効率的に検索・比較することができる。横浜市が発信するオープンデータに加えて、保護者が保育施設を選ぶ際に必要とされる詳細な情報を、独自に収集しマッシュアップして公開しており、保育施設を探す保護者にとって「わかりやすい」「検索しやすい」「多くの情報が掲載されている」サイトである。

特徴のひとつに、便利な数多くの検索条件がある。区、路線・駅、施設名の他にも、住所、MAP、施設種類、空き年齢、土・日・祝保育、障害児保育、アレルギー対応、駅からの距離等で絞り込み検索が可能である。

また、サイトでは「保育園施設の種別と利用案内」や「子ども・子育て支援新制度」の情報も公開しており、利用者は、横浜市における最新の取り組み等も確認することが可能である。

株式会社アイネットでは、平成26 年に横浜市のオープンデータを活用した子育てや女性活躍に寄与できる当サイトについて横浜市と協定を締結し、オープンデータ活用や情報発信のあり方、サイトのコンセプトや仕様について横浜市と協議を重ね、「働くママ応援し隊」の開設・運営開始に至った。



「保育園施設の種別と利用案内」
「子ども・子育て支援新制度」のイメージ

使用データ
・保育施設情報（保育施設名称・種別、住所、電話番号、最寄りの交通機関、開所時間等）
・入所状況情報（入所児童数、入所可能人数、入所待ち人数）
・「子ども・子育て支援制度」に関する情報

データ形式　CSV

提供形態　Webアプリ、スマートフォンアプリ

受賞歴　―

地域　神奈川県横浜市

今後の更なる施設情報の充実に向けて

「働くママ応援し隊」の開設・運営のノウハウをベースに、掲載されている各保育施設情報の内容の一層の充実を図るとともに、利用者からのご意見を参考にし、さらに便利で有効な情報掲載や仕組み作りを進める。

また、本サイトの仕組みをベースに、保育施設の次に、働く保護者が課題として直面する学童保育施設や家族で遊べる施設、観光スポット等の別の種類のオープンデータを活用した検索サイトの構築を予定している。

バスの位置・バス停を通過した時刻をリアルタイムに把握！

バスロケ

By 宇野自動車株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

バスの走行位置だけでなく、車載カメラで道路の状況も確認できるバスロケシステム。
バスの位置・バス停を通過した時刻をリアルタイムに確認できることで、事務所での正確な運行管理を実現。
さらに、バス利用者向けに情報を提供するとともに、オープンデータとしても公開。
（2016年　サービス開始）

利用者向けサイト「バスまだ」において、「時刻表タイプ」・「地図タイプ」・「一覧タイプ」・「マニアタイプ」の4種類の情報を提供

一般的なバスロケ表示の「時刻表タイプ」

遅延が発生しているバスが分かりやすい「一覧タイプ」



運行中のバスの位置を地図上で直接見られる「地図タイプ」

車両ナンバーを地図上で見ることができ、回送車両まで表示される「マニアタイプ」

バスロケ 誕生の キッカケ

- バスが遅延している際に、バスの走行位置をリアルタイムで正確に把握することは、特殊・高価な機器が必要だったため難しかった
- バスの運行管理を行うためには、バスの通過時間とバスの走行速度などを正確に把握しておく必要があった



バスロケ でこう 変わった！

- タブレットをバスの車載器として使用することで、バスの走行位置・バス停を通過した時刻をリアルタイムで把握・提供が可能なバスロケシステムを安価に実現
- 乗客からの問合せに対して、バスの通過時間と速度などを1秒単位で調べて回答が可能。バスロケで得られた情報は、次期ダイヤ改正にも役立てられる



バスの位置・バス停を通過した時刻をリアルタイムに把握！

平成30年2月21日版

バスロケ

By 宇野自動車株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

利用者向けサイト「バスまだ」にて目的に応じた4種類の情報を提供

バスロケは、市販の安価なタブレットをバスの車載器として使用するバスロケシステムで、バスの位置をリアルタイムに確認できることに加えて、バス停を通過した時刻も正確に把握できるサービスである。

バスロケ情報を一般の乗客がウェブで確認することも可能で、現在の道路混雑状況を写真で見ることもできる。利用者向けサイト「バスまだ」において、1）一般的なバスロケ表示の「時刻表タイプ」、2）運行中のバスの位置を地図上で直接見られる「地図タイプ」、3）遅延が発生しているバスが分かりやすい「一覧タイプ」、4）車両ナンバーを地図上で見ることができ、回送車両まで表示される「マニアタイプ」――の4種類が提供されている。

「地図タイプ」には背景地図に国土地理院の地図を使用し、地図上のカメラのアイコンをクリックすると現在の前方車窓の写真を見ることができる。また、すべての通過停留所を地図で確認することも可能。「マニアタイプ」は、事務所内のモニター内容をそのまま表示するもので、回送中のバスや車庫で待機しているバスも表示される。

車載タブレット用プログラムは独自に開発したもので、緯度・経度や速度を1秒ごとに記録し、GPSによる位置情報をWi-Fiで本社に送信する。送信間隔は15秒／30秒／60秒の設定が可能である。



利用者向けサイト「バスまだ」の画面イメージ

使用データ	①停留所情報（名称・緯度経度）、運行系統、便情報など ②系統番号、現在位置、遅延情報、ナンバープレート、行先情報（リアルタイム情報）
データ形式	①GTFS（世界標準形式）、②CSV
提供形態	Webアプリ
受賞歴	―
地域	岡山県岡山市・赤磐市・美作市

事務所における運行管理・ダイヤ編成にも活用

宇野自動車株式会社の事務所では、バスロケ用のサーバーとディスプレイを設置し、バスの車外・車内の写真も確認できる。

また、バスロケのシステムを開発と同時に、独自のダイヤ編成支援システムを構築した。バスロケでの運行データをダイヤ編成支援システムに連携することで、計画ダイヤと実際の運行データとの比較を簡単に行うことが可能である。


事務所での大型ディスプレイの設置イメージ

スマートフォンで緊急地震速報を通知！

ゆれくるコール

By アールシーソリューション株式会社

平成30年2月21日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

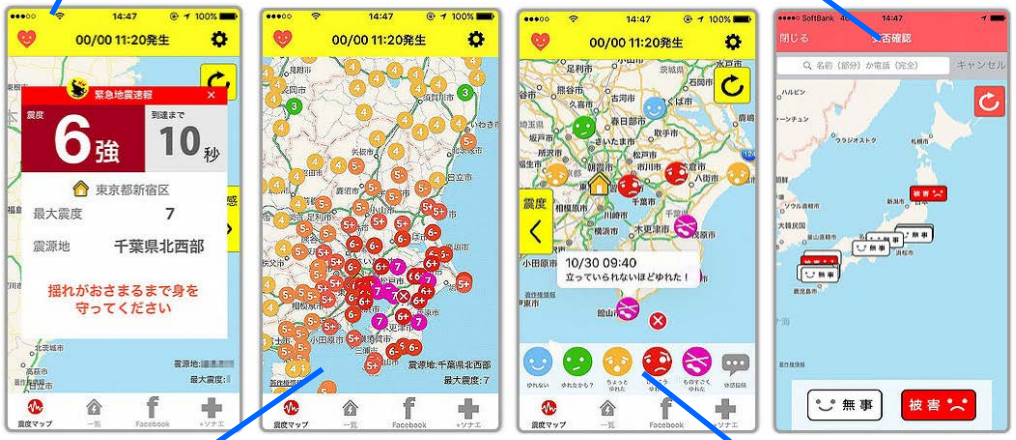
あらかじめ設定した地点の予想震度、予想到達時間をプッシュ通知でお知らせするサービス。
アプリを通じて、より手軽に、分かりやすく地震速報を受けられるようにすることが可能。

（2007年サービス開始、2010年スマートフォンアプリ提供開始）

予想震度、予想到達時間を通知する「緊急地震速報」以外にも、防災・減災のためのさまざまなコミュニケーションツールが充実。

プッシュ＆カウントダウンで一発表示する「緊急地震速報」

利用者が登録した安否情報を地図上に表示する「安否確認」



設定した地点の推定震度を地図上に表示し、地震の規模を直感的に見ることができる「震度マップ」

自分が体感した「ゆれ」の大きさを「立っていられないほどゆれた！」などユーザーが自分の言葉で共有できる「ゆれ体感投稿」

ゆれくるコール 誕生の キッカケ

- 防災・減災のために、気象庁が発表する緊急地震速報を活用する仕組みが整備されていなかった。
- 地震が発生した直後には、防災・減災への関心が急激に 高まるが、次の地震に向けた対策を講じる機会が少なかった。



ゆれくるコール でこう 変わった！

- 緊急地震速報が誰にとっても身近な存在になったことで、事前に身を守る準備や心構えができ、被害の軽減につなげることが可能となった。
- 地震発生以降でも、搭載するコミュニケーションツールを活用して、地震の経験を振り返ったりすることで次の地震の防災・減災を考えるきっかけになる
- また、地震が発生した地域にいる者についての安否情報も確認可能。



スマートフォンで緊急地震速報を通知！

ゆれくるコール

By アールシーソリューション株式会社

平成30年2月21日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

身を守る準備や心構えができ被害の軽減につながる

緊急地震速報アプリ「ゆれくるコール」は、大きなゆれの前に地震の情報をお知らせし、身を守る助けとなるアプリである。気象庁の発表する緊急地震速報（予報）をもとに、利用者が設定した地点のゆれを計算し、どのくらいの大きさのゆれが何秒後に起きるか通知する。

2007年からサービスを開始し、2010年にアプリ提供を開始した。2011年の東日本大震災をきっかけに緊急地震速報への関心が一層高まったことから、2017年8月時点で累計550万ダウンロードを達成し、緊急地震速報アプリの先駆け的な存在となっている。

2016年に追加した新機能「＋ソナエ※」は、イラスト付きの簡潔な文章で防災知識を学ぶことができる。

地震が発生したときに役立つ情報や、日頃から確認しておきたい防災知識をわかりやすく解説している。「+ボタン」をタップしてお気に入り登録をすることやシェア機能で家族や友人と防災知識を共有することもできる。＋ソナエの関連するコンテンツから、東京都の避難場所一覧や地域危険度情報を閲覧でき、事前防災に役立てることができる。

※「＋ソナエ」は株式会社電通の商標。



「+ソナエ」の画面イメージ

使用データ	①避難場所一覧、②地域危険度一覧 ※緊急地震速報（予報）は気象庁より有償で入手
データ形式	①PDF、②Excel
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	・第25回「中小企業優秀新技術・新製品賞」優良賞 ・2017年東京都オープンデータ防災アプリコンテスト 特別賞、来場者特別賞
地域	東京都

防災知識を楽しく学べる機能も充実

ゆれくるコールのFacebookページでは、防災知識を高めるマンガ「ゆれくる遊撃隊」を掲載している。防災や災害発生時の行動について、毎回さまざまなテーマを取り上げている。

また2015年9月1日から、東京消防庁とタイアップし家具転対策※のPRもおこなっている。

※ 家具転対策とは家具類の転倒・落下・移動防止対策の省略である。



©ゆれくる遊撃隊@アールシーソリューション株式会社

予測される自然災害のリスクを事前にお知らせ！

平成30年2月21日版

DR-Info

By 株式会社パスコ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

気象情報と災害発生危険地域の情報を組み合わせ、予測される自然災害のリスクを事前に通知するサービス。平常時、異常気象時、大規模災害発生時など、各フェーズで防災ご担当者様の情報収集業務等をサポートします。

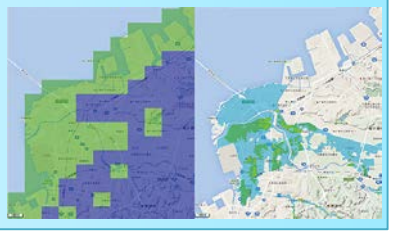
（2014年　サービス開始）

「平常時」「異常気象時」「大規模災害発生時」の3つの場面においてDR-Infoの活用が可能

①平常時

【自然災害リスクへの対応計画策定】

事業所や拠点等がかかえる「潜在的な自然災害リスク」を事前に把握でき、備えができる。



②異常気象時

【対応の早期検討と的確な判断を支援】

豪雨や台風等オンタイムの情報から6時間先までの予測を提供、登録エリアの危険性を自動で通知する。

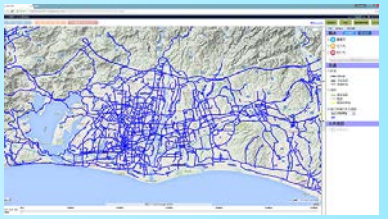


③大規模災害発生時

【従業員等の安全確保と確実な事業継続】

被災地域の航空・衛星写真、通行実績情報（※）により災害状況を把握し、安全確保をサポートする。

（※）トヨタ自動車（株）「ビッグデータ交通情報サービス」より提供



DR-Info 誕生の キッカケ

企業の防災担当者は、以下の課題を抱えていた。

- 事業継続計画等を策定するにあたり、各省庁が公表する情報を収集・整理するために多くの労力がかかっていた。
- 異常気象時に、刻々と変化する情報を迅速かつ正確に把握するために多くの労力がかかっていた。
- 大規模災害時に、管理拠点から遠隔地の被害状況を正確に把握することが困難であった。



DR-Info でこう 変わった！

- 各省庁が公表する情報をもとに自然災害リスクを効率的に把握でき、事前に適切な対応計画を策定することができる
- 自然災害の発生と危険性をオンタイムで自動予測されることから、対応の早期検討ができる
- 遠隔地にある施設や道路等を自動監視できることから、四六時中監視することなく、災害リスクを把握できる



予測される自然災害のリスクを事前にお知らせ！

平成30年2月21日版

DR-Info

By 株式会社パスコ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

被害予測を事前に把握し自然災害対応力を向上！

DR-Infoは、企業の防災担当者の情報収集業務を軽減してリスクを回避するため、気象庁から提供される雨量や風速などの予測情報と、道路・鉄道などの規制条件を総合的に評価し、被害予測情報をプッシュ型で通知するなど、自然災害のリスク評価や大規模災害発生時の被災状況の情報提供などを行うサービスである。

平常時における災害の事業継続計画（BCP）策定、異常気象時の事前の被害リスクの把握による早期対策支援、大規模災害発生時の事業継続のための判断支援など、各フェーズでの災害対策をサポートする。

DR-Infoは、ユーザーの声を反映し、適宜サービスの強化を図っている。最近では、「特別警報発令メールの送信」、「地震による被災の可能性を地図でお知らせ」、「累積雨量表示」などの機能を新たに追加した。

特別警報が発令された場所や地震発生地域の地図表示による早期の対策検討や、道路通行規制判定に対する分析（累積雨量による影響か集中豪雨による影響かなど）を可能としている。



累計雨量表示のイメージ

サービスを利用する企業も製造メーカー、小売・流通、ゼネコン、金融機関、中央省庁など多岐にわたっている。

使用データ　①1時間単位で6時間先までの解析雨量・降水短時間予報、風速、注意報・警報、地震速報等
②各種地震の想定震度、南海トラフ地震浸水深さ、土砂災害危険個所等

データ形式　①XML、②Shapeファイル等

提供形態　Webアプリ

受賞歴　ASPICクラウド・IoTアワード2016（総務省後援）
ASP・Saas部門　基幹業務系分野 グランプリ受賞

地域　日本全国

通行実績情報、渋滞情報を活用した最適なルートの提示

大規模災害が発生した場合、被災地域での救援や物資輸送のために、通行可能な道路の把握が重要である。

DR-Infoでは、トヨタ自動車の交通情報ビッグデータの通行実績情報、渋滞情報を活用することにより、通行実績のある道路を把握し、その情報を加味したルート検索を行うことができる。これにより、大規模災害時における救援物資の調達・輸配送の円滑な体制を確保することができる。



ルート検索結果のイメージ

※通行実績があった道路であり、通行可能を保証した道路ではありません。

日本全国津々浦々のAEDを検索！

日本全国AEDマップ

By 株式会社Allm

平成30年6月8日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

全国の自治体のオープンデータと利用者からの投稿情報により、日本全国のAEDの設置場所や設置施設の利用可能時間帯等をすぐに確認できるアプリ。

（2011年　サービス開始）

現在地を中心として地図上で、最寄りのAED設置施設の情報を検索することができる



地図上のマークを操作することで、住所・利用可能な時間帯を確認できる



地図に掲載されていないAEDを見つけた場合、新規投稿機能によって登録できる

日本全国AEDマップ 誕生の キッカケ

- 現在、AEDは全国で約60万台（※1）設置されているものの、病院外の心肺停止時にAEDが利用されたのはわずか4.7%（※2）に留まり、利用機会を増やすことが重要となっていた。
  ※1 公益財団法人日本心臓財団 「AEDの普及状況」
  ※2 総務省消防庁「平成29年度版 救急救助の現況」
- AEDの利用機会が限られる原因のひとつとして、街中で突然応急処置が必要な場面に直面したとしても、AED設置場所を迅速に把握することが難しいことが挙げられた。



日本全国AEDマップ でこう 変わった！

- 現在地から最寄りのAED設置場所を簡単に検索できるようになり、迅速な応急処置へつなげる可能性が高まった。
- 突然の応急処置だけでなく、マラソン大会やツアー等の主催者側が、事前にAED設置場所を正確に把握できるようになり、イベントの安全・安心の確保にもつながった。



日本全国津々浦々のAEDを検索！

日本全国AEDマップ

By 株式会社Allm

平成30年6月8日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

量と質の両面から、より利便性の高いAED情報を提供！

「日本全国AEDマップ」は、データの量と質について、以下の特徴がある。

①全国のAED設置場所の検索が可能

「日本全国AEDマップ」には、各自治体のオープンデータなどをもとに、現在約約27万件のAEDが登録されている。これは国内における全AEDの約40%におよぶ情報量である。

AED検索アプリは、様々な自治体・企業から提供されているが、検索対象エリアが限定されていることが多い。「日本全国AEDマップ」は検索対象エリアは全国であり、例えば旅行先や出張先でも当アプリだけで対応することができる。

②利用者からの投稿情報により情報更新が可能

AEDに係る情報は命に関わるものであるため正確性が求められるが、設置から何年も経過しているような場合、検索でヒットしたものの現在は撤去されている場合も考えられる。「日本全国AEDマップ」は、利用者からの投稿により、現在の設置状況が更新可能な仕組みを設けている。これにより、情報の鮮度を高め、より利便性の高い情報が提供できるようになっている。



利用者からの投稿情報
※情報源が「現地確認」となっている
※補足からより正確な設置場所が確認できる

使用データ	AED位置情報、設置施設情報等
データ形式	CSV
提供形態	Webアプリ、スマートフォンアプリ
受賞歴	—
地域	日本全国

AED利用率の向上に向けたデータの充実について

心停止の場合、1分ごとに約10%救命率が下がると言われており、救急車が現場に到着するまでの間に迅速な心肺蘇生やAEDによる電気ショック処置が重要となるものの、AED利用率は4.7%に留まっている。

AEDの利用率を高める方法の1つとして、公開データの充実が重要となる。

内閣官房では2017年12月に、自治体が公開することが推奨されるデータセット（推奨データセット）として「AED設置箇所一覧」を策定した。

今後、このフォーマットに基づき、各自治体が保有するAED情報が公開されることおよび本アプリへのデータ取込により、AED利用率の向上が期待される。

女性や子供を対象に、今いる場所の危険をいち早く通知して未然の危機回避を促す防犯サービス

平成30年2月21日版

危険察知防犯アプリ「Moly」

By　株式会社コーデセブン

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「Moly」は、スマートフォンの位置情報に基づき、今いる場所の犯罪・防犯情報をいち早くプッシュ通知し、未然の危機回避を促す防犯アプリサービスです。警察・自治体・学校等が提供する犯罪・防犯情報に加え、ユーザが登録した情報をお知らせします。　**（2017年6月　サービス開始）**



警察・自治体・学校、ユーザーから情報提供される犯罪・防犯情報（発生日時・場所・内容）を地図上に表示。

PUSH通知

スマホのGPS情報（事案発生場所の半径0.5～5km）に連動し、事案の内容、発生日時、対処法をプッシュ通知でお知らせ。



登録



利用者自らが、犯罪・防犯情報を登録することで、情報共有を図ることが可能。

危険察知防犯アプリ「Moly」誕生の キッカケ

- 20～30代の女性100名を対象としたアンケート調査の結果、42%の女性が路上で何らかの不安な目に遭ったことがあると回答。
- 既存の防犯メールでは、犯罪の発生や検挙は発信されても、「不安なことがあった」「未遂」などの情報までは共有されず、必ずしも知りたい情報すべてが提供されていない。



危険察知防犯アプリ「Moly」でこう 変わった！

- 近くの危険なエリアをプッシュ通知してくれることで、事前に危険回避のための対応を取ることができる。
- 利用者からの情報登録が可能なため、警察や自治体も把握していない「不安なこと」「未遂犯罪」等も情報発信し、迅速に利用者間で共有できるようになった。



女性や子供を対象に、今いる場所の危険をいち早く通知して未然の危機回避を促す防犯サービス

平成30年2月21日版

危険察知防犯アプリ「Moly」

By　株式会社コーデセブン

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

オープンデータとユーザーからの情報提供を合わせて活用することで、信頼性の高い防犯情報に加え、表面化していない防犯情報を可視化できる

本アプリの特長は以下。これらにより、利用者は、被害に遭う前に周囲を警戒し、「自分で自分を見守る」ことにつなげることができる。

【特徴1】近隣の犯罪・防犯情報を自動で通知

従来からある防犯サービスの多くは犯罪情報がテキストとしてメールで送られてきたため、利用者が今いる場所に関する情報にたどり着くのに時間がかかっていた。本アプリでは、利用者の現在位置をスマートフォンGPSで把握し、その近くで発生した犯罪・防犯情報をリアルタイムにプッシュ通知することで、利用者が早い段階で防犯情報を取得することができる。

【特徴2】警察・自治体・学校等から提供される信憑性の高いオープンデータを活用

各都道府県警や自治体、学校より許諾を得た上で、信憑性の高い防犯情報（事案内容、発生日時、発生場所等）を独自のデータベースに組み込んで活用。

【特徴3】表面化しない防犯情報をユーザ投稿から可視化

利用者がアプリ内の投稿機能から、防犯に関する情報を簡単に投稿することで、未遂事案も含めた犯罪・防犯情報を迅速に共有することが可能。悪用やいたずらを防ぐため、ユーザーはログイン認証を行い、また、運営側でも収集した情報をチェックすることでサービスの信頼性を確保。

使用データ	都道府県の警察・自治体・学校等の犯罪発生情報（事案内容、発生場所・日時）
データ形式	テキスト、HTML、CSV
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝｺﾝﾃｽﾄいしかわ2017 最優秀起業家賞 第17回MIT-VFJﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞｸﾘﾆｯｸ&ｺﾝﾃｽﾄ 優秀賞
地域	25都道府県（2017年10月現在）

今後のサービスの展望

- 現在、大都市圏をはじめ25都道府県での利用が可能で、2018年中に対応エリアを全国に拡大し、利用者のさらなる拡大を目指す。
- 各種見守りサービスと連携し、生活者視点のサービス開発を行う予定。
- アプリを軸に地域の防犯対策等のボランティア活動と連携し、コミュニティ活性化の支援も行っていきたい。

自分がいる場所と周辺の地盤状況の災害リスクをすばやく調べ、スコアで表示

平成30年2月21日版

じぶんの地盤アプリ

By 地盤ネットホールディングス株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

現在位置の地盤災害リスクを即座に判定し、地図上に地盤安全性の目安となる「地盤安心スコア」を表示。
利用者の地盤のリスクに対する意識を高めることにもつながった。ダウンロード数は約17万件（2018年2月時点）
（2016年　サービス開始）

GPSから取得した位置情報から即座に現在地の地盤リスク（※）を判定し、地図上に地盤安全性の目安となる「地盤安心スコア」を表示



スコアに応じて、赤、黄、緑と色が変わるため、ひと目で分かりやすく地盤の状況を確認。

全国の地震の回数と規模を表示・確認することも可能。表示する期間も「過去1日」「過去7日」「過去30日」から選択可能。



多言語にも対応し（9か国）、訪日観光客も利用可能。

（※）「改良工事率」「浸水リスク」「地震による揺れやすさ」「土砂災害リスク」「液状化リスク」の5項目から判定

じぶんの地盤アプリ 誕生の キッカケ

- 地震や豪雨などの災害が頻発している日本においては、リスクを知った上での土地選びや災害対策を行うことで、被害を最小限に抑える取り組みにつなげることが必要となっている。

じぶんの地盤アプリでこう 変わった！

- 専門的な知識がなくても誰でも簡単に地盤の安全性やリスクを確認できるようになり、地盤に対しての意識を持つようになった。
- 合わせて過去に発生した地震の状況も確認することで、地震災害に対するリスクも事前に把握できるようになった。

自分がいる場所と周辺の地盤状況の災害リスクをすばやく調べ、スコアで表示

平成30年2月21日版

じぶんの地盤アプリ

By 地盤ネットホールディングス株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

天気予報を確認する感覚で地盤に気を使う

「じぶんの地盤アプリ」では、自宅や職場の地盤を調べるほか、地震発生時でも安心な避難場所を探したり、学校や病院、旅先など気になる場所の地盤を調べたりする使い方を提案している。さらに、新たに住宅や土地を購入するときや、自宅を建て替えるときなどに地盤の状況を調べることもできる。



活用シーン（イメージ）

地盤や地盤災害に関する情報は、多数公開されているが、専門的な知識のない消費者、不動産会社にとって必ずしも分かりやすい情報にはなっていなかった。

そのため、自治体等から公開された情報は十分に活用されておらず、結果的に、地盤・地盤災害の情報が乏しいまま土地売買等を行っている状況が多く見られた。

気象情報を例にすると、天気図を見ても生活者はその内容を読み取り、そこから天気を推測することはかなり難しい。しかし、天気予報として降水確率などで目安を示すことで、情報を活用することができることと似ている。専門的な情報を天気予報のように分かりやすくしたものが「じぶんの地盤アプリ」である。

使用データ	【国土地理院】地理院標高API/数値地図25000（土地条件図）/自然環境条件図 【国交省】土砂災害危険箇所、用途地域データ
データ形式	png、XML
提供形態	Webアプリ、スマートフォンアプリ
受賞歴	ジャパン・レジリエンス・アワード（強靭化大賞）2017 金賞（ 企業・産業部門 ）
地域	日本全国

オープンデータをより分かりやすく

オープンデータの活用に加え、自社独自の「改良工事率」を活用する他、国土地理院のハザードマップのマニュアルと同じ方法で、全国を評価し、より分かりやすく情報提供している。

- 液状化リスク：国土地理院の技術資料「土地条件図の数値データを使用した簡便な災害危険性評価手法」（2007年3月）を参考として、液状化リスクを5段階で評価
- 土砂災害リスク：土砂災害箇所からの距離に応じて重み付けを行い3段階で評価

様々な形の地図を手軽に作成！

Mappin’ Drop

By 株式会社パスコ

平成30年2月21日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

オープンデータ化された地形図をベースに自由度の高い案内地図を簡単に作成可能。
自分がデザインした地図を画像としてダウンロードできるサービスです。
（2017年　サービス開始）

オープンデータ化された地形図情報に、行政機関が保有する各種行政データの提供を受けて、住民向けの地図作成サービスを提供



【作成のステップ】



Mappin’ Drop 誕生の キッカケ

- 様々な地図情報を利用する際の利用に係る規約や制限の確認が容易でないため、簡単に地図情報を活用できない。
- オープンデータとして様々な地図情報が提供されているが、一般の利用者が求める様式やデザインで提供されていることは少ない。



Mappin’ Drop でこう 変わった！

- 作製した地図は画像データとして保存でき、自由に印刷・配布が可能なため、手軽に地図情報を活用できるようになった。
- 利用者が容易にデザインの変更やアイコン表示等を行うことができるため、各種PR用のチラシや子ども向けイベントでの活用など、様々なシーンにおいて、地図情報を活用できるようになった。



様々な形の地図を手軽に作成！

Mappin’ Drop

By 株式会社パスコ

平成30年2月21日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

オープンデータ利活用の促進や、行政職員の負担軽減といった波及効果も期待！

Mappin’ Drop（マッピンドロップ）は、国土地理院のオープンデータ化された地図情報をベースに、市民自身がデザインした地図を画像としてダウンロードできるサービスである。地図上に、ピンを刺すような手軽な感覚で、誰もが簡単にスタイリッシュな案内地図をデザインできる。案内地図は画像形式でダウンロードでき、はがきやチラシ、ホームページ、SNSなど、さまざまな場面で活用することができる。

Mappin‘ Dropは、住民の活用状況を見て、自治体が既にオープンデータ化している公共施設や避難所の位置情報等を追加し、順次サービスの向上を図ってきた。このように、住民に広く利用されることで、住民ニーズの高いデータを把握することができ、行政保有データのオープンデータ化を促進することができる。

また、Mappin’ Dropは、自治体職員にもメリットがある。自治体では、避難所マップ、子育て支援マップ、高齢者支援施設マップなど地図入りの案内チラシを作成し、住民に配布するシーンも多い。その際、Mappin’ Dropは、自由にデザイン可能であるため、親しみやすくわかりやすい地図を簡単に作成して、自由に配布することができる。



作成したマップ例

使用データ	電子国土基本図（地図情報）
データ形式	shape ※作成した地図はjpg、pngでダウンロード可能
提供形態	Webアプリ
受賞歴	―
地域	日本全国 ※全国18の自治体では契約を結び独自サービスを展開

様々な空間情報データ活用を推進

Mappin’ Drop が活用している電子国土基本図（地図情報）を提供している国土地理院では、その他にも、自治体等が保有する測量の成果等の地理情報を流通させ利活用を推進するために、「地理空間情報ライブラリー」を整備している。

本ライブラリーでは、インターネットを通じて、国土地理院の地図・空中写真、基準点の基本測量成果や国・地方公共団体が整備した図面等の公共測量成果を検索でき、オープンデータの防災分野等での活用が検討できる。



地理空間情報ライブラリーのイメージ

自治体が保有する公園情報を、より市民が使いやすいかたちで提供

平成30年2月21日版

公園情報アプリ「PARKFUL」

By 株式会社コトラボ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

自治体が保有するオープンデータ（住所や面積、各種公園設備等の公園情報）を利用し、スマホ向け公園情報アプリ「PARKFUL」を通じて、公園利用者の利便性向上や公園の質の維持向上につなげるサービスを提供。

（2016年　サービス開始）

利用者が公園を探すためのマップ機能や公園情報の提供だけでなく、利用者からの写真とコメントによる投稿機能もあり、他の利用者や公園管理者がインラインでチェック可能。

【 PARKFUL 】



コトラボ社は自治体と協定を締結し、自治体が保有する公園情報のオープンデータを公園情報に特化した同社アプリ「PARKFUL」を活用して広く住民に情報提供している。

PARKFUL 誕生のキッカケ

- 特に子育て世代にとっては、家の近所や外出先での公園が貴重な生活の場となるが、既存のサービスでは必ずしもすべての公園を検索することができなかった。
- 近年、遊具による事故が多発し、公園の「安全性」と「管理」がキーワードになっているが、多くの公園を管理する自治体にとって、すべての公園の実態を把握することが難しくなっていた。

PARKFUL でこう 変わった！

- 自治体が提供するオープンデータを活用することで、大小関わらずすべての公園の情報を簡単に検索できるようになり、市民が公園を日常利用する機会の増加につながっている。
- 利用者からの投稿等により、遊具の不具合等をすぐに把握することができるため、公園の安全性向上につながっている。
- 自治体からの情報を、市民にとってより使いやすいかたちで提供することで、オープンデータの利用促進にもつながっている。

自治体が保有する公園情報を、より市民が使いやすいかたちで提供

平成30年2月21日版

公園情報アプリ「PARKFUL」

By株式会社コトラボ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

官民協働により公園情報のオープンデータの利用を促進　～神奈川県の事例～

本サービスをキッカケに、オープンデータが開始された神奈川県の事例を以下に紹介する。

コトラボ社は、神奈川県との協定にもとづき、県内の公園情報のデータ整備に協力。神奈川県がホームページに公開したオープンデータを同社の公園情報アプリ「PARKFUL」に掲載し広く県民に情報提供している。



神奈川県とPARKFULとの連携イメージ

神奈川県にとっては、データ整備の段階からコトラボ社の協力を得ることで、民間ニーズに沿った形のデータ公開と、アプリという具体的な県民サービスを実現できる。また、コトラボ社にとっても、自社サービスの品質向上につながるというメリットがある。　官民協働により、オープンデータをより市民に使いやすいかたちで提供することにつながっている。

使用データ	公園名、所管自治体、所在地、面積等 トイレ、水飲み場 の有無、遊具の種類等
データ形式	Excel
提供形態	Web、スマートフォンアプリ
受賞歴	—
地域	神奈川県、名古屋市、長野県佐久市

今後の展開について

- コトラボ社では、既に名古屋市や長野県佐久市でも「PARKFUL」を活用したサービスを開始しており、今後その他複数自治体と連携に向けた調整を進めている。
- コトラボ社では、「PARKFUL」が提供する公園を楽しむための情報・機能を通じて、公園に行くきっかけづくりを実現し、公園の賑わい、地域の賑わいへ繋げていきたいと考えている。

全国市区町村における統計データ等を集約・提供することで、住みたい街の住環境を容易に把握可能に！　平成30年2月21日版

スマイティ「住みやすい街」

By 株式会社カカクコム

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

全国市区町村における人口、犯罪率、交通事故発生率の統計データ、実際に暮らしているユーザーの声等を集約して分かりやすく提供。これにより、近隣自治体と比較しながら、住みたい街・気になる街の住環境を容易に把握することが可能に！**（2014年9月　サービス開始）**

同社が提供する不動産住宅情報サービスである「スマイティ」内に「住みやすい街」サイトを開設

住みやすい街サイト画面①（統計データ等）



行政機関が公開する統計データから「犯罪率」「地震液状化リスク」「介護施設カバー率」「教員数」等のデータを集約して提供。
これらデータをヒートマップとして視覚的に表示することで、近隣自治体との比較が容易に行える。

住みやすい街サイト画面②（ユーザーの声）



スーパーの進出状況、自然環境、子育て・教育環境等について、ユーザーが5段階で評価して、「住みやすさ」を数値化

スマイティ「住みやすい街」誕生の キッカケ

- 住宅購入希望者が購入を決定する条件として、交通アクセスや周辺環境、買い物の便利さといった住環境を重要視する傾向が年々強くなっている。
- 従来の不動産情報サイトでは、周辺環境に係る情報が十分には提供されていないことが多く、より詳細な住環境を事前に知ることが難しかった。

スマイティ「住みやすい街」でこう 変わった！

- 購入希望者は、間取りや階数といった物件そのものの条件だけでなく、住環境に関する様々な条件から、より自分のニーズに合った街や物件を探すことができるようになった。
- 周辺環境に係る詳細情報の収集や他の街との比較が容易に行えるようになったことで、物件探しの際の情報収集にかかる負担が軽減された。

全国市区町村における統計データ等を集約・提供することで、住みたい街の住環境を容易に把握可能に！　平成30年2月21日版

スマイティ「住みやすい街」

By 株式会社カカクコム

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

様々な行政機関のオープンデータを活用することで、個々の関心に応じた住環境情報を提供

スマイティ「住みやすい街」では、「行政機関のデータ」「ユーザーレビュー」「グルメ・観光サイト」から、全国市区町村の住環境に係る情報を集約して利用者にわかりやすいかたちで提供している。

このうち行政機関のデータについては、指標毎に使用しているデータとその出所を明示し、これにより情報の信頼性を高め、利用者は安心して情報を参照できるよう工夫されている。

指標毎に使用しているデーター覧（一部）

指標	出所	データ項目	計算方法
人口密度	総務省統計局「国勢調査報告」	(A) 可住地面積1km2当たり人口密度	人口密度＝(A)
人口	総務省統計局「国勢調査報告」	(A) 人口総数	人口＝(A)
平均年齢	総務省統計局「国勢調査報告」	(A) 平均年齢	平均年齢＝(A)
外国人人口率	総務省統計局「国勢調査報告」	(A) 外国人人口	外国人人口率＝(A) ÷ (人口総数) × 100
出生率	厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」	(A) 合計特殊出生率（ベイズ推定値）	出生率＝(A)
婚姻率	厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」	(A) 婚姻件数	婚姻率＝(A) ÷ (人口総数) × 100
平均所得	総務省自治税務局「市町村税課税状況等の調」	(A) 課税対象所得（単位：千円）	平均所得＝(A) × 0.1 ÷ (B)
	総務省自治税務局「市町村税課税状況等の調」	(B) 納税義務者数（所得割）	
一人当たりの市町村民税収額	総務省自治税務局「市町村税課税状況等の調」	(A) 市町村民税	一人当たりの市町村民税収額＝(A) ÷ (人口総数) ÷ 10
地価（地図表示）	国土交通省「地価公示」	(A) 地価公示	地価＝(A)
住宅面積	総務省統計局「住宅・土地統計調査報告」	(A) 1住宅当たり延べ面積	住宅面積＝(A)
犯罪率	警察庁「犯罪統計書」	(A) 刑法犯認知件数	犯罪率＝(A) ÷ (人口総数) × 100
空き家率	総務省統計局「住宅・土地統計調査」	(A) 空き家数	空き家率 ＝ (A) ÷ (B) × 100
	総務省統計局「住宅・土地統計調査」	(B) 総住宅数	
交通事故発生率	警察庁交通局「交通統計」	(A) 交通事故発生件数	交通事故発生率 ＝ (A) ÷ {(B) ＋ (人口総数)} × 2 × 100
	総務省統計局「国勢調査報告」	(B) 昼間人口	
一般病院数	厚生労働省「医療施設調査」	(A) 病院数	一般病院数＝(A) ＋ (B)
	厚生労働省「医療施設調査」	(B) 一般診療所数	
保育園数（公立私立）	厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉施設等調査報告」	(A) 保育所数	保育園数（公立私立）＝(A)
千人当たり病床数	厚生労働省「医療施設調査」	(A) 病院病床数	千人当たり病床数＝[(A) ＋ (B)] ÷ (人口総数 ÷ 1,000)
	厚生労働省「医療施設調査」	(B) 一般診療所病床数	
介護施設カバー率	厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉施設等調査報告」	(A) 養護老人ホーム定員数	介護施設カバー率＝[(A) ＋ (B) ＋ (C) ＋ (D)] ÷ (E) × 100
	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」	(B) 介護老人福祉施設定員数	
	厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉施設等調査報告」	(C) 軽費老人ホーム定員数	
	厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉施設等調査報告」	(D) 有料老人ホーム定員数	
	総務省統計局「国勢調査報告」	(E) 65歳以上人口	

上記の統計データの他、妊娠出産祝いや乳幼児医療費助成等の有無や内容についても合わせて提供している。これにより、利用者は行政サービスの充実度も考慮しながら、自分のライフステージに適した住環境を探しやすくなっている。

育児に係る行政サービスの提示画面



使用データ	政府等が提供する統計データ（人口、犯罪率等） 【参考：データの出典元】 https://sumaity.com/parts/town/authority/popup.html
データ形式	CSV、PDF
提供形態	Webアプリ
受賞歴	—
地域	日本全国

住みたい街の状況を容易に把握できるように

スマイティ「住みやすい街」では、利用者がより容易に住みたい街の状況を把握できるようにするための工夫として、オープンデータ等の情報をもとに、各自治体・地域の位置付けを特徴別にランキング形式で提供している。



配信するすべての危機管理情報を地図に表示

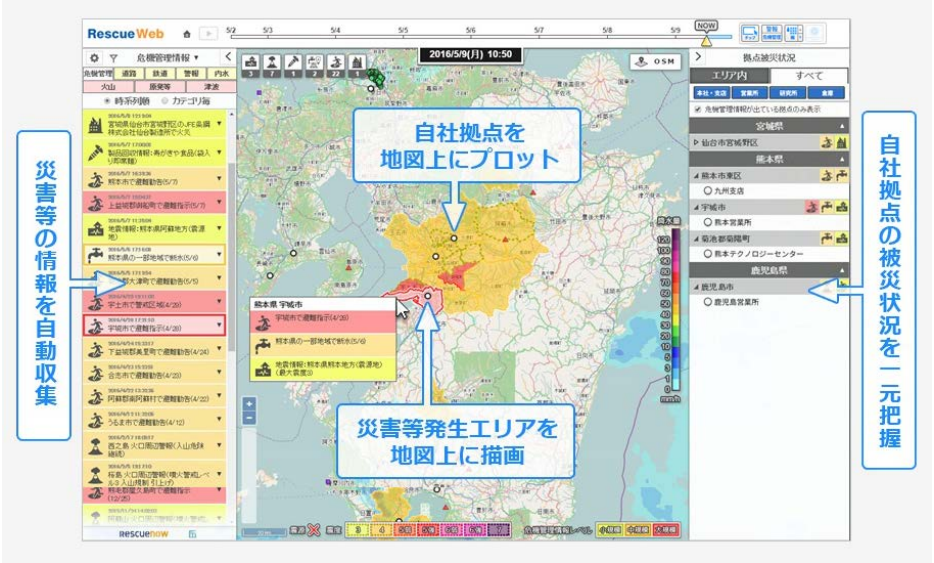
レスキューWeb MAP

By 株式会社レスキューナウ
（MAP機能は株式会社ベストテクニカルサービスと共同開発）

平成30年9月10日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

災害時の状況をリアルタイムに地図上で俯瞰的・一元的に把握することができ、影響範囲にある拠点の有無をすぐに確認することができる法人向け危機管理地図サービスです。
（2016年　サービス開始）



主要な利用可能情報

・交通情報
道路｜通行止め、規制等
鉄道｜運転見合わせ、遅延等

・気象自然情報
地震、津波、台風、竜巻、火山
土砂災害警戒、河川洪水等

・緊急情報
緊急、避難、ライフライン（電気、水道、ガス）、火災、災害救助法適用情報等

・生活安全情報
健康安全、光化学スモッグ、新型インフルエンザ、防犯情報等

・NHKニュース　・内水リスク情報

レスキューWeb MAP誕生の キッカケ



・24時間365日リアルタイムに配信される多様な危機管理情報で迅速な覚知ができても、災害規模が大きくなるとその全体像を都度整理する作業に時間を要していた。
・災害の現状把握と共有、その後の対応検討において、多様な危機管理情報を一元的に視覚化することが求められてきた。
・災害の状況が自社拠点や取引先など具体的にどの程度影響を受けているか、危機管理情報を受信してから利用者側で作業をする必要があり、体制面や作業面で大きな負担が残っていた。

レスキューWeb　MAP でこう 変わった！



- 地震・気象情報だけでなく、道路や鉄道情報の交通系情報、避難やライフライン等の緊急情報、NHKニュースまでカバー。
  刻々と変化する危機管理情報収集の一元化を実現。
- 自社拠点や取引先拠点等を登録しておくことで、被害や災害が発生しているエリア内の拠点を一括把握することが可能。
- 内水リスク情報による浸水リスクや標高データによる津波等の浸水リスク把握、火山や原子力施設からの距離判定機能で拠点のリスク分析も多様。

配信するすべての危機管理情報を地図に表示

レスキューWeb MAP

By 株式会社レスキューナウ
（MAP機能は株式会社ベストテクニカルサービスと共同開発）

平成30年9月10日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

危機管理体制の構築をサポート

24時間365日間危機を監視しているレスキューナウ危機管理情報センターにて収集した災害やライフライン等の危機管理情報をリアルタイムに配信。



使用データ	防災気象情報、ライフライン情報、避難情報 交通情報、生活安全情報、緊急情報
データ形式	HTML、XML等
提供形態	WEBサービス
受賞歴	2017年度グッドデザイン賞受賞
地域	日本全域版、世界全域版（オープンデータの利用について今後展開予定）

危機担当者は、各拠点や全社で必要な対応判断に専念

・地震・気象情報だけでなく、道路や鉄道情報の交通系情報、避難やライフライン等の緊急情報、NHKニュースまでカバーする多様な危機管理情報が地図上に一元化されて俯瞰できるワンストップサービス。
・自社拠点のカメラ画像や各種センサー情報もMAP上で統合することも可能。危機管理MAP基盤として、さまざまな情報を統合していく柔軟性と発展性をもったサービスです。

お出かけ先とともに親子の体験を変える

いこーよ

By アクトインディ株式会社

平成30年10月24日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「家族のおでかけを楽しく」をコンセプトに、全国66,000カ所以上のおでかけスポットやイベント検索と、おでかけスポットの口コミ投稿・共有ができるサービスです。

（2008年　サービス開始）

現在地周辺からもしくは目的地周辺のお出かけ先スポットを表示



カテゴリー別の検索も可能



いこーよ 誕生の キッカケ

- 子ども連れでおでかけする時に、子どもが騒いで周りに迷惑をかけていないか等、気を使う家族が多いという課題を解決したい
- 子どもとどこにどんなおでかけをしたいのかわからないという悩みにも応えたい
- 家族のおでかけや会話が増えることで子どもの笑顔が増え、それにより明るい社会を作りたい



いこーよでこう 変わった！

- 家族でおでかけするスポットとイベント情報を数多く提供。
- マップ上で気になるおでかけスポットをタップするだけで、スポット情報や口コミ、クーポン等まとめて閲覧できる。
- 現在地からの経路をナビで表示、おでかけがぐっと楽に。
- 口コミ投稿は子育て層同士の情報交換の場にもなっている。
- 知らなかった遊び場がわかる、口コミが参考になる、クーポンがお役立ち、自分の住む地域のいいところを再発見したなど、ユーザーからも好評価。



お出かけ先とともに親子の体験を変える

いこーよ

By アクトインディ株式会社

平成30年10月24日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

おでかけスポットが様々な切り口で見つかる！
掲載スポット数：約66,400件（2018年10月現在）



使用データ	赤ちゃん・ふらっと一覧（東京都） 図書館/児童館/公園情報（神奈川県、千葉市） 親子イベント情報（千葉市）
データ形式	CSV、XLS
提供形態	アプリ（2016年7月） WEBサービス（2008年12月）
受賞歴	第11回キッズデザイン賞　奨励賞受賞 2018年東京都オープンデータアプリコンテスト知事賞受賞 Amazon Alexaスキルアワード2018　子育て支援部門受賞　ほか
地域	日本全国

子どもの成長、夢の育みを応援

- 子育て層が必要とするオープンデータを自治体に提案、いこーよで公開
- おでかけ情報の他にも、親もワクワクする子育て情報、家庭生活に役立つトピックス等も発信。
- 子育てがとても楽しく豊かな時間であることを広く発信することで、少子化対策や子どもを育てやすい社会作りの一助も目指す。
- 保育機関や学校、家庭でだけでなく、それ以外の場での体験や出会いが、子供の成育には重要であるという考えから、子どもたちに感動・成長体験を与えられるような様々なイベントを自社で提供。

オープンデータで利用者の好みに合った情報を配信

平成31年1月25日版

地域イベントカレンダー

By 株式会社ジョルテ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

世界で3,200万人以上に利用されているカレンダー＆システム手帳アプリ「ジョルテ」が地方自治体等から提供されるオープンデータの活用を開始。自身のスケジュール等に加え、地域のイベント情報や学校給食献立、ごみ収集日等を閲覧可能にするアプリです。（2017年　生駒市にて配信サービス開始）

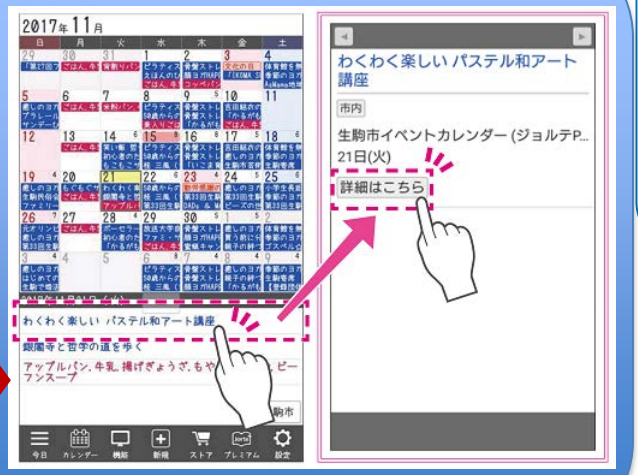


ジョルテをインストールした後、生駒市ホームページ等で公表されているQRコードを読み取る



●地方自治体のオープンデータを追加することが可能
（例：生駒市カレンダー）

オープンデータの情報が自分のジョルテカレンダー上に表示される。



●カレンダー下に表示される予定をタップすると、詳細画面が表示
●「詳細はこちら」から予定の詳細情報に移ることができる
（例：生駒市ホームページ）

オープンデータ活用の キッカケ

- 自治体が保有する市民にとって有益な生活情報が、届けるツールやフィールドが少ないために利活用が進みにくく、オープンデータが市民生活に十分活かされていないのではないか？
- アプリでスケジュール管理する方が増えているので、散在している生活情報を一元化すれば、利用者それぞれが自分に必要な情報を気軽にチェックできるのではないか？
- 地域イベントの集客の可能性をもっと広げることはできないか？（オープンデータ活用によるビジネスチャンスの創出ができないか？）



オープンデータ活用 でこう 変わった！

- 市民向けのイベント・セミナー情報やゴミ収集日、学校給食の献立など、市民の生活に密着した情報を自分のスマートフォンのカレンダー上に表示することができ、市民の利便性が向上した。
- 利用者それぞれの「スキマ時間」に興味があるイベントを探したり、重要予定や参加したいセミナーの申込締切日や書類の提出日をメモ代わりにカレンダーに登録できるようになった。



オープンデータで利用者の好みに合った情報を配信

平成31年1月25日版

地域イベントカレンダー

By 株式会社ジョルテ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

スキマ時間に地域の情報をチェック

カレンダーアプリ「ジョルテ」の月カレンダー上に**生駒市のオープンデータを活用した**地域住民向けのイベント情報を表示。
さらに**カレンダーに登録した自分や家族の「今日の予定」**一覧と一緒に、オープンデータに登録されたイベントを表示します。



使用データ	イベント情報　給食献立　ゴミ収集日程表
データ形式	HTML、CSV
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	―
地域	生駒市（今後、全国的に展開を予定）

オープンデータ × 自分と家族の予定

- 自治体が公表しているオープンデータは、生活に密着した必要な情報が多いのに、自分が必要な情報を得る為に検索したり調べたりする時間がなかなか取れないもの。
- 肌身離さず持ち歩くスマートフォンの日常的に使うカレンダーアプリに、子供の学校の給食献立やゴミ出し日程表の情報があれば、移動中や病院の待ち時間などのスキマ時間に簡単にチェックができ、とても便利。
- スーパーで買い物中に給食と被らない夕食メニューを考えたり、カレンダーに登録している子供の予定をチェックしながら給食がないお弁当が必要な日を確かめたり、予定がない日に市民向けのイベントに申込をしたり、月に1度の粗大ゴミの日をチェックしたりetc…。
- 「オープンデータ×自分と家族の予定」の両方をカレンダーアプリで見る事でこれまでより便利で快適な市民生活を提供していきます。

緊急情報共有ネットワークをつくる

Coaido119

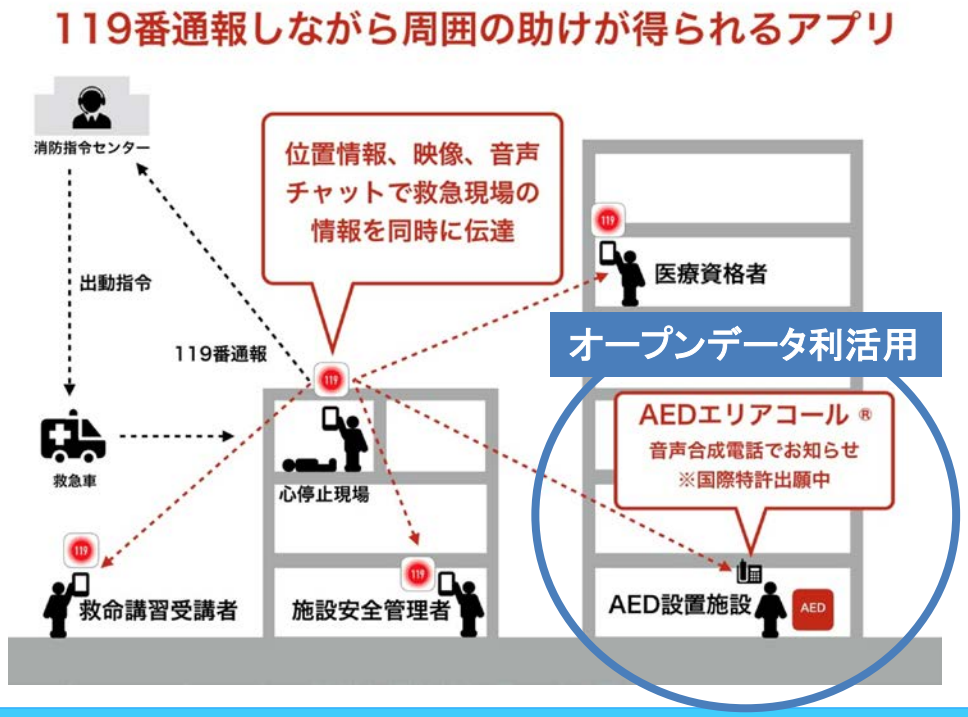
By Coaido株式会社

平成31年3月18日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

倒れている人を発見した人が「Coaido119」を操作すると、119番通報と同時に、事前登録された周辺の救命知識保有者およびAED設置先にSOS送信を行う緊急通報共有アプリです。
（2017年サービス開始）

目撃者が「Coaido119」から発信すると、119番通報、周囲のアプリ受信登録者、AED設置先へのSOS発信が一斉に行われ、ボランティアによる一次救命処置を促すことができる。



Coaido119誕生の キッカケ

“救急現場の「助けて！」が周囲の人に届かない”

- 周囲にいる医療有資格者や救急有資格者への連絡手段がない。
- AEDがどこにあるか把握していない、把握していても往復移動でもってくるまで時間がかかり、AED使用率が5%しかない。
- 防災センターへの連絡の意識がない、電話番号がわからない、オフィススペースやトイレなど監視カメラがない場所では連絡がなければ救急事案発生に気づくことが困難。

上記により救命率が著しく低い状況である。

Coaido119でこう変わった！

- 周囲にいる医療有資格者や救急有資格者が救急ボランティアとして駆け付け、救急処置の迅速化と高度化が可能。
- AED設置場所施設の固定電話に自動連絡することでAED使用率の向上が可能（有償）。
- 固定電話で防災センターに自動電話すること仕組みで確実に警備員に救急事案発生を知らせ、迅速な初動対応が可能（有償）。

上記により救命率の向上が期待できる。

緊急情報共有ネットワークをつくる

Coaido119

By Coaido株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

大切な人の命を守る新しい仕組み

Coaido119
地域共助のSOSとAEDマップで応急手当
ダウンロードはこちらから→

1 緊急度を選択

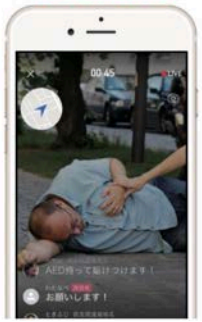


2 現在位置を周囲に発信



※SOS 発信は赤「心停止の疑いのある状態」のとき行われます

3 SOS受信者に状況をすぐに共有



※SOS 受信はアプリに登録した近くの医療有資格者に行われます

Coaido119（コエイド イチイチキュー）は無料のiPhoneアプリです。周囲の救命資格者やAED設置施設へのSOS発信機能だけでなく、AED設置場所がわかるマップ機能や、救急車を呼ぶべきかわからない時にかける相談ダイヤルのワンタッチ通話、各自治体が運営している病院検索サイトへのリンクボタンもあります。
AED設置場所情報は、以下のサイトのいずれかが取りまとめたAEDオープンデータを掲載しています
・AEDオープンデータプラットフォーム
(http://hatsunejournal.jp/w8/AEDOpendata/)
・一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会
(https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/aed)



使用データ	自治体AED設置情報
データ形式	CSV、REST/JSON
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	経済産業省「第3回 IoT Lab Selection」グランプリ受賞
地域	日本全国

AEDオープンデータには、AED設置施設の緯度経度情報と電話番号を入れてください！

- Coaido119アプリで「心停止」を選択してSOSを発信すると、発信地から半径300m以内のAED設置施設を自動で抽出し、一斉に電話をかける「AEDエリアコール」がかかります（国際特許出願中）。
- 電話で緊急事態の発生をAED設置施設に即時お伝えすることで、AED使用率を向上することができます。
- 現在、AEDエリアコール登録施設は公共施設を中心に登録しており、AED設置場所の緯度経度情報と電話番号がわかれば設定することができます。

人をつなげることでまちづくり・地域づくりを行う

ためまっぷ

By ためま株式会社

令和2年3月2日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「ここで生きててよかった」と誰もがそう思える社会へ。自治体版でスマホ世代の地域参加が1.5倍に。
町内会や公民館の地域活動チラシの簡単投稿、閲覧が地図連動できる特許取得全国サービス。
（2014年 サービス開始）



見たいときに
チラシを見れる

近所のイベントチラシが
ひと目でわかるよ♪



行きたいときに
すぐ分かる

イベントの開催場所が、
地図で簡単にわかるよ！

ためまっぷ 誕生の キッカケ

- 代表の子育て時に気軽に行ける場が見つけられない孤立の体験から、次の世代に同じ経験をさせたくない思いから。
- 様々なITサービスはあるが、7割の人は近所で行われる地域活動・イベントの存在すら知らない。
- 近所の人のつながりで、子どもの成長、育児負担減、生きがい、健康寿命に関わる機会損失が減る今と未来をつくりたい。



ためまっぷ でこう 変わった！

- 導入から1年半を経過して、複数の母親から
  「サービスのない場所に引っ越したくない」の声
- 70代前後の主催団体に、20～30代の育児世代参加が**1.5倍**
- 様々なアプリ、SNSを使うデジタル世代の満足度が**98%**
  ※神戸市長田区との開発実証(2018年)と本格導入にて
- 現在、東北から九州まで導入8団体、実証検討中20団体以上。育児、地域共生を中心に関係人口の要望にお応えする。



人をつなげることでまちづくり・地域づくりを行う

ためまっぷ

By ためま株式会社

令和2年3月2日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

住民に情報が届かない、を解決
住民の主体的な活動と、参加交流に特化

主催者：近所のイベントチラシを１分で投稿

Step1 撮る　Step2 イベント情報入力　Step3 公開



暴風警報・インフル流行時の中止連絡が自宅でできる！
自治体が選任した主催団体が自らリアルタイムで発信・更新

参加者：今から行ける近所のイベントを５秒で検索



使用データ	公共施設に集まる地域活動チラシ、データ（神戸、広島、宮城、東京、大分、他）AED データセット G空間情報センター(広島)
データ形式	チラシ(画像)、PDF、JSON(AED)
提供形態	WEBアプリ(スマホ・PC) イベント詳細の近隣AED情報を表示
受賞歴	2017年　広島県知事賞・県民活動表彰 2018年　地域力創造アドバイザー認定 2019年　情報通信月間 中国総合通信局長表彰 2020年　広島県アクセラレータープログラム大賞　他
地域	全国対象　ご要望で提供エリアが拡大中

人間らしい生き方を再定義して最大化する。5G化で得られない地域の人のつながりを生み出す。

- シンプルだけど今までなかった。活動支援と地域の孤立を減らす。
- 使っている紙のチラシを載せるだけなので70、80代の方々も発信中。
- SNSのように記事を書き続ける労力や投稿作業が集中するのを解消し、発信の内容が特定の人に偏らない活動団体自身のフラットな発信手法。
- 日常からの地域の人のつながりで、有事に手を引いて逃げる関係づくり。
- 自治体等の地域団体が提供して活動者と参加住民との応援の3者循環で地域エコシステムが生まれ、結果商店街への流入も高めています。

行政サービス、助成制度で住みたい街を選ぶ・住んでいる街を知る

生活ガイド.com

By 株式会社ウェイブダッシュ

令和2年3月2日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

全国の市の統計データおよび、独自アンケートにより収集したオリジナルデータを掲載。気になる街の助成制度やデータを調べたり、他の街と比較したり、ランキングを見られるサイトです。

（2005年 サービス開始）

2市のデータを比較してみることができます



項目ごとにランキングでみることも可能です



生活ガイド.com 誕生の キッカケ

- 住む場所によって、行政サービスや助成制度などに大きな違いがあるが、それらを事前に知り、住みたい街を選ぶことができたらというコンセプトからサイトを開設
- 統計などのデータだけでなく住んでいる人の評価や口コミも加わることで、住むことを検討している街についてわかるサイトになりました



生活ガイド.com でこう 変わった！

- 特に家を買って引越しする際に、子育て助成等、こどもが産まれることなども勘案して検討できるようになりました
- 自分の住んでいる街の制度についても、近隣の市などと比較でき、より理解しやすくなりました
- 家を買う際、どのような住宅助成制度がどの市にあるか、すぐに分かるようになりました



行政サービス、助成制度で住みたい街を選ぶ・住んでいる街を知る

生活ガイド.com

By 株式会社ウェイブダッシュ

令和2年3月2日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

項目数は300以上！
街について様々な角度からわかる

建物火災出火件数	93 件	785位 (815市区中)
建物火災出火件数 人口10000人当たり	15.92 件	815位 (815市区中)
刑法犯認知件数	3,287 件	767位 (815市区中)
刑法犯認知件数 人口1000人当たり	56.28 件	815位 (815市区中)

安心・安全
データや順位から治安の良し悪しがわかる

生活環境
賑わいや施設・公園の充実度がわかる

公民館数	0 館	711位 (815市区中)
郵便局数	47 局	80位 (815市区中)
百貨店・総合スーパー数	3 店	123位 (815市区中)
都市公園数	23 ヶ所	550位 (815市区中)
都市公園総面積	266,500 m^2	661位 (815市区中)
1人当たりの都市公園面積	4.30 m^2	676位 (815市区中)
図書館数	5 館	136位 (814市区中)

一般診療所総数	473 ヶ所	33位 (815市区中)
歯科診療所総数	331 ヶ所	34位 (815市区中)
医師数	1,371 人	39位 (815市区中)
医師数 人口10000人当たり	215.45 人	1位 (815市区中)

医療
医療の充実度がわかる

使用データ	国勢調査、住民基本台帳、人口動態調査、学校基本調査、経済センサス等
データ形式	CSV、XLSX
提供形態	Webサービス
受賞歴	--
地域	全国の市＋東京23区

ロケ地写真やご当地キャラなど楽しいコンテンツも！

数字や文字が多くなると、抵抗がある人もいるので、ロケ地の写真やご当地キャラのイラストなども掲載し、多くの人に興味を持ってもらえるサイトになるよう工夫しています。
また「みんなのランキング」では地域に関わるお題を設定し、会員に投票してもらっています。投票結果はランキングになり、多様な切り口で様々な街にスポットを当てています。

実践型教育を支える、新しいプラットフォーム

令和2年6月4日版

データサイエンス講義の提供

By DataGateway株式会社

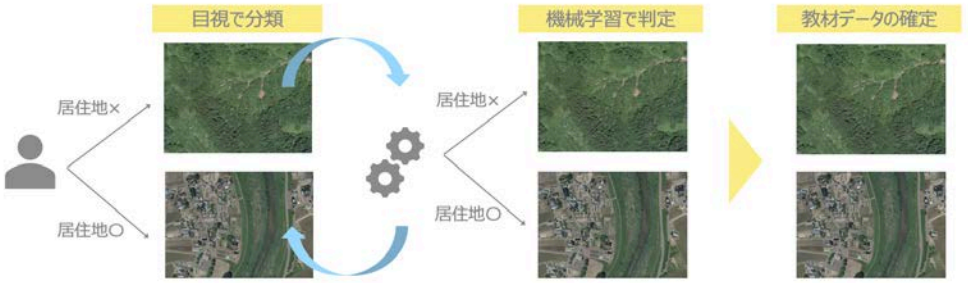
防災減災　教育　産業創出　防犯医療教育等

教育現場の課題として、実社会の知見を活かした実践型のカリキュラムの確立や教師の採点業務の負荷軽減が求められている。弊社では生のオープンデータを教材として利用できるように加工し、カリキュラムを作成してプラットフォーム上での自動採点を可能にした。

長岡市の航空写真を利用した画像診断の機械学習教材を作成。
教材に取り組んだ後にコンペティションプラットフォーム上で提出してもらうことにより自動採点が可能となる。

講座例）画像解析実技講座

課題：数値化された画像データから画像が
「居住地を含んでいるか」を判別する分類器を開発する
テーマ：航空写真を利用した画像診断の機械学習



【オープンデータ】地理情報（GIS）航空写真,長岡市,クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示4.0国際

大学という公的機関と民間企業の技術力＋オープンデータの活用で社会的意義の大きい取り組みになった。

講義提供 の キッカケ

・データサイエンスのテストはあるが自分の実力がわからない（生徒側）
・社会に出てすぐ通用するスキルを身につけたい（生徒側）
・自分の専門分野とデータサイエンスができるといった学際的な人物を輩出したい（教師側）
・テストはするけど成績をつけるのが煩雑・・・（教師側）



講義提供 をしてもらって 変わった！

・リーダーズボードが自動で採点してくれるので、採点業務が大幅に減った
・座学だけでは無い体験型のカリキュラムを提供できるようになった
・生のオープンデータを用いることで生徒にリアリティのある講義を提供できた



実践型教育を支える、新しいプラットフォーム

データサイエンス講義の提供

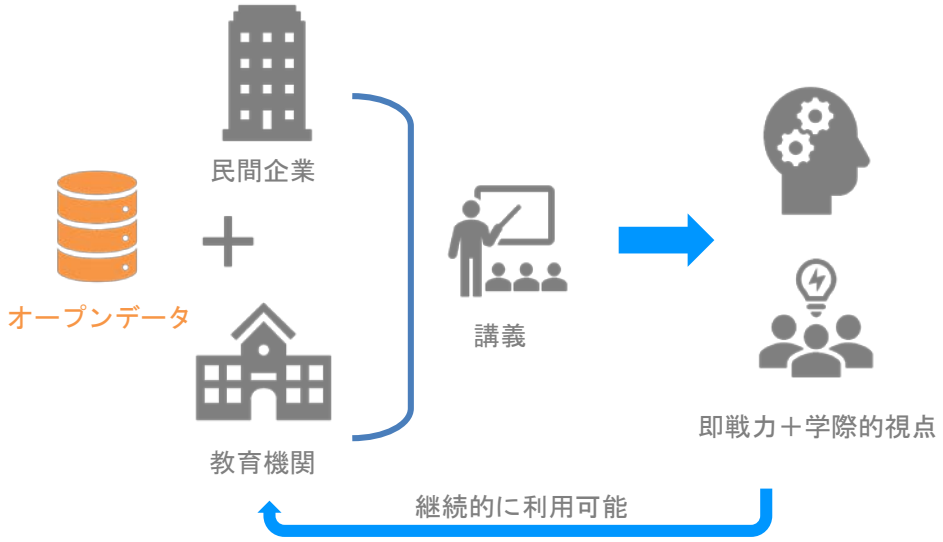
By DataGateway株式会社

令和2年6月4日版

防災減災　教育　産業創出　防犯医療教育等

地域のデータ活用で未来に繋げる

近年の技術革新により、これまでより複雑な多くのデータの集積が可能となり複雑なデータを解析するアルゴリズムの活用方法についての知見がより多く求められている。



大学という公的機関と民間企業の技術力＋オープンデータの活用で社会的意義の大きい取り組みとなった。今回は画像診断の課題であったが他の課題を作成することも可能であり継続的な利用もできる。

使用データ　長岡市のオープンデータ（画像）

データ形式　pdf, jpg, jgw として公開されていたオープンデータをCSV(画像データ）に加工して使用。

提供形態　自社コンペティションプラットフォーム上

地域　新潟県長岡市

画像データを用いた機械学習を学ぶ意義

スマホをはじめとした画像を効率的かつ膨大に取り込むことが可能な技術の発展により、製造・医療・保険等多くの分野において画像解析・パターン認識の応用例は広がりを見せています。本講義を推進することにより、これらの分野において活躍できる人材の輩出に貢献します。

給食の献立の確認がLINEで楽チンに！

あんしん給食管理

By LINE Fukuoka、福岡市、ISIT

令和2年10月7日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

LINEで学校給食のアレルギー品目や献立情報の通知が受け取れるように。
これまで目視作業がメインだった学校給食の食物アレルギー管理作業をIT化することで、食物アレルギー事故0を目指す

使い方は、通っている小学校、地域、アレルゲン、通知を受け取りたい時間を福岡市LINE公式アカウントに設定するだけ。



アレルゲンが含まれる献立の日に、事前に通知が届く。



日付検索でいつでもどこでも給食の献立が手軽に確認できる。

サービス 誕生の キッカケ

福岡市では小学生の3.1%（2019年5月1日時点*）に食物アレルギーがあり、学校給食での食物アレルギー事故対策は喫緊の課題となっています。給食でのアレルギー事故防止として、保護者や教職員は毎月配布される「詳細献立表」でアレルゲンの管理を行っていますが、目視での作業ではチェック漏れのリスクが高く、家庭や学校現場での確認作業の負担が課題となっていました。



サービス でこう 変わった！

①アレルゲン品目が含まれた献立の日は、LINEで事前に通知が受け取れる
②学校給食の献立情報が毎日LINEで受け取れる
③日付から、学校給食の献立メニューやアレルゲンが確認できる

これにより毎月発生していた給食のアレルゲン確認作業の負担とチェック漏れのリスクが解消されます。また、献立表が手元になくてもLINEで確認できるので、夕食の準備の際に学校給食のメニューとの被りを防ぐ効果も。



給食の献立の確認がLINEで楽チンに！

あんしん給食管理

By LINE Fukuoka、福岡市、ISIT

令和2年10月7日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

行政のオープンデータの利活用を促進し、市民の暮らしをより便利に

「あんしん給食管理」は、福岡市LINE公式アカウント上で学校給食の献立情報やアレルギーの通知が受け取れたり、検索できる機能です。
LINE Fukuoka・福岡市・ISITはオープンデータの利活用促進を目的に3者で実証実験の協定を締結しており、「あんしん給食管理」はその協定の第一弾目の取り組みとして開発されました。

「あんしん給食管理」開発における3社の役割は次の通りです。

【福岡市】小学校給食献立のオープンデータ公開
【 ISIT 】小学校給食献立にアクセスするためのAPI（アプリケーション・プログラミング・インタフェース）開発
【 LINE Fukuoka 】福岡市LINE公式アカウントに実装する「あんしん給食管理」アプリケーション開発



今回のサービス開発は、福岡市（オープンデータ）、ISIT（API）、LINE Fukuoka（アプリ）という多様な主体がそれぞれの長所を組み合わせて実現したオープンイノベーションの成功事例としても大いに意義があります。

使用データ	給食献立情報
データ形式	Excel / Web API
提供形態	LINE
受賞歴	–
地域	福岡市

先進的かつ有意義なオープンデータの活用例

政府は自治体に対してオープンデータとして公開を推奨するデータを「推奨データセット」として定めるとともに、民間企業によるオープンデータを活用したサービスの創出にも努めています。学校給食献立も推奨データセット化が議論されています。
「あんしん給食管理」は、オープンデータの学校給食の献立情報をAPI化した点で先進的かつ、市民の暮らしの利便性と学校給食の安全性を向上させた点で有意義なオープンデータの利活用の事例です。

FIWARE版新型コロナウイルス感染症対策サイトをオープンソースソフトとして公開

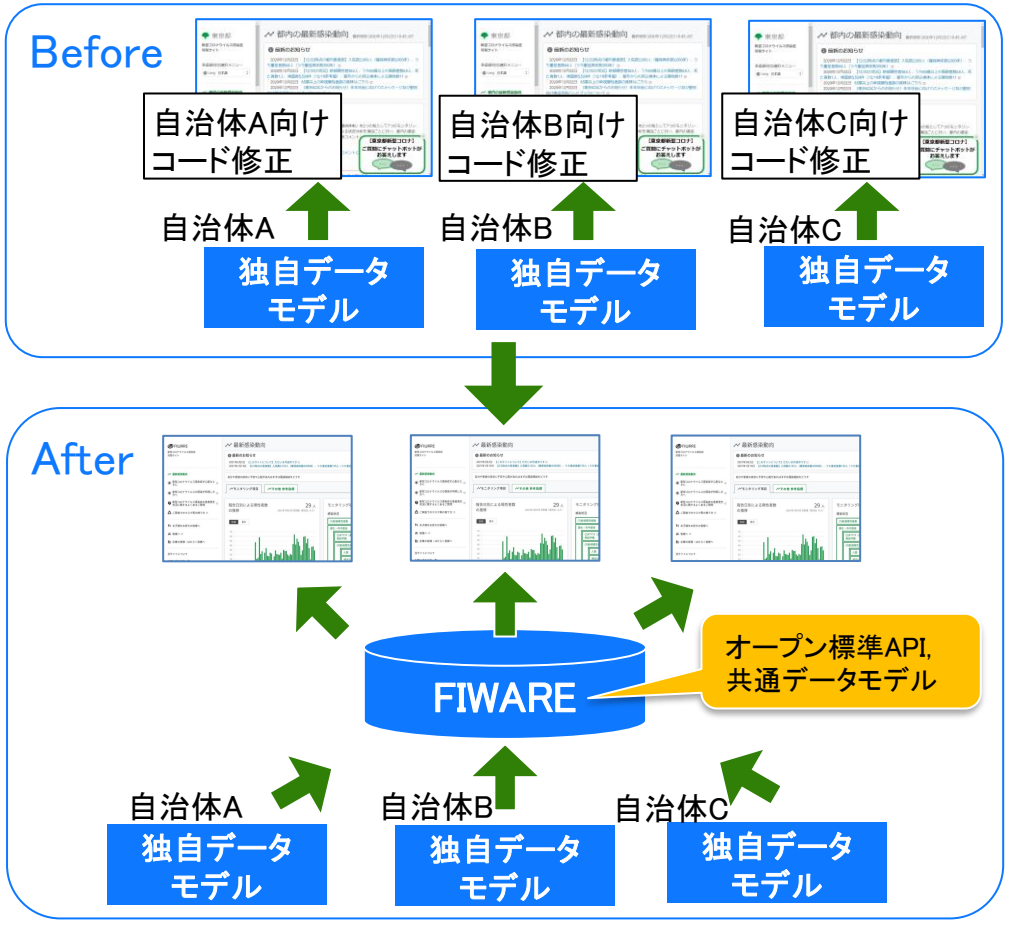
令和3年5月25日版

FIWARE版コロナウイルス対策サイト

By日本電気株式会社

防災 減災 | 少子 高齢 | 産業 創出 | 防犯 医療 教育等

東京都公式新型コロナウイルス対策サイトのソースコードを改造し、オープン標準API、共通データモデルに対応。
全国の自治体が公開するコロナウイルス対策オープンデータを取得・変換してWebサイトに表示できます。



サービス 誕生の キッカケ

- 2020年3月に東京都公式の新型コロナ対策サイトがオープンソースとして公開され、全国の各都市で再利用されました
- 東京都と同じデータモデルでデータを公開する自治体であればソースコードを修正することなく利用できました
- 一方、データモデルが異なったり、データの取得方式が異なっている場合、ソースコードの修正が必要でした

サービス でこう 変わった！

- FIWARE版コロナ対策サイトはオープン標準APIと共通データモデルを採用することで、ソースコードの修正が不要になりました
- 独自データモデルを共通データモデルに変換するツールを開発
- 独自データモデルの項目を共通データモデルの項目に対応づける定義を作成するだけで、自治体毎の新型コロナ対策サイトを簡単に立ち上げることができます

FIWARE版新型コロナウイルス感染症対策サイトをオープンソースソフトとして公開

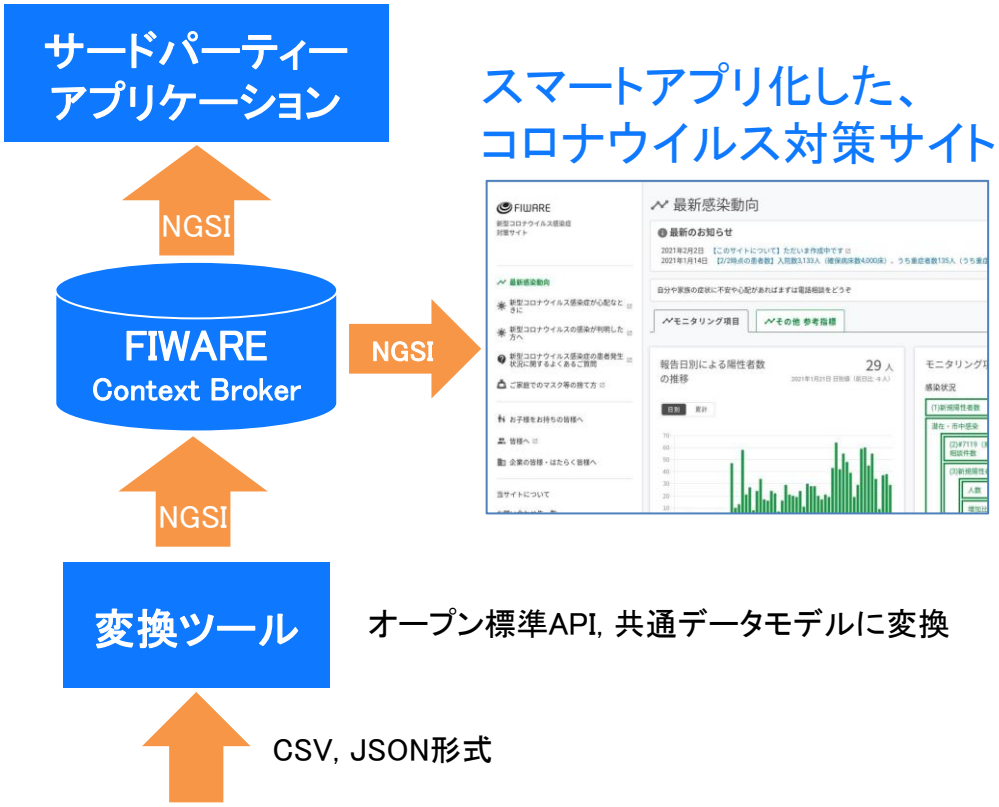
令和3年5月25日版

FIWARE版コロナウイルス対策サイト

By日本電気株式会社

防災 減災 | 少子 高齢 | 産業 創出 | 防犯 医療 教育等

オープンデータとアプリの再利用を加速



スマートアプリ化した、コロナウイルス対策サイト

使用データ	全国の自治体が公開する新型コロナウイルス感染症対策オープンデータ
データ形式	CSVおよびJSON形式に対応
提供形態	オープンソースソフト（MIT License）
受賞歴	—
地域	全国

コラム

FIWAREはスマートアプリケーションのためのオープンソースプラットフォームです。情報サイロを打破するためのオープン標準API(NGSI)、共通データモデルを採用しています。

ソースコードのダウンロード

https://github.com/NEC-FIWARE/fiware-covid-19

データで学校を見える化する、学校教育情報データベースサイト

令和3年5月25日版

ガッコム～学校教育情報サイト～

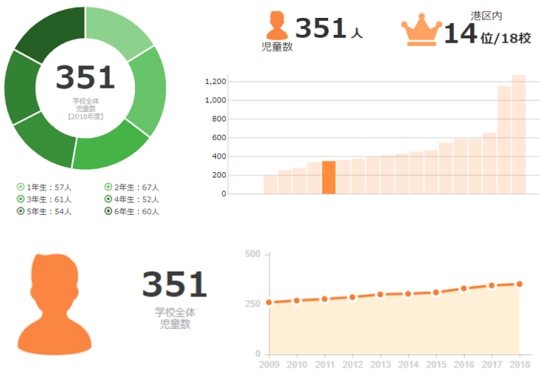
By 株式会社ガッコム

防災 減災 | 少子 高齢 | 産業 創出 | 防犯 医療 教育等

全国の保育園・幼稚園・小学校・中学校の情報を無料で提供する、日本最大級の学校教育情報データベースサイト。
各学校の学区、児童生徒数、使用教科書など、客観的事実とデータに基づくリアルな学校情報を提供。

全国の学校のデータが、グラフで、地図で、簡単にわかる、比べられる







サービス 誕生の キッカケ

- 従来は、学校情報というと口コミサイトが中心で、時期が不明で比較不可能な主観的情報のみが氾濫していた。
- 通学区域などの客観情報は、地元の人しか知らず、転居先検討の際に苦労することが多かった。
- 創業者は、研究のために学校データを収集・分析していたが、学校に関する客観的情報は、保護者を含め、すべての人が共有すべき公共財と考え、サイトの設立を決断した。



サービス でこう 変わった！

- 地域の学校の客観的な情報が、同一の基準と統一的フォーマットで、全国どこからでもアクセス可能となった。
- データはグラフや地図で視覚化され、鮮度も明確になり、学校選びのために使いやすい情報となった。
- 学区情報が文字でも地図でも詳細に分かるため、学校区を踏まえた転居先の検討が容易になった。



データで学校を見える化する、学校教育情報データベースサイト

令和3年5月25日版

ガッコム～学校教育情報サイト～

By 株式会社ガッコム

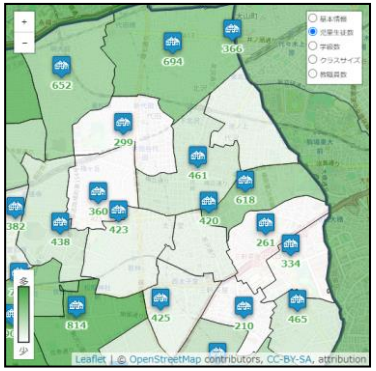
防災 減災 / 少子 高齢 / 産業 創出 / 防犯 医療 教育等

客観的データで1人ひとりに合う学校選びを

年度推移・自治体内順位をグラフで



エリア比較を学区地図で



客観的データ投稿でより詳細化



使用データ	子育て施設一覧、小中学校通学区域情報など
データ形式	CSV、Excel、HTML、PDF、Shapeなど
提供形態	Webアプリ
受賞歴	2019年度VLED勝手表彰 OKJP賞
地域	全国

みんなで学校情報を追加！約300項目の利用者投稿！

ガッコムでは、数多くの学校別データ（学区、児童生徒数、教職員数、使用教科書など）と自治体別教育データ（学力調査、体力調査、耐震化、情報化、給食実施状況など）を掲載していますが、独自調査だけでは収集しきれない客観的データについては、利用者から投稿いただいています。対象は施設、校則、部活、イベントなど多岐に渡り、質問は全部で約300項目。保護者や在校生を中心に、平均約100項目の回答（※中学校1校当たり・令和3年3月現在）があり、ガッコムの独自データを形成するとともに、利用者の学校選びにもご活用いただいています。

病院の地図上検索と新型コロナ感染症関連受診状況や診療科目の絞込み検索

令和４年５月12日版

オープンデータを利用した病院検索アプリ

By個情報バンク合同会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

全国16万件強の病院と日々更新される約8千件の新型コロナ対応病院の医療体制を、地図上で素早く検索できるアプリです。

新型コロナ検索モードと通常検索モードの表示例

新型コロナ検索モード



ページ

通常検索モード



病院検索アプリ誕生のキッカケ

- 急な病気等で早期に対応できる近くの病院を素早く探せるアプリが無い。
- 専門の病院に問い合わせたい場合、近くの専門の病院の連絡先が分からない。
- 新型コロナの病院毎の医療体制の情報が無いので、自分で問い合わせるまで分からない。



病院検索アプリでこう変わった！

- 新型コロナ感染症対応の病院や全国の病院をエリア検索し、新型コロナの医療体制や専門の診療科目で絞り込みが簡単に出来て、連絡先の電話番号も表示されるので、早期の対応役立ちます。
- PCでの利用だけで無く、スマートフォンにはPWAでホーム画面に追加できるので、アプリのように使用できます。



病院の地図上検索と新型コロナ感染症関連受診状況や診療科目の絞込み検索

令和４年５月12日版

オープンデータを利用した病院検索アプリ

By個情報バンク合同会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

複数のエリア検索と絞込みが可能

・モードの選択：新型コロナ検索モード／通常検索モードが選べます。
・エリア検索：周辺10㎞四方の検索／郵便番号から検索／自治体コードの3種類の検索が可能です。
・絞込み：新型コロナ検索モード時は病院の受診体制、通常検索モード時は診療科目
で絞込みが可能です。
・データ保存：病院データを保存し、後から参照できます。
・スマートフォンのホーム画面にインストールできます（PWA対応）



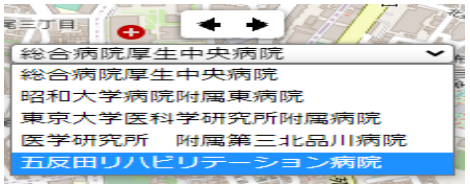








PWAのインストール方法
・Android: ホーム画面に追加
・iOS: Safariの共有→ ホーム画面に追加



使用データ	病院名・住所・電話番号・診療科目・提供している医療体制等のデータを使用
データ形式	JSON形式
提供形態	Webアプリ＋PWA（スマホ）
受賞歴	―
地域	全国

コラム

- アプリ本体は下記のURLで直ぐにご利用できます。
  https://www.pib.co.jp/company/hosmap/index.html
- アプリの使い方は下記のURLを参照して下さい。
  https://www.pib.co.jp/company/hosmap.html
- 上記URLをスマホのブラウザで開いて最下部のPWAインストールを実行すると、ホーム画面に登録できます。
  ※PWA：プログレシブ ウェッブ アプリ

オープンデータとGISでEBPM(根拠に基づく政策立案)を推進

令和4年7月6日版

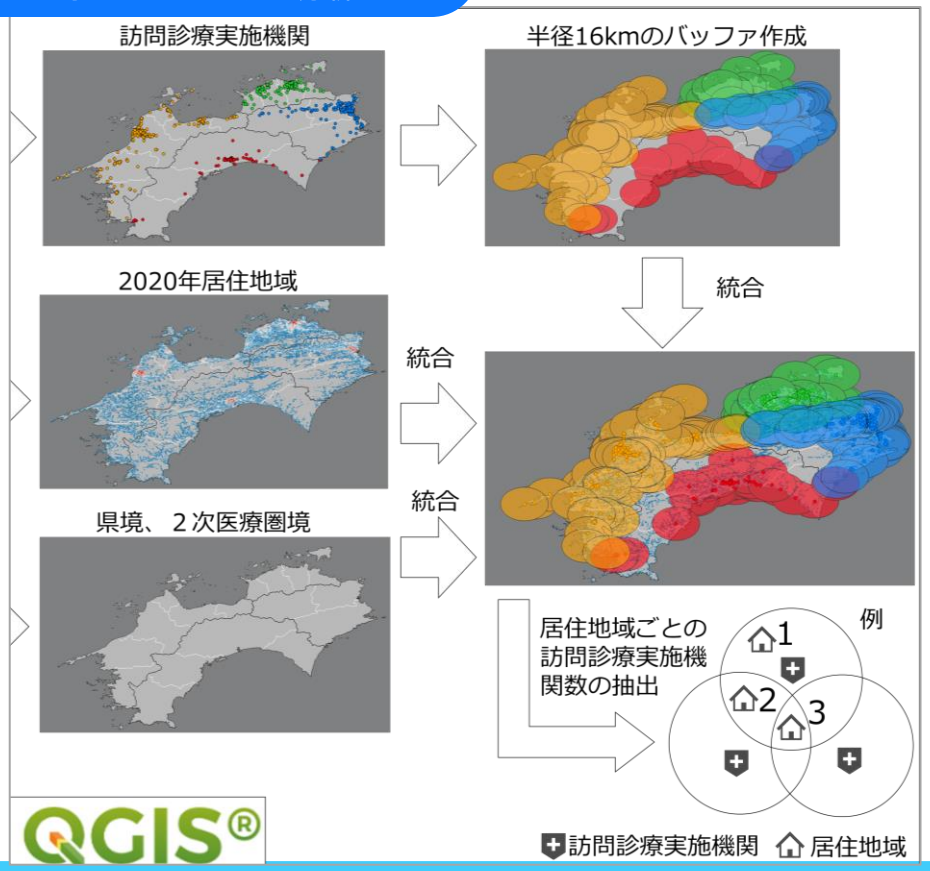
G-CHAM ： GISで地域診断

By大阪医科薬科大学公衆衛生看護学分野　堀池Labo

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

EBPM(根拠に基づく政策立案)を推進し誰もが健康になることの目指す手法。 QGISで地域の健康状態や健康課題を空間解析。国勢調査小地域データ、物理環境や将来人口推計メッシュ、PLATEUなどを使用。

たとえば：四国の訪問診療体制をオープンデータで分析



G-CHAM（じーちゃむ） 誕生の キッカケ

地域の健康状態は地図で表現できる

- 地域診断は地域の健康状態や課題を明らかにする手法
- 膨大なデータや統計を丁目単位から都道府県単位まで幅広く扱うが、手作業や紙地図では限界・・・

G-CHAM でこう 変わった！

様々なデータを空間解析し地理的関連性を見出す

- 人口や位置情報といった異なるデータ形式をGISソフトを用いてPCで操作するため、交通機関等の物理的環境、人工衛星観測データ等を含む、これまで同時に空間解析できなかったデータ間の地理的関連性を明らかにすることができる。
- データ間の地理的関連性から新たな指標を作成し経年評価に利用することができる。

オープンデータとGISでEBPM(根拠に基づく政策立案)を推進

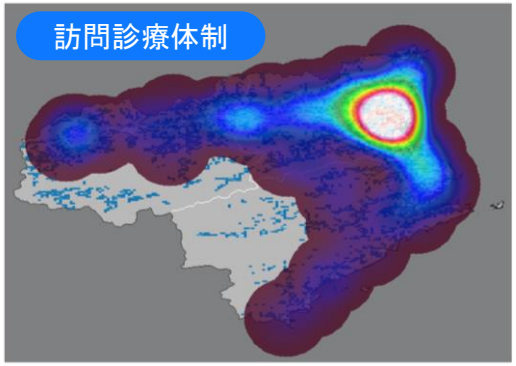
令和4年7月6日版

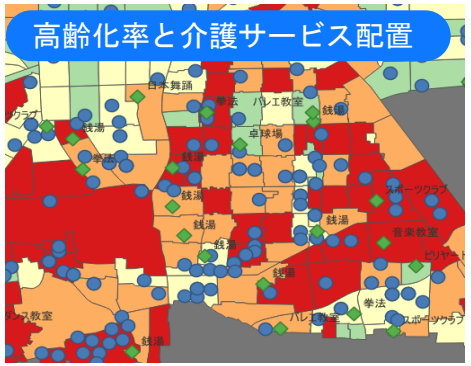
G-CHAM：GISで地域診断

By大阪医科薬科大学公衆衛生看護学分野　堀池Labo

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

地域の健康は、見えると楽しい





- G-CHAMは「地理情報システムを用いた地域診断メソッド」の略称（***G****IS-based* ***C****ommunity* ***H****ealth* ***A****ssessment* ***M****ethods*）
- 地域診断の理論はcommunity as partner modelをベース
- 対象データは12種類と網羅性が高い。①歴史②人口統計③民族性④価値観と信念⑤物理的環境⑥教育⑦安全と交通⑧政治と行政⑨保健医療と社会福祉⑩情報⑪経済⑫レクリエーション
- 地域の人口特性把握、サービス配置、災害避難経路をはじめ、データの組み合わせに応じて多様な活用が可能
- 地域やニーズに合わせてデータを組み合わせ可視化するとともに、データの関連性を空間解析することで、これまでにない新たな政策立案が可能

使用データ　国土数値情報、eStat、数値標高モデル、PLATEU、人工衛星観測データ

データ形式　shp、GeoTIFF、fgdb、csv

提供形態　Webサイトにメソッドを掲載

受賞歴　奨励賞（日本公衆衛生学会,2022）

地域　全国

日本全国、地域や対象を問わず活用可能です！

- 健康の社会決定要因(SDH)に示されるように住む場所により人々の健康は影響を受けます。自治体全域に均一的な政策だけでなく、より詳細な地域に応じた政策を展開する必要があります。
- 政策の効果を評価する際にも人に関する指標だけでなく、物理的な環境要因の指標を併せて分析することで政策の効果なのか、もしくは環境変化によるものかを評価することも重要です。
- 詳細はwebサイトをご覧ください→ https://g-cham.carrd.co

現在位置（ＧＰＳ情報）からオープンデータを検索できるサービスです

令和4年10月28日版

自治体オープンデータマップ

By　株式会社ネオ・ジーアイエス

防災 減災　少子 高齢　産業 創出　防犯 医療 教育等

検索地図、もしくはＧＰＳによる現在位置に存在する自治体のオープンデータを検索し地図上に表示するサービスです。
現在地の近くのＡＥＤを探すとか、観光情報を探すとか、各自治体のオープンデータサイトに行かなくても地図上で即時検索、表示が可能です。

全国自治体オープンデータを場所から検索



サービス 誕生の キッカケ

- 複数自治体のオープンデータを各自治体のHPそれぞれで確認するのが手間
- オープンデータサイトに掲載されている場所情報がCSVのみでは分かりづらい

「全国どこでも地図で検索して、即地図表示」が便利！

サービス でこう 変わった！

- 自治体のホームページに行かなくても、オープンデータを検索可能に！　日本全国、ワンストップで！
- 検索したオープンデータ情報が明細と共に地図上にピンで表示される

「緊急時、近くのAEDは？　旅先で、近くの観光情報は？」
自治体のオープンデータを実生活で有効利用！

現在位置（ＧＰＳ情報）からオープンデータを検索できるサービスです

令和4年10月28日版

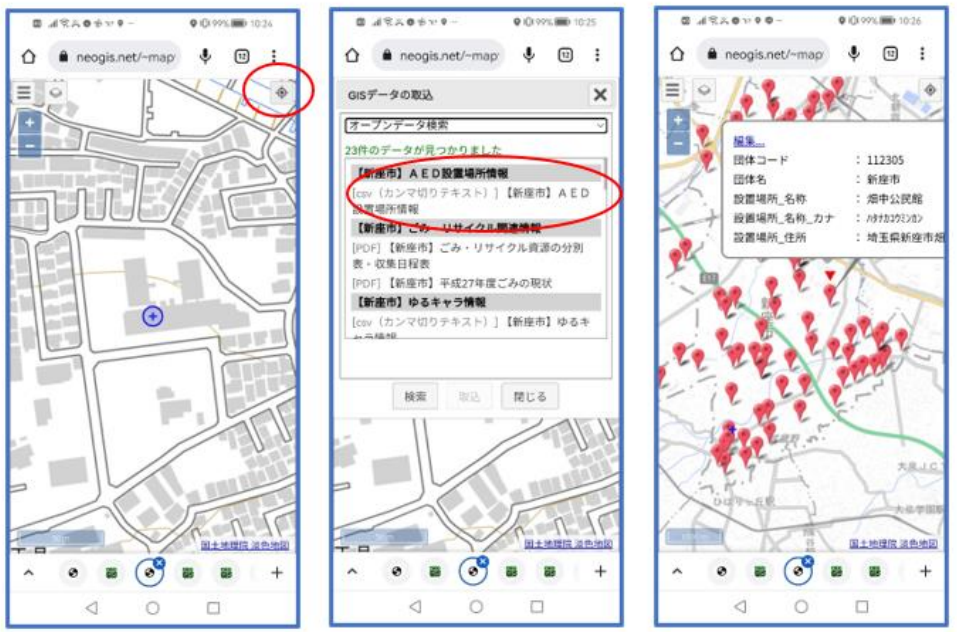
自治体オープンデータマップ

By　株式会社ネオ・ジーアイエス

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

オープンデータの地図表示

例えば、旅先での緊急のＡＥＤ検索



GPS 現在位置表示　オープンデータ取込　AED 設置場所表示

使用データ　自治体が公開しているすべてのオープンデータ

データ形式　CSV,PDF,GISデータ （shape,GeoJSON,KML)・・・

提供形態　Webサービス

受賞歴

地域　全国

オープンデータと地図

- 自治体が公開しているオープンデータは、地図に載せると有効なものが多いです。
- デジタル庁で定めている「推奨データセット」も、基本編は、AED設置箇所一覧、介護サービス事業所一覧等、ほぼ地図で表示すべきデータばかりです。

本サービスは、自治体の公開型GISとして御利用頂けます。

ハザードマップをLINEで、防災に活用する。

令和5年6月2日版

LOCABO（ロケ防：ロケーション防災）

By株式会社プライムビーピー

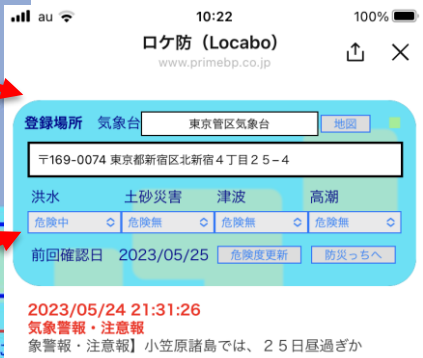
防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

ロケ防は、登録した住所のハザードマップをLINEで取得し、気象警戒情報を閲覧できる気軽に持ち歩ける防災ツールです。また防災を学べる防災っちで、楽しく学びながら防災計画を立て、防災力を向上できます。

ハザードマップから取得した災害種別毎の危険地域を色ではなく、危険度に変換して表示します。



ロケ防メニュー画面

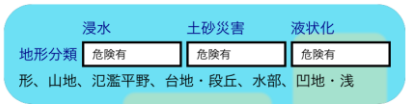




LINEの地図機能を使って場所を登録します。

気象庁から配信される登録場所に係る気象警戒情報を表示します。

地形分類（自然地形・人工地形）※も表示します。



サービス 誕生の キッカケ

- ハザードマップは更新される？
  住んでる場所がいつの間にか洪水危険地域になっていることを知り、ハザードマップに対する知識不足を痛感した。
- 配布される紙媒体で見る機会が多い。
  ネットでも閲覧できるが、配布される紙で見ることの方が多く、自宅の確認だけで終わってしまう。



ロケ防 でこう 変わった！

- ＬＩＮＥで簡単にハザードマップの危険地域情報が入手できる。
- 指定した地域の気象警戒情報がハザードマップ情報とリンクして得られるので、ハザードマップをリアルタイムに活用できる。
- 防災っち機能により、楽しく防災を学べると共に、ハザードマップを基にした個人の　防災計画を立て、疑似防災訓練も行える。



※自然地形：その土地の元々の地形を指します。人工地形：造成など人工的に手を加えた地形を言います。近年、潜在的な災害要因として注目されています。

ハザードマップをLINEで、防災に活用する。

令和5年6月2日版

LOCABO（ロケ防：ロケーション防災）

By株式会社プライムビーピー

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

ハザードマップと防災計画の結合

ロケ防は、ＬＩＮＥのお友達登録で、ハザードマップを持ち歩き、登録した地域の気象警戒情報を確認できる無料のサービスです。自宅だけではなく、遠方の親類、旅行先などを登録して利用できます。**防災っち**は、ロケ防の気象警戒情報を見ることで、**楽しく防災を学び、個人の防災計画を立て、疑似防災訓練も行える**防災力向上のツールです。



防災っちでは、気象警戒情報を見る度に、装備品をもらえたり、備蓄品を買うポイントが手に入ります。また、クイズやイベントにチャレンジする権利も獲得できます。気象警戒情報を見る習慣を身につけながら、防災計画を考え、防災を学べます。

各種のイベントは、防災計画の必要項目となっています。

（イベントの内容）

- 防災装備品リストの作成
- 持出品リストの作成
- 避難ルートマップの作成
- 防災訓練



避難ルートマップ作成画面



イベントメニュー

使用データ　国土地理院ハザードマップの各災害リスク別地図タイル情報／気象庁ATOMフィード気象情報

データ形式　TILE、XML

提供形態　LINEのお友達登録、iPhone,Android端末

受賞歴　ー

地域　全国

ハザードマップと気象情報

ハザードマップは国土地理院が提供しており、気象情報はもちろん気象庁から配信されています。両者を橋渡しするものは何もありません。気象情報もすべてその地域を管轄する気象台から発表しているのではないことはあまり知られていないのではないでしょうか。ロケ防では、登録した場所のハザードマップ情報と気象情報を技術的な工夫により結び付けて提供しています。

ロケ防は下記からどうぞ

https://www.primebp.co.jp

またはLINE友達登録　@821gpjud

訪日外国人にとって便利な多言語MAP

令和5年6月30日版

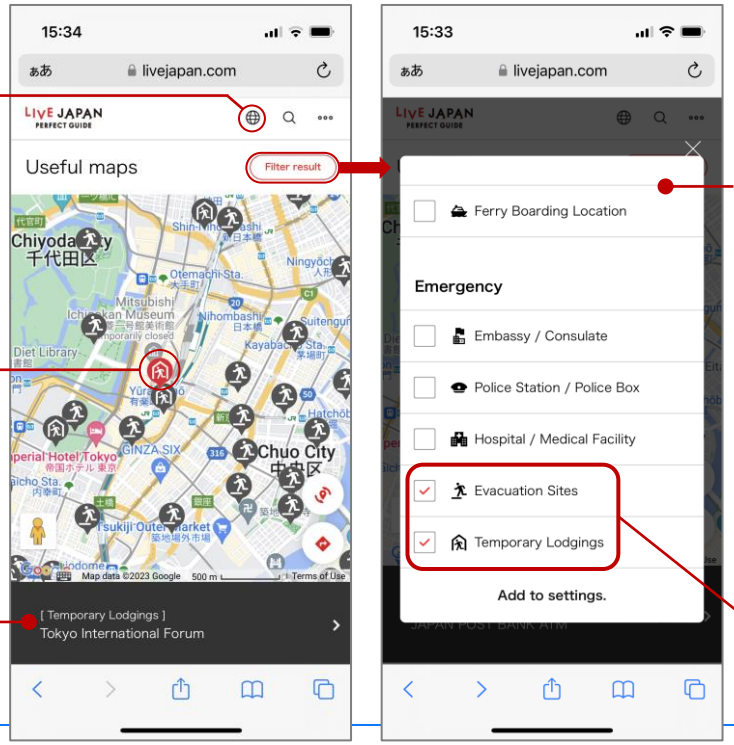
LIVE JAPAN PERFECT GUIDE（お役立ちマップ）

By株式会社ぐるなび（LIVE JAPAN事務局）

防災 減災 / 少子 高齢 / 産業 創出 / 防犯 医療 教育等

多言語対応されたMAPに東京都内の避難場所・一時滞在施設に関するオープンデータを追加

●「お役立ちマップ」　旅ナカの外国人旅行者にとって役立つ設備を地図上にプロット



毎月約50万人の旅ナカ外国人が利用する訪日外国人向け観光情報サービス

LIVE JAPAN PERFECT GUIDE 内のコンテンツの1つ「お役立ちマップ」

サービス 誕生の キッカケ

- 外国人旅行者がGoogle mapでは探しきれない 旅ナカで必要とする設備を探せるサービスとして「お役立ちマップ」を2016年より提供。
- 「避難場所」「一時滞在施設」については費用の関係上掲載を見送っていたが、東京データプラットフォームケーススタディ事業をきっかけにシステム改修・掲載開始。



サービス でこう 変わった！

- 英語・繁体字・簡体字・韓国語を理解できる外国人旅行者が素早く「避難場所」「一時滞在施設」を探せるようになった。
  （外国人旅行者が普段見るLIVE JAPAN内で確認できる⇔自治体HP）
- 外国人へのWebアンケート・対面インタビュー調査の結果「災害発生時に本サービスをおそらく利用する」が8割を超えた



※対象はLIVE JAPAN展開サービスエリアのみ。ただし、「避難場所」「一時滞在施設」は東京都のみ

訪日外国人にとって便利な多言語MAP

令和5年6月30日版

LIVE JAPAN PERFECT GUIDE（お役立ちマップ）

By株式会社ぐるなび（LIVE JAPAN事務局）

防災 減災 / 少子 高齢 / 産業 創出 / 防犯 医療 教育等

外国人旅行者が旅ナカで使えるサービス

実現に向けたフロー概要は以下の通り。
今後は他地域での対応や、施設名の多言語対応などを検討中



アプリではないため、どなたでも利用いただけます

https://livejapan.com/en/handymap/

使用データ	東京都が保有するオープンデータ「避難場所」「一時滞在施設」
データ形式	CSV
提供形態	Webサイト（PC、スマホ）
受賞歴	ジャパン・ツーリズム・アワード 第 6 回 リスクマネジメント賞 / ジャパン・レジリエンス・アワード（強靭化大賞） 2021 企業・産業部門 最優秀賞 / 2019 年度（第 37 回） IT 賞 IT 優秀賞 （社会課題解決領域）など
地域	東京都

災害情報の多言語発信

- 大規模災害発生時、あふれる情報のほとんどは日本語です。不安を抱える外国人旅行者の一助になれればと、私たちは災害情報の多言語発信に注力しています。

- 東京データプラットフォームケーススタディ事業（当社の事例）
https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/society5.0/case_study/project03/

- 「おまもりカード」について話をさせてもらえないでしょうか？
https://note.com/live_japan/n/n549350e12ee2

授乳室・おむつ交換台検索アプリ

ママパパマップ

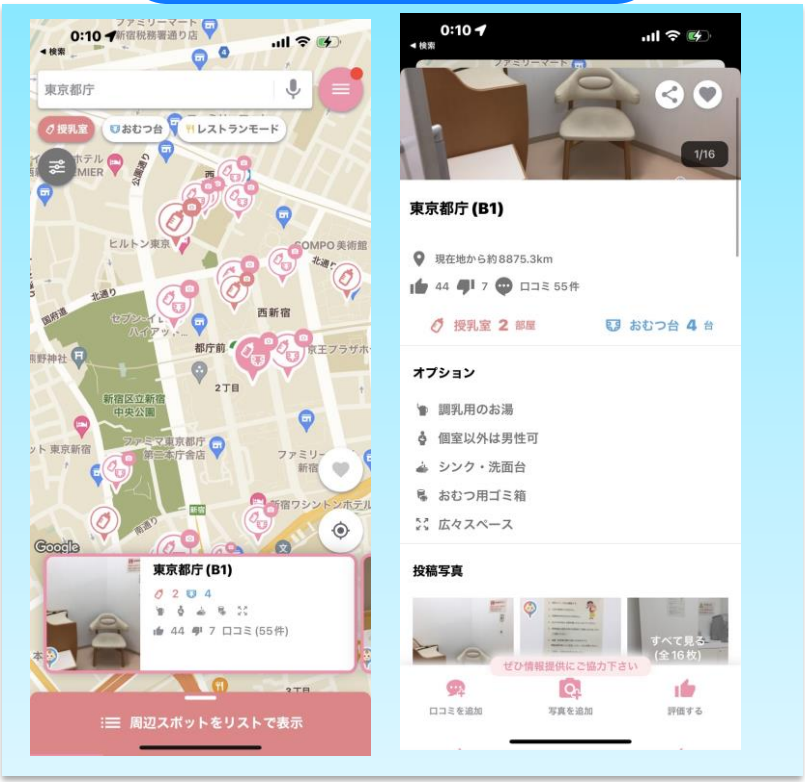
By　コドモト株式会社

令和5年9月29日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

児童館や赤ちゃんの駅をはじめ、多目的トイレ内のおむつ交換台情報などの情報を活用しながら、
授乳室やおむつ交換台など乳児連れの家族が使う施設の紹介をしています。

アプリのイメージ



サービス 誕生の キッカケ

- 赤ちゃんの駅情報は都道府県ごとにフォーマットがバラバラ。画像がなく雰囲気がわかりにくい。
- 授乳室情報がまとまったサイトがなくて、お出かけの前の下調べが大変。ミルクユーザーは、「とりあえずお湯も」となるため荷物が多くなりがちで外出が億劫に・・

サービス でこう 変わった！

- 一つのサイトで、リサーチ完了。
- https://mamamap.jp
- 大量の口コミがあり、環境の良い授乳室や赤ちゃん休憩室が簡単に見つけられます。

乳児連れのお出かけがしやすくなった

授乳室・おむつ交換台検索アプリ

令和5年9月29日版

ママパパマップ

By　コドモト株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

授乳室問題をITでできることから

乳幼児連れだと必ず心配になる、授乳室・おむつ交換台問題。実際にほとんどのユーザーが当事者になってはじめて気づく授乳室・おむつ交換台の大切さ。スタッフ陣が、我が子が産まれてから実際に必要だと思った機能を継ぎ足しています。

このアプリの特徴として、行政機関から可能な限りオープンデータを活用、それ以外はユーザー投稿型で作成しています。ユーザーは投稿するインセンティブがないにも関わらず、善意だけで口コミが約10万件・画像が約13万件投稿されるとともに、良い施設だった・いまいちだったの評価が約41万件（2023年9月時点）集まっており、他のママパパの役に立っています。

使用データ	多目的トイレデータ、子育て関連施設データ
データ形式	CSV
提供形態	Webサイト（PC、スマホ）、アプリ
受賞歴	キッズデザイン賞 ベビーテックアワード 厚生労働省「健やか親子21」
地域	全国

子連れでどんどん出かけよう！

子連れでの外出は、慣れれば慣れるほど楽しくなってきます。
しかし、最初のうちが大変であればあるほど、外出する回数が減ってしまうのでは？外出をもっと楽しくてストレスがないものにできるよう
ママパパマップでは授乳室・おむつ交換台に限らず価値を提供できればと思っています。

https://mamamap.jp

世界43万件以上のミュージアムを“すごろく”のようにめぐる！

令和6年9月13日版

Sugoroku.com / すごろく.COM

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

By　サイバーズ株式会社

世界中の博物館、美術館、科学館、水族館、動物園、植物園、記念碑、史跡、遺跡など43万件以上を簡単に探せ、”すごろく”のようにめぐる無料ミュージアムデータベースアプリ（2022年2月サービス開始)

https://sugoroku.com/

①現在地・目的地周辺の施設を一覧し詳細情報、類似施設の情報も





②見学した記録はもちろん履歴からオススメも



③見学施設の主題や関連属性で探求ミッション達成メダル獲得
※ゲーミフィケーション

オープンデータを組み合わせ、全世界43万件以上(2024年7月現在)の施設情報・画像・関連サイトへのリンクを日本語・英語で収録

サービス 誕生の キッカケ

- 日本国内の博物館だけでも4,400館以上、小規模な資料館や史跡、さらに海外も含めると網羅的に調べる手間は膨大
- 見学して初めて知った展示主題、建築様式などの要素・属性の場合、さらに探求できる施設を探すのは難しい



サービス でこう 変わった！

- 世界43万件以上の施設をGPS連動の地図上で容易に把握し、施設種別毎のアイコンのタップで詳しい情報も確認可能に。共同編集型オープンデータを用いており、適宜追加・更新。
- 施設毎や見学履歴に基づき類似する要素・属性を持つ施設をオススメとして表示し、さらに探求を深める手がかりに



世界43万件以上のミュージアムを”すごろく”のようにめぐる！

令和6年9月13日版

Sugoroku.com / すごろく.COM

By　サイバーズ株式会社

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

博物好きによる博物好きのための



「Sugoroku.com / すごろく.COM」は全世界43万件以上(2024年7月現在)の博物館、美術館、科学館、水族館、動物園、史跡、遺跡を簡単に見つけ、“すごろく”のようにめぐれるスマートフォン向け無料アプリです。
サイバーズ株式会社の企業コンセプト「Communication, Collaboration & Education based on Technology」に基づいたCSR(企業の社会的責任)活動として、2022年2月から提供しています。

ミュージアムは知識と体験の宝庫です。博物館で先人の知恵や最先端の科学に触れ、美術館でアート作品に心動かされ、史跡で先人の足跡に触れたりと、未知の刺激に満ちています。生涯学習者を含む全ての方にとってミュージアムは極めて有用な施設ですが、学習指導要領改訂により設けられた「総合的な学習(探求)の時間」において、社会教育施設である博物館の積極活用が明記され、重要性はさらに増しています。ところで、インバウンド・アウトバウンド問わず、遠隔地の博物館・類似施設や史跡等の見学時には、近隣に同様の主題を持つ館や関連史跡など興味関心を惹く施設がある場合も少なくありません。これらを複合的に見学することで、複数の視点からの展示・解説による知識・経験の補完を期待できますが、事前に網羅的に施設情報を収集するのは容易ではありません。これが改善できれば、より良い見学計画を立案できることから、本アプリを開発しました。

当社代表が博物館、史跡等あわせて年間200件以上めぐることもあるミュージアムマニアなのが開発のきっかけですが、博物好きが集まるイベントに出展した際には同好の方々から大変好評いただいています。

使用データ
施設情報：Wikidata / 地図：OpenStreetMap
施設画像等：Wikimedia Commons
収蔵品・展示情報：メディア芸術データベース・データセット

データ形式
使用データに記載のオープンデータを
スマートフォン向けアプリケーション上で統合表示

提供形態
スマートフォンアプリ

受賞歴
文化庁主催
第4回メディア芸術データベース活用コンテスト
クリエイティブ部門優秀賞

地域
全世界43万件以上のミュージアム等

コラム

「Sugoroku.com / すごろく.COM」はオープンデータに基づくプロジェクトです。ミュージアムとオープンデータには、知の蓄積と共有という、とても素敵な共通点があります。Wikidata / Wikimedia Commons / OpenStreetMapプロジェクトは全世界のボランティアがデータ更新を担っており、どなたでも参加できます。Wikidata / Wikimedia Commonsの最新データはアプリアップデート時に、OpenStreetMapは随時反映されます。

https://sugoroku.com/

オープンデータで消防団員をレスキュー！

会津若松市消火栓マップ

By Code for Aizu

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「消火栓が見つからない！」を無くしたい。そんな地元消防団員の願いから生まれた
デバイスの位置情報を基にGoogle Map上に周囲の消火栓と消火水槽を表示するアプリです。(2014年5月サービス開始)

「全体表示」「現在地から最寄りのルート表示」
「地図の中心地を指定して表示」から選択して検索する





地図データ ©2016 Google, ZENRIN



通常のマップ上だけでなく、ストリートビューで
実際の風景と照らし合わせて場所を確認できる

消火栓マップ 誕生の キッカケ

- 消防団員が管轄外へ応援に行く際、消火栓を探すために大変な苦労と時間がかかった
- 特に冬場の消火活動時、雪で消火栓が埋まってしまいどこに消火栓があるか発見するのが難しかった



消火栓マップ でこう 変わった！

- 応援に駆けつけた消防団員が、現地に到着するまでにあらかじめ消火栓の位置を把握できるようになり、迅速な応援が可能となった



オープンデータで消防団員をレスキュー！

会津若松市消火栓マップ

By Code for Aizu

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

“スマートシティ会津若松”の実現へ

会津若松市消火栓マップは、スマートフォンやPCの位置情報を基にGoogle Map上に周囲の「消火栓」と「防火水槽」を表示するアプリである。

全ての消火栓を表示する・最も近い消火栓へのルートを探す・住所を指定して消火栓を探すといった、利用者を想定した多彩な検索機能を持つ。



（DATA for CITIZEN HPより）

アプリを作成したのは「行動 for 会津」というネットワーク型の集団である。地元IT企業・団体・行政や学生などそれぞれの活動が集まり、関わり合うことで地域の抱える課題の解決に向けて の持続的な活動が行われている。消火栓マップもその活動の中で生まれた。

この活動における情報基盤となっているのは、会津若松市のオープンデータ利活用基盤サイト「DATA for CITIZEN」。このサイトでは会津若松市の公共データが60も公開されている（2015年1月現在）ほか、18ものアプリを一般市民に向けて公開している。会津若松市消火栓マップはこの中の1つに過ぎないのである。

これらの政策を推進している会津若松市が掲げる目標は「スマートシティ会津若松」の実現である。情報通信技術や環境技術などを応用し、健康・福祉・教育・防災・エネルギー・交通・環境といった市民生活を取り巻く様々な分野の結びつきを深め、効率・高度化を目指している。「スマートシティ会津若松」の達成に向けて、会津若松市の勢いは留まりそうにない。

使用データ	会津若松市 消防水利位置情報
データ形式	CSV
提供形態	Webアプリ
受賞歴	ー
地域	福島県会津若松市等、合計3市

“市民のアイデア”で社会に活力を

「DATA for CITZEN」のサイトでは、市民の「こんなデータが欲しい」「こんなサービスを作って欲しい」という声を“あいべあ”という地域密着型コミュニケーションサービスを通して募集している。

地域住民が協働し活発になることによって、社会の効率性を高めることができる「ソーシャル・キャピタル」を目指している。

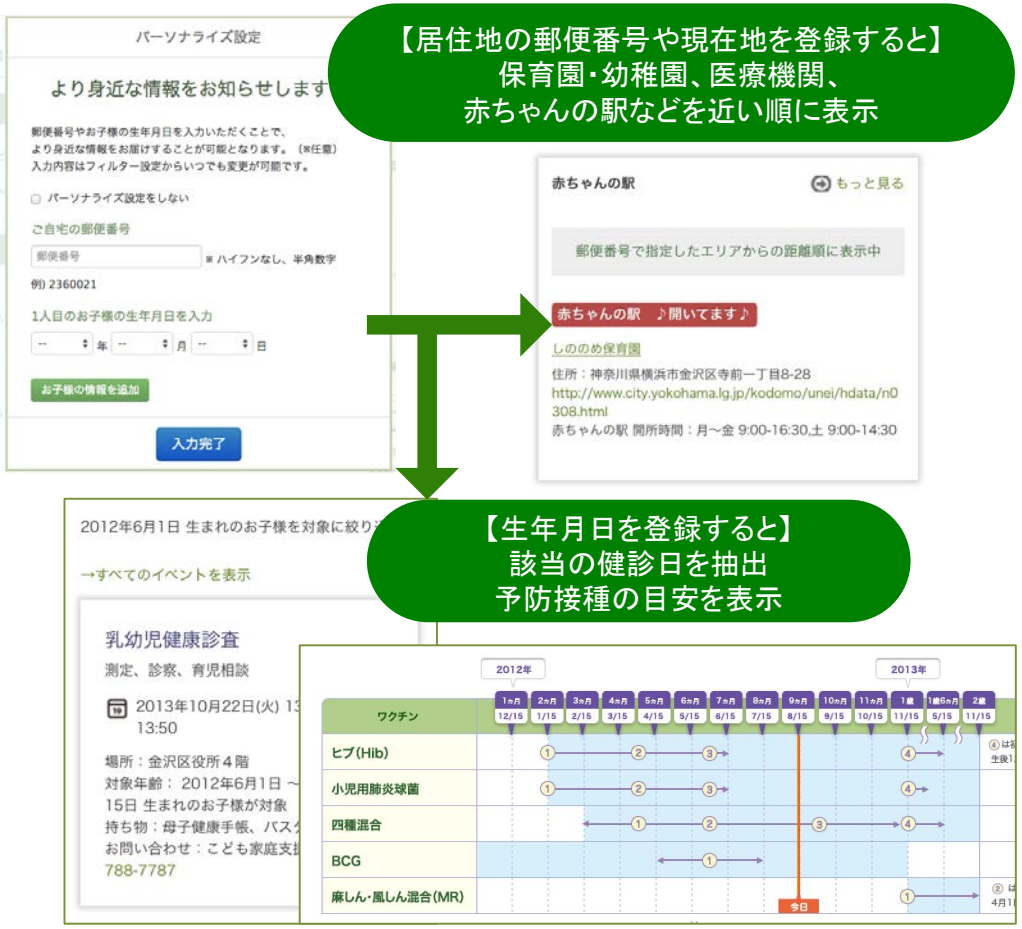
ワタシだけの、子育て支援ポータルサイト

かなざわ育なび.net

By 横浜市 金沢区

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

誰だって「お母さん」になるのは初めてだから、近くの保育園や医療機関が分からないと不安。
このサイトがあれば、子育てに忙しくてもあなただけの子育て情報を検索できます。（2013年8月 サービス開始）



かなざわ育なび.net 誕生の キッカケ

- 子育てに関する多岐に渡る情報が行政のWebサイト内に分散し、検索性が悪くなっていた
- 少子高齢化が進み、子育てする母親が減っていた
- 核家族化の進行や地域づきあいの減少により、母親が子育てに関して孤立感を感じるようになった



かなざわ育なび.net でこう 変わった！

- 子どもの生年月日や居住地の郵便番号を入力することで健康診断・予防接種の時期、保育園の空き状況など利用者に特化した情報を簡単に探せるようになった
- パソコンやスマートフォンで、近くの医療機関・保育園・子ども向けイベント情報などが簡単に分かるようになったことで母親の孤立感解消の一助となっている
- 3,000～4,000PV（ページビュー）／月



ワタシだけの、子育て支援ポータルサイト

かなざわ育なび.net

By 横浜市金沢区

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

行政データを集約してひとり一人に合わせてリアルタイムに反映したことがポイント



少子化が深刻な問題となっている現代で、子育てに関し孤立感を感じている養育者は22%。(0歳児から2歳児の養育者対象:平成 22年度金沢区子育て実態調査)その原因となっているのは、核家族化・少子化により身近に子育て体験者がいないこと、同世代間の情報がないことや遊び相手がいないことなどが挙げられる。孤立感に加えて不安感・負担感を感じる人もいる。

子育て中の方が必要とする情報は、市役所の様々な部署から提供されているが、初めて子育てを体験する養育者や新たに転入された養育者に多岐に渡り過ぎる情報をわかりやすく届けるために、地理的な面も含め集約された子育て情報が必要だった。

そこで横浜市金沢区が取り組んだのがこのかなざわ育なび.netである。
各局区の子育て関連情報を集約し、その人にあったデータを一元配信することにより、“必要な情報だからこそ伝わり“、”知らないという機会損失を減らし”、”新しい出会いやリフレッシュの場へ誘導する“広報を実現した。

紙媒体の編集作業と並行してデータを集めるなどの工夫により、関連各課と連携した効率的なデータ収集に成功したが、プログラム処理に必要な緯度経度を付け加えるなどデータの「かたちを揃える」作業が大きな壁となったようである。
しかしその壁を乗り越えたこれからは、各課からのデータをオープン化することにより各担当者の負担を減らし、新たな情報提供や様々な協働を行える兆しも見えている。区民の生活に寄り添うため、ITとともに行政も進化している。

使用データ	区内保育室一覧、医療機関一覧など
データ形式	CSV
提供形態	Webアプリ・スマートフォンアプリ
受賞歴	LODチャレンジ2013審査員特別賞　受賞
地域	横浜市金沢区

オープンデータとオープンソース

かなざわ育なび.netは、サービス上で提供する情報をオープンにする、「オープンデータ」化と同時進行でアプリやシステムの仕組みの部分をオープンにする「オープンソース」化にも取り組んでいる。オープンソース化することで、別の自治体の二次利用や、有志によるシステムの改変を見込むことができるようになる。全国的に注目される取り組みとなっている。
オープンデータを利用したアプリ等はほかにもオープンソース化されている例が多く存在する。複数の場所や主体に利用されることで、サービスがより洗練されることも期待できるため、公共利用目的のサービスはシステムについてもオープンにする選択肢があることを抑えておきたい。

ゴミ捨てスムーズ、いつでもどこでも！

5374(ゴミナシ).jp

By 一般財団法人コード・フォー・カナザワ（Code for Kanazawa）

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「いつどのゴミを出せばいいのかわからない」「ゴミの分別は複雑でむずかしい」
そんな時代はもう終わり。ゴミを捨てるすべての人のためのスマホアプリです。（2013年9月サービス開始）

① 一番近いゴミの日から表示し、地域を選択するだけで収集日が更新される

② 分別の種類をタップすると、その地域で捨てられるゴミ一覧を見ることができる。



アプリのトップ画面



種類別の情報を詳細に表示

5374.jp 誕生の キッカケ

- ゴミの分別が細分化され、自治体は利用者に捨てる曜日や種類の判別を覚えてもらうことに苦労していた
- 利用者にとって、引っ越しや旅先などでの慣れない地域のゴミ分別を調べることは手間だった



5374.jp でこう 変わった！

- 細分化された分別方法を覚えなくてもアプリを確認することで適切にゴミ出しが出来るようになった
- 利用者は、引っ越し先や旅先でもどのようにゴミを出せばよいか簡単に検索できるようになった



ゴミ捨てスムーズ、いつでもどこでも！

5374(ゴミナシ).jp

By 一般財団法人コード・フォー・カナザワ（Code for Kanazawa）

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

コードで地域課題を解決する

5374.jpは地域のゴミの分別と収集日を自動で表示するというシンプルなアプリである。

5374.jpを最初に開発した「Code for Kanazawa」は、石川県金沢市を活動拠点としている。彼らは地域課題をITとデザインで解決することを目的とした有志のコミュニティである。



（メンバーがハッカソンを開きアプリを作成しました ）

彼らの特筆すべき点は、市民が自らの地域に存在する課題を集めそれを整理・分析した上で実際に課題解決となるソフト・ハードウェアを開発できる点である。5374.jpは地域住民のゴミ捨てに関する不満を市民の手で解決している。

さらに、5374.jpのソースコードは公式サイトでオープンとなっており、各自治体のゴミ収集情報を利用すれば誰でも自分の街の5374.jpを作成可能である。実際に各地で開発され、その数は既に85以上にものぼる。

このように、5374.jpは金沢市にとどまらず全国で広がりを見せている。自治体が積極的にデータを公開することで、各地に存在するシビックテックの活動はより一層勢いを増すこと予想される。

使用データ	各自治体のゴミ収集情報
データ形式	csv、PDF、HTML、Excel
提供形態	Webアプリ
受賞歴	オープンデータ・ビジネス・コンペティション －最優秀賞 他多数
地域	全国85都市以上（2015年12月末時点）

シビックテックとは

ソフトウェアに関する知識や技術を持つ人たちが、自主的に集まって地域の日常生活にひそむ様々な課題を解決する、ボランティア活動やテクノロジーのこと。

その草分けとして、知られているのは「Code for America」である。彼らは積雪時に消火栓の場所がわからなくなってしまう課題を消火栓を地図上にプロットし、かつ掘り起こした人にその消火栓の命名権を付与することで解決したことで知られている。「Code for Kanazawa」はこの団体をモデルに名付けられた。

あせらず、なやまず。パパママまっぷ

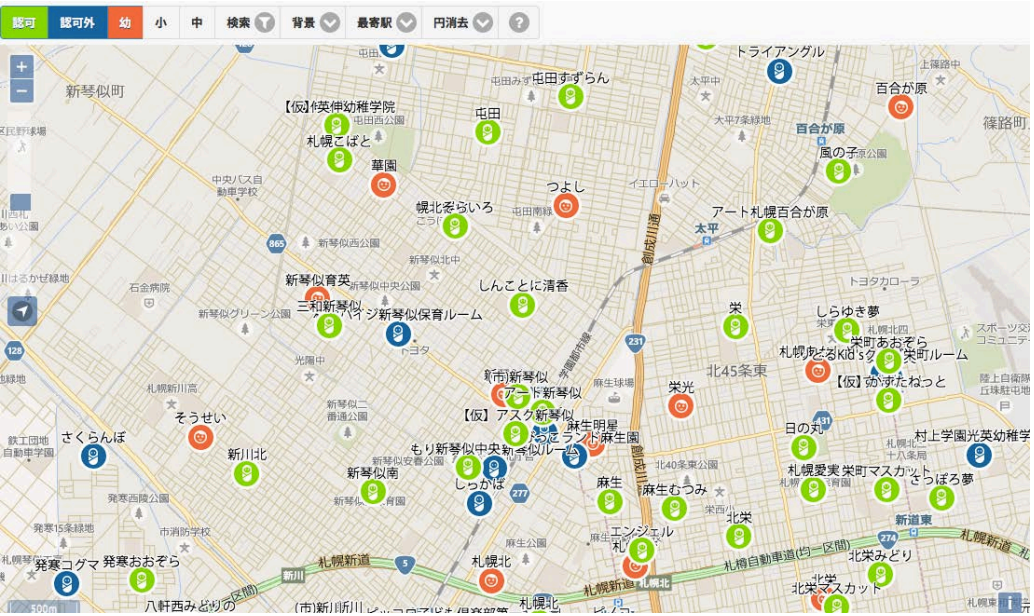
さっぽろ保育園マップ

By Code for Sapporo パパママまっぷチーム

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

それぞれの家庭の事情に合わせて、子どもの預け先を見つけるのはとっても大変。
パパママの負担を軽くする、子育てに寄り添うマップアプリ。（2014年10月サービス開始）

認可保育園、認可外保育園、幼稚園が異なる色のアイコンで
マップ上に表示される



アイコンをクリックすると
開園時間や空き情報などを確認できる

さっぽろ保育園マップ 誕生の キッカケ

- 保育園や幼稚園は管轄が厚生労働省、文部科学省、各自治体とそれぞれ異なるため、一元化された情報がなかった
- 分散した公開情報から申し込みたい預け先を探したり調べたりすることは大変だった



さっぽろ保育園マップ でこう 変わった！

- アプリ運営者が各省、各自治体の情報をまとめて公開することで、一目で必要な情報がマップ上でわかるようになった
- ユーザ数：9,000人弱（累計）
- 保育園の所在地だけでなく開園時間や空き情報もマップ上で確認できるため、親の負担軽減に繋がった
- 現在までにこの仕組を12地域に横展開



あせらず、なやまず。パパママまっぷ

さっぽろ保育園マップ

By Code for Sapporo パパママまっぷチーム

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

分散化したデータを一元的かつ容易に閲覧できるインタフェースづくりがポイント



子どもを持つ親にとって、保育園や幼稚園探しは骨の折れる作業である。県や市が公開しているリストから探そうとしても、自宅や職場、祖父母宅との距離は把握しにくいし、開園時間に延長保育の有無など、考慮しなければならない点はたくさんある。しかもじっくりパソコンと向き合おうとしても、その間に子どもが泣き始めてしまえば一時中断である。こんなパパやママの悩みを解決しようとできたのが、このさっぽろ保育園マップである。

このアプリ上では、地図上に認可・認可外保育園や幼稚園が表示されるだけでなく、円マークをクリックすればある場所から一定距離にある保育園・幼稚園を見つけることができる。さらに地図上のアイコンをクリックすれば、その保育園の詳細を確認できる。まさに子どもを持つ親の悩みにデータを駆使することによって答えている。

さらにこのアプリのソースはWeb上で公開されている。保育施設情報を用意さえすれば、どの地域でもマップを作成することが可能ということである。すでに東京や横浜市金沢区、沖縄などでもマップが作成されている。データを標準化し、それらを誰もが活用できるようになることで便利になる人が増えてゆくことを示した好例である。

使用データ	保育施設・国土数値・地図情報
データ形式	PDF、Excel、WebAPI（地図）
提供形態	Webアプリ・スマートフォンアプリ
受賞歴	アーバンデータチャレンジ2014―金賞
地域	札幌市

Code for ○○って？

さっぽろ保育園マップを作成したチーム、Code for Sapporo。オープンデータ活用事例を見ていると、この”Code for”を頭につけているチームをよく目にする。これは米国のCode for Americaという団体をモデルにしており、地域の課題をアイディアとテクノロジーで解決する市民参加型の非営利団体のことである。国内でも札幌だけでなく、金沢や鯖江などすでにいくつかの“Code for”が発足・活動している。今後の展開に注目が集まりそうだ。

乗りたいあのバスは、今どこ？

鯖江バスモニター

By 鯖江市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

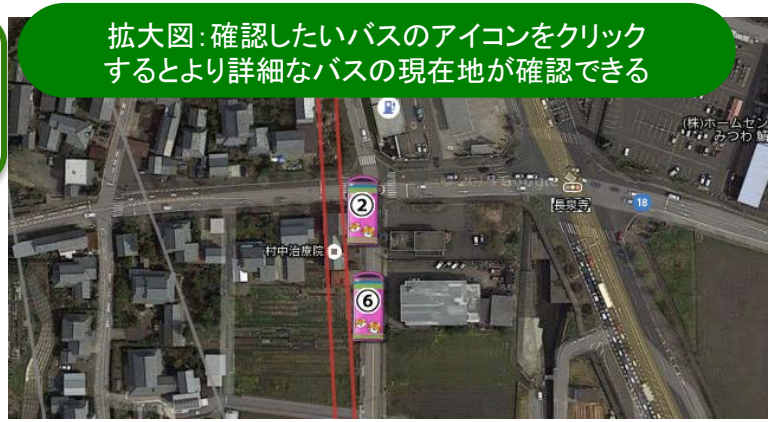
「バスがなかなか来ない…！」あきらめてタクシーに乗るべき？それともう少し待つ？
これからはそんなハラハラはありません。リアルタイムでバスの動きが確認できるブラウザアプリ。
（2012年11月サービス開始）

全体図：全ルートの経路とバスの現在地を表示する



バスのアイコンをクリックすると…

拡大図：確認したいバスのアイコンをクリックするとより詳細なバスの現在地が確認できる



鯖江バスモニター 誕生の キッカケ

- バスの遅れなどの運行状況や、現在バスがどの辺りを走っているのかという位置情報は市民から見えにくかった
- 冬季では降雪による遅れなどがあり、市民からの苦情も多かった



鯖江バスモニター でこう 変わった！

- 市民もスマートフォンやパソコンから地図上でリアルタイムのバス運行情報が確認できるようになった
- 急なバスの遅れなどにも対応しやすくなったため市民からの苦情や市の負担が軽減した



乗りたいあのバスは、今どこ？

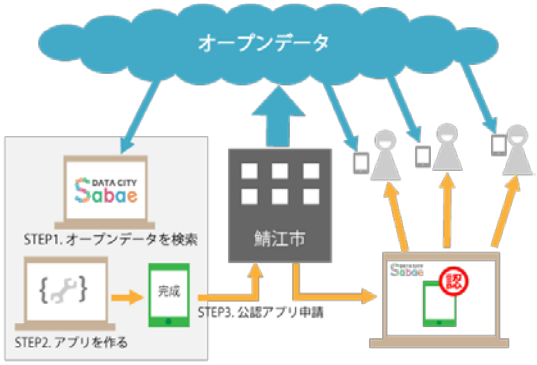
鯖江バスモニター

By 鯖江市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

“データシティ鯖江”への道

鯖江バスモニターで現在地を確認することのできるつつじバスは鯖江市を走る市営バスである。路線や時刻表、現在走っている場所のデータが市のオープンデータサイトで公開されていて、市民はそれらを自由に使用することができる。誰でもデータを利用してアプリを作成することが可能である。



さらに注目すべきは、そこにかけているコストだ。実はこのデータはバスにタブレットを載せてそのGPS機能を使用して集められており、以前のような専用システムの開発などは行われていないため低コストで情報の公開ができている。

データの公開は前述のオープンデータサイト”データシティ鯖江”で公開されている 。これは鯖江市が2014年6月から運営している五つ星オープンデータのポータルサイトで、ホームページで公開する情報を多方面で利用できるXMLやRDFという形式で積極的に公開していくための基盤となっている。行政機関がウェブを活用して積極的にデータの提供や収集を行うことを通じて、行政への国民参加や官民協働の公共サービスの提供を可能とすることが狙いとなっている。すでに作成されたアプリは100を超え、有益なオープンデータの公開も積極的に行っている。

使用データ	路線と便を指定したバスの位置データほか
データ形式	Web API
提供形態	アプリ
受賞歴	LODチャレンジ2012　人の流れ賞
地域	福井県鯖江市

オープンデータなら自力で世界を変えられる

データシティ鯖江を支える人物として挙げられるのが、このアプリの作成者である福野泰介氏である。氏は100以上のアプリを作成・提供しており、データシティ鯖江が誇るオープンデータ活用アプリの数をほとんどひとりで支えているといっても過言ではない。このように一個人が、自身の着眼点から問題を発見し、実際に解決することができる、つまり世の中を良くすることができるというのも、オープンデータが持つ魅力である。

女子高生発、図書館をもっと便利にするアプリ

Sabotaつくえなう！

By 鯖江市役所JK課

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「図書館まで来たのに席が空いていない…」「もっと図書館を便利に使いたい！」
そんな女子高生のリアルな声から生まれたスマホアプリ。若者ならではのアイディアが満載です。
（2014年7月サービス開始）

トップ画面
つくえなう！：空席情報
本さがし：蔵書情報
まっぷ：近くの図書返却場所情報





使われている席に印がつき
利用可能な席が
リアルタイムで確認できる

Sabota 誕生の キッカケ

- 鯖江市図書館の個人用学習机は、テスト期間などは満席で座れないこともあり女子高生の間で不満が募っていた
- 鯖江市は市民主役条例を掲げており、市民主体のまちづくりを提案・活動していた



Sabota でこう 変わった！

- センサーにより空席情報がリアルタイムで確認できるため図書館に向かう前に使用状況を確認できるようになった
- 女子高生達が自ら（一部大人を巻き込んで）、機能・見た目共に自分たちが気に入るスマホアプリを制作することができた



女子高生発、図書館をもっと便利にするアプリ

Sabotaつくえなう！

By 鯖江市役所JK課

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

女子高生発信の”ゆるい”まちづくり


JK課と一般財団法人による意見交換の様子

鯖江市役所JK課とは、「市民主役条例」を制定する鯖江市でつくられた、JK（女子高生）が主役となって地域活性化を模索していくプロジェクトだ。Sabotaは彼女達による鯖江市図書館をより便利に利用するためのスマホアプリである。

Sabotaで使われているオープンデータは、蔵書情報と、個人用学習机の空き情報である。特に空き机情報については新たに机にセンサーを設置し、リアルタイムの情報をオープンデータ化するところまで実現している。

女子高生を主役に、市役所をはじめ、大学やメディア、市民団体等の大人たちのサポートでSabotaは作られている。地元に本社を構えるモバイルアプリ開発企業がアプリ制作のための基礎知識講座を開き、東京の企業がセンサー設置からアプリへ情報を渡す基盤作りを手助けしている。市民によるまちづくり、事業者との連携は共にオープンデータ利活用におけるキーワードである。

彼女たちのまちづくりはどれも”ゆるく”、かわいさや楽しさを重視している。鯖江市はそのような若者や市民の声を受け入れ、反映させサービスを実現させているのである。

使用データ	空席センサーデータ
データ形式	RDF
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	ー
地域	福井県鯖江市

改革にお金はいらない

「問題を解決するために新しいものをつくる」ということに対して、お金がかかると思う人は少なくないだろう。しかしSabotaに使われている赤外線センサーは1つ400円、改良後に使われている光センサーは1つ45円、11台のセンサーの情報を集約する1番高い部品でも1つ3000円と、意外と安価なものが多い。改革に必要なのはお金ではなく、問題解決への発想力なのかもしれない。

静岡市道路通行規制情報をわかりやすく！

しずみちinfo

By 静岡市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

静岡市内の道路を対象に、災害や工事による通行止めなどの規制情報をリアルタイムに提供。Web APIによりオープンデータとして提供することで、情報を加工・活用した様々なアプリが実現。



【しずみちinfo一般公開サイト】　© Google © 2016 ZENRIN CO,LTD(Z16KC第464号)



しずみちinfoのWebAPI提供の規制情報をもとに、リアルタイムにルート探索するナビアプリの試作開発状況自治体からの規制情報を回避してルート探索することに成功。将来的にはナビや自動運転への活用の可能性を見いだせた研究。

©トヨタIT開発センター　©ゼンリンデータコム

しずみちinfo 誕生の キッカケ

- しずみちinfoは災害が発生したときに、どうしたら通行止めなどの規制情報をより多くの人に伝えられるかといった問題を解決するために開発されました。
- ただし、公開サイトでは見に来てくれた人にしか情報が伝わりません。将来的にナビなどで規制情報が表示できることも考え、WebAPIによるオープンデータ提供を開始しました。



しずみちinfo でこう 変わった！

- リアルタイムに提供される道路規制情報を地図上でビジュアル的に確認できるようになりました。災害時には、現場からの情報をもとに通行可否情報を把握できます。
- Web APIを通じて規制情報や災害情報がオープンデータとして提供され、アプリケーションなどで自由に利用できるようになりました。



静岡市道路通行規制情報をわかりやすく！

しずみちinfo

By 静岡市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

いち早く道路規制情報等をリアルタイムで提供「しずみちinfo」

静岡市道路通行規制情報『しずみちinfo』は、グーグルのクラウドサービスを活用し、道路規制情報や災害情報をリアルタイムで提供する先進的な取り組みです。

しずみちinfoの特徴は誰でもが情報を共有、活用・拡散できるようWebAPIにより、リアルタイムでオープンデータを提供できるようにしたことにあります。現在は道路規制情報や道路の災害情報を始めとした道路情報をオープンデータとして提供していますが、このシステム構築により今後はイベント情報など行政の様々な情報がアプリケーションに気軽に取り込むことが出来るようになると期待されます。



グーグルのイベントにて
基調講演された田辺信宏市長

【しずみちinfoで公開されたオープンデータを活用したアプリの例】

2016年開催ハッカソン　作成アプリ　最優秀賞　「美白NAVI」

しずみちinfoより静岡市内に植樹されている樹木情報を取得。目的地までできる限り日陰を通って到着できるルート表示を行うことで“静岡に住む女性を紫外線から守る”アプリ



提供データ	静岡市の道路通行規制情報等
データ形式	GeoJson、 Shape
提供方式	RESTful APIによるオープンデータ提供
受賞歴	VLEDの2015年度表彰にて最優秀賞
地域	静岡市

WebAPIによる道路規制情報のオープンデータ化は民間企業（㈱トヨタIT開発センター）との共同研究で開発されました。共同研究ではオープンデータ提供された通行規制情報をもとにルート探索するアプリケーションの試作開発に成功しました。

2015、2016年に静岡市主催で、静岡市のオープンデータや、しずみちinfoのAPIからの道路情報、民間企業APIを使って静岡を盛り上げるハッカソンを開催し、多くのアプリケーションが生まれました。

税金が1日あたりどこにいくら使われているかを知る市民主導のプロジェクト

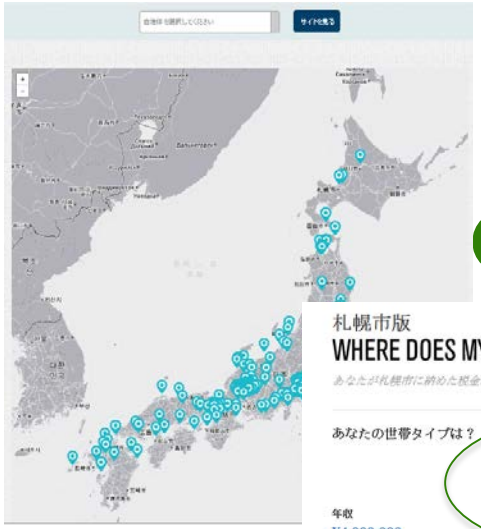
税金はどこへ行った？

By Open Knowledge Foundation Japan

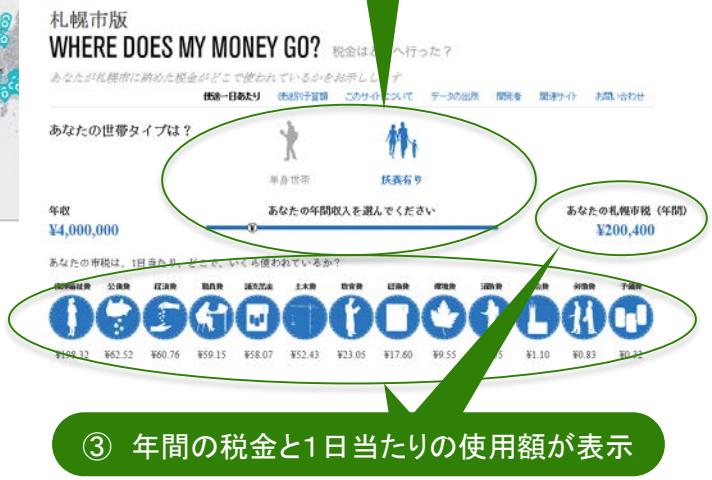
防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

税金が1日あたりどう使われているかを知ることで、公共サービスの受益と負担の関係を読み解く市民主導のプロジェクト。（2012年6月サービス開始）

① 名称又は地図から自治体を選択



② 世帯タイプと年収を選択



③ 年間の税金と1日当たりの使用額が表示

税金はどこへ行った？ 誕生の キッカケ

- 納税者は支払った税金を望む公共サービスのために使って欲しいと考えている
- 税金の使われ方を知りたいと思っても、簡単に知る術がない



税金はどこへ行った？ でこう 変わった！

- 税金が支える公共サービスの受益と負担の関係をわかりやすく理解
- 納税者である国民一人ひとりが、支払っている税金の使われ方を具体的に理解し、税金の使われ方を決める当事者として責任ある意見を述べることを手助け



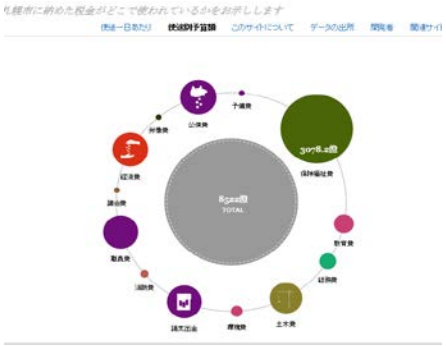
税金が1日あたりどこにいくら使われているかを知る市民主導のプロジェクト

税金はどこへ行った？

By Open Knowledge Foundation Japan

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

公共サービスの受益と負担の関係



払った税金が1日あたりどう使われているかを知ることで、公共サービスの受益と負担の関係を読み解く市民主導のプロジェクト。

支払った税金の使われ方を知りたくても簡単に知る術がない。

「税金はどこへ行った？」は、税金が支える公共サービスの受益と負担の関係をわかりやすく理解して頂く為にイギリスの Where Does My Money Go? を参考に、有志によって立ち上げられ、イギリスの Open Knowledge Foundation が開発したオープンソースプログラムをもとに、横浜市のオープンデータを活用して2012年6月に開発。現在は170以上の自治体に運用されている（2016年10月現在）。

該当自治体を選択後、自分の年間総収入をスライドで設定し、単身世帯か扶養一人世帯かを選択すると、給与所得者であるという前提で、当該自治体への納税年総額と10分野毎に一日当たり支払っている税額が、社会福祉費、教育費、生活保護費、災害復旧費等の各分野で1日あたりの使われている額が表示される。

現在は、自治体内での税金の使われ方がわかるのみだが、いずれは自治体間での税金の比較、グローバルな税金の比較を目指している。

使用データ	予算情報、決算情報
データ形式	元データは各市町村のデータ形式による。サイトリストは、CSV/Excellフォーマットで提供可
提供形態	Webアプリ
受賞歴	・GLOCOM オープンデータ活用ハッカソン-最優秀賞 ・Linked Open Data Challenged 2012 アプリ部門最優秀賞/スマーターシティ賞 ・オープンデータ流通推進コンソーシアム優秀賞 ・オープンデータ流通推進コンソーシアム優秀賞
地域	173自治体（2016年10月時点）

公共データのオープン化による社会変革

公共データのオープン化によって、地域社会を変え、日本社会を変え、世界にも影響を与え、貢献して行こうという思いを持って集まったメンバーによって構築、運営されている。

「私ならこう税金を使って欲しい」という具体的で責任のある意見を述べられるようになることが、日本の財政を健全化させ、日本を新たな成長へと導く近道に違いないと考えている。

あなたの見つけた「困った」が地域の課題を解決する！

千葉市民協働レポート(ちばレポ)

By 千葉市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

あなたが見かけた公共インフラの不具合を位置情報・写真・動画で報告！
市民協働で地域課題を共有し、効率的に解決できるスマートフォンアプリです。**（2014年　サービス開始）**

公共インフラの不具合をアプリで報告すると、
市行政が対応・報告してくれる



スマートフォン版トップ画面

タイトル

ごみ捨て防止強化区域の看板が見えません

内容

せっかくの看板がちゃんと掲示されておらず、見えません。
ご対応お願いいたします。



市役所担当課からのコメント

2015/12/28 15:26
レポートを受付けました。確認いたしますので、しばらくお待ちください。

2016/01/08 11:47
新しい看板に付け替える予定です。

2016/01/20 9:19
１月１９日に新しい看板を取り付けました。

対応完了日

2016/01/20



ちばレポ 誕生の キッカケ

- 千葉市は公共インフラの不具合対応状況を市民になかなか認識してもらえなかった
- 千葉市は緊縮財政等で土木関係職員数を削減しており、老朽化したインフラを限られた人数で維持管理・更新することが課題になっていた



ちばレポ でこう 変わった！

- 不具合対応状況が「見える化」されることで、千葉市と市民が協力して地域のインフラ管理に取り組む意識が生まれた
- 不具合をクラウド上で一元管理・共有することで、行政部門ごとの連携がスムーズになり、道路管理業務および千葉市行政の効率化に繋がった



あなたの見つけた「困った」が地域の課題を解決する！

千葉市民協働レポート(ちばレポ)

By 千葉市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

ちばレポが生んだ“行政の効率化”

ちばレポは千葉市内で起きている公共インフラの課題（例えば道路が痛んでいる、公園の遊具が壊れているなど）を、市民の投稿したレポートをオープンデータとして活用することで効率的に課題を解決している。

市民からのレポートはクラウド型CRM（顧客管理）システムによるデータベースで一元管理され、Web上のマップに表示されることで、不具合情報が可視化される。それらを見ながら担当課に振り分けている。



（公式HPより　レポートの対応状況を表示している ）

ちばレポが持つ既存の市民情報投稿サイトと異なるユニークな点は、このデータベースを行政内の業務フロー改善・効率化に活かしていることである。担当課がこれまでFAXや電話で応対し、Excelや紙で管理していた年間約13,000件にのぼる情報は、ちばレポではデータベースで一元管理される。実際に現場に向かう作業員にとってデータが写真・位置情報と紐づいていることは、作業効率の向上に繋がる。

ちばレポはサービス開始から1年半でレポーター数が約2800人、2,000件にものぼるレポートが寄せられ、既に1,600件以上が対応されている。データを集める基盤を用意することで、市民が中心となった課題解決ができるだけでなく、市政自体も効率化を実現した。

使用データ	市民の投稿したレポート
データ形式	緯度経度情報（GPS）、JPG、mpeg等
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	総務省 地方創生に資する「地域情報化大賞」奨励賞
地域	千葉市

市長が掲げる“ガバメント2.0”

ちばレポを生み出した千葉市を束ねるのは、通信業界出身で政令指定都市の首長として最年少の熊谷市長である。

彼は政策のひとつに「ガバメント2.0」(=市民による公共事業)を掲げ、様々なオープンデータ施策に取り組んでいる。自由な行政データ活用を進める上で、ちばレポの「協働」というアクションは更なるオープンデータ活用のきっかけとなりそうである。

離れていても知りたい、ふるさとのこと。

福島県 帰還支援アプリ

By 福島県

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

避難地域や自主避難者の多い市町村の方々の、
帰還を支援する情報やふるさとの情報を提供するスマホアプリです。(2015年11月サービス開始)

公営住宅情報、イベント情報、学校情報、病院情報
や放射線量などふるさとの情報が地域ごとに閲覧できる



知りたい地域とカテゴリを選択 → 地図上に一覧表示 → 施設やイベントの詳細情報を表示

帰還支援アプリ 誕生の キッカケ

- 地元の生の情報を横断的かつ手軽に取得できる基盤が整備されていなかった
- 避難地域の解除が順次行われているが、帰還すべきか迷っている人も多く、若者が戻るかは地域のカギとなる



帰還支援アプリ でこう 変わった！

- 避難中の住民が帰還の判断材料となる情報を手元のスマートフォンで手軽に探せるようになった
- ふるさとのイベント情報を掲載することで、帰還を迷っている人のきっかけづくりができる



離れていても知りたい、ふるさとのこと。

福島県 帰還支援アプリ

By 福島県

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

被災地の最新情報を届ける

平成28年３月現在、福島県から県内への避難者数は約5万4千人、県外への避難者数は約4万3千人とされている。
避難解除された地域においても帰還を迷っている人々は多く、情報の必要な人たちに地元の鮮度が高い情報を届けるツールとして帰還支援アプリは開発された。



情報はiOS、Android、ポータルサイトにて提供

提供される情報は施設名称・住所・電話番号のほかに、学校の放射線量・医療機関の診察時間・福祉施設の入居可能人数・公営住宅の整備情報・商店街の販売品目など多岐にわたる。

さらに特定の地域を設定すると、選択した地域がトップ画面で表示されるようになり、情報が更新された際にはスマートフォンに通知が行われる仕様になっている。

アプリを通して提供されるデータは県が公開している情報だけではなく、避難地域と避難者の受入や自主避難者の多い30市町村が独自に情報提供できるようになっている。オープンデータをアプリに流し込むのではなく、アプリのために蓄積された情報をオープンデータとして公開する仕組みは、この事業の一つの特徴である。

使用データ	福島県・各自治体が入力した情報
データ形式	CSV （オープンデータとして公開する際の形式）
提供形態	スマートフォンアプリ、ホームページ
受賞歴	―
地域	福島県（避難地域と避難者の受入や自主避難者の多い30市町村）

“いま”使われるデータをオープンデータに

帰還支援アプリはそれぞれの市町村がデータを更新するほかに、市町村が推薦する住民や団体が「地域情報サポーター」として、イベント情報等の更新を担当している。
このように、自治体だけではなく地域住民の方々が一丸になり支えることで、迅速なデータの更新が可能となっている。
ダウンロード数は約2,600件(2016年5月現在)

明るい夜道を案内する歩行者ナビゲーションシステム

Night Street Advisor

By 明石工業高等専門学校 知的情報環境研究室

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

街灯の明るさや間隔のデータから夜道の「明るさ」を算出し、通常の道案内アプリの情報に「明るさ」重ね合わせて表示することで、より明るい道を選択できるようにしたアプリ。（2014年2月頃　サービス開始）

名古屋市の例。アプリを起動すると、出発地と目的地の入力画面が表示される。



通常の道案内アプリによるルート（青線）とナイトストリートアドバイザーによる域内の明るさ表示が重なって表示される。



Night Street Advisor 誕生の キッカケ

- 街灯の間隔が広く暗い夜道では、ひったくりや強制わいせつの被害件数が増加する傾向があることがわかっていた。
- 自治体は個人のスマートデバイスを利用した生活安全策（明石高専の提案）にニーズがあると判断した。



Night Street Advisor でこう 変わった！

- どの道が明るいか一目瞭然となり、表示された地図からより明るくて安心な帰宅ルートを選べるようになった。
- 時間やお金のかかる、街灯の新設や、地域の見守りに加えて、すぐできる・わかる自衛の策が生まれた。



安全な帰宅をサポートする！

Night Street Advisor

By 明石工業高等専門学校 知的情報環境研究室

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

高専発：夜道の明るさを可視化するアプリ

明石高専が生み出した「Night Street Advisor」は、地図上に表示された経路情報の上に夜道の明るさを重ねて表示するアプリである。

夜道の明るさは、街路灯情報を元に計算がされて誰もにわかりやすい“ヒートマップ”となり表示されている。

目的地まで「どれくらい時間がかかるか」ではなく、「いかに安心な経路」かということを瞬時に理解できるこのアプリは、町の防犯や住民の安心感醸成に大きく貢献する可能性がある。



松田裕貴氏
専攻科　2年
（当時）



新井イスマイル氏
電気情報工学科　講師

また明石工業高等専門学校は、全国の高専が組織する「Code for KOSEN」の一員である。全国の高専に所属する教員・学生の有志が中心となり様々な課題を解決するためのデータやコードを作成・開発・提供している。

このように、学生がオープンデータを用いて身の回りの課題を解決しようという動きは加速化している。また、共通する課題を持った学生がオープンデータを介して繋がってゆくことで新たな課題解決の糸口が見つかることもある。教育機関との連携はオープンデータ推進に重要な「仲間作り」にも重要といえる。

使用データ　街路灯データ

データ形式　CSV（緯度経度情報を含む）

提供形態　スマートフォンアプリ

受賞歴　内閣府オープンデータユースケースコンテスト
アプリケーション作成部門　最優秀賞ほか

地域　名古屋市（街路灯データは非公開）、静岡県（静岡市・浜松市を除く）

最大の魅力は“交渉力”

このアプリは、行政が保有する公共データを活用した既存サービスの高度化と新たなユースケースの創出を目的とした「オープンデータユースケースコンテスト」で最優秀賞を受賞している。

このアプリが評価された理由は、前提である課題が明確で、アイデア・開発力もさることながら、名古屋市から本来は開示されていない10万灯にも及ぶ街灯データを提供されていることにある。

情熱を伝え、行政の協力を仰ぐ交渉力が彼らの最大の魅力だ。

共有しよう、「私の富士山」

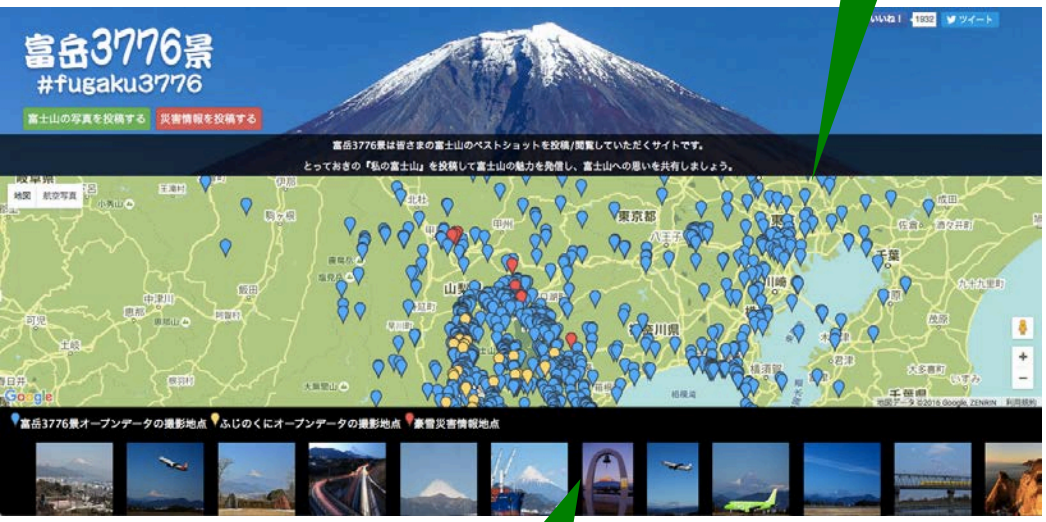
富岳3776景

By 静岡県・山梨県

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「わたしが撮った富士山のベストショット、みんなに共有したい！」
そんなときにはこれ。“みんなの富士山”を投稿・閲覧できるサイトです。

地図上でそれぞれの写真の撮影地や
富士山近辺の災害情報を確認できる



投稿された富士山のベストショットを
一覧で見ることができる

富岳3776景 誕生の キッカケ



- 世界文化遺産登録で注目を集める富士山だが、
  世界に対してその魅力を発信する方法を模索していた

富岳3776景 でこう 変わった！



- 位置情報と連動することで隠れスポット・人気スポットが
  地図上でわかるようになり、盛り上がりを狙っている
- たくさんの富士山の画像データを、誰もが使用できる
  オープンデータとして発信することに成功した

共有しよう、「私の富士山」

富岳3776景

By 静岡県・山梨県

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

富士山でふたつの県がひとつに



富岳3776景は、インターネット上で富士山の写真を収集し紹介するサイトである。撮影者はスマートフォンやデジタルカメラで撮影した写真にコメントや位置情報をつけてTwitterやサイト内の投稿フォームから投稿することができる。位置情報は自動でサイト内の地図上に表示されるため、隠れた名所や人気の撮影スポットを見つけることもができる。

このサイトは両県が富士山観光の協賛事業として、世界文化遺産に登録され注目を集める富士山の魅力を日本中、さらには世界に向けて発信する目的でIT系のベンチャー企業等に設置・運営委託をしているものである。

投稿された画像の著作権は投稿者に留保されるが、画像自体は商用利用を含め誰でも使用できるオープンデータとして扱われる。オープンデータの生成だけでなく、利活用も同時に促進しているサービスである。

2014年2月からは、豪雪災害情報も写真や位置情報を含めて投稿できるようになった。災害情報は富士山の写真撮影位置情報とは異なる色のアイコンで地図上に表示され、一目で災害が起こった場所を確認できる。写真や位置情報を誰でも投稿でき、まとめて確認できるプラットフォームの第一例として今後様々な場で発展することが期待されている。

使用データ	富士山の写真、撮影位置情報
データ形式	JPEG、PNG、GIF（画像）、TXT（コメント・位置情報）
提供形態	ブラウザアプリ
受賞歴	Linked Open Data チャレンジ Japan 2013 NTTコミュニケーションズ賞ほか
地域	関東・中部地方付近

どこまでがオープンデータ？

富岳3776景では、Twitter上でつぶやきを識別するためのハッシュタグ「#fugaku3776」をつけて投稿された画像をオープンデータとして扱っている。普段のSNSへの投稿はすべてオープンデータとなっているのだろうか？

答えはNOである。総務省はオープンデータを、”機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ”でありと定義している。つまり本人が許可しない限り、データはオープン化されないのだ。

市区町村の広報紙をネットやスマホで

マイ広報紙

By 一般社団法人オープン・コーポレイツ・ジャパン

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

気になる市区町村の広報紙をパソコンやスマートフォンでまとめてチェックできます。
記事検索やマイページの登録で、地域の情報をもっと身近にもっと便利に活用することができます。

マイ広報紙の画面
子育て、健康、くらしなど、分かり易いアイコンで
記事ごとに表示されます



マイ広報紙 誕生の キッカケ

- 新聞と一緒に配布されていた広報紙は、新聞の購読率が下がることで、結果として、住民へ大切な情報が届かなくなってきた。また、どの記事がどれくらい読まれているか把握できていなかった。
- 広報紙に掲載されている情報は幅広く、その人にとって大切な情報がどこにあるのかすべて読まないとわからず、見逃してしまうことが多かった。



マイ広報紙 でこう 変わった！

- パソコンやスマホで、全国の広報紙をいつでも見ることができ、地域情報や行政サービスの情報を得やすくなった。
  月間のアクセス数25万ページビュー、ユーザ数11万ユーザ（2016年10月現在、GoogleAnalyticsによる）
- 広報紙のデータを集約し、子育て、暮らし、健康などカテゴリー分けされており、かつ、キーワードで検索することができるので、欲しい情報を直ぐに確認できる。
- 自治体は、ユーザー登録やアクセス分析、アンケート機能により、住民の関心とニーズを把握できるようになった。



市区町村の広報紙をネットやスマホで

マイ広報紙

By 一般社団法人オープン・コーポレイツ・ジャパン

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

ひとりひとりに届く広報紙へ





広報紙の制作と配布には年間数千万以上の予算が投じられているが、住民への到達率は年々低下している。また、インターネットによる配信方法も、パソコンからスマートフォン、ホームページからブログやSNSなどへ移行しつつある。一方、自治体においては、広報紙のスマホ対応や様々なチャネルへの配信は、コストや作業負担が大きく、なかなか進んでいません。

広報紙をオープンデータにすることで、様々なチャネルへの配信が容易になるだけでなく、広報紙データを必要とする他のWEBサービスでの利用が可能となり、結果として、住民への広報紙情報の到達率が上がっていく。マイ広報紙は自治体と住民をつなぎ、ひとりひとりに情報を届けるサービスを目指している。2016年10月現在、281自治体の広報紙を掲載し、月間のユニークユーザは11万ユーザ。

使用データ	広報紙の記事情報
データ形式	PDF、テキスト等
提供形態	パソコン、スマートフォン、twitter、FB
受賞歴	—
地域	全国の自治体

マイ広報紙に掲載しませんか

マイ広報紙は、自治体広報紙のオープンデータの利活用実証研究として、各自治体（広報課）の協力を得て開発されたインターネット広報紙サービスです。オープンデータ化された広報紙データ、或いは公開されている広報紙データ（PDF等）をお預かりし、記事ごとにデータベース化して、マイ広報紙へ掲載しています。自治体では、掲載にかかる費用負担や作業はありません。

みんなでつくる、街の地図サービス

室蘭市GIS情報の(一部)オープンデータ化事業

By 室蘭市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

日本の地方自治体で初めて地理空間(GIS)情報をオープンデータとして公開した室蘭市では、
防災教育教材や民間の測量事業など様々な利活用例が生まれています。(2013年8月サービス開始)

青木和人 氏
「室蘭市オープンデータによる
防災教育地図教材」



株式会社ネオジーアイエス
「みんなのマップ for 室蘭市」



北海道地図株式会社
「HCCラボ Sparkling Night View
“Muroran”」



GIS情報の(一部)オープンデータ化 の キッカケ

- 室蘭市は平成24年度に全庁型統合GISの導入に伴い、市民向けGISの導入についても検討したが、市民向けGISを導入すると新たな費用や、データ整備が別途必要なことなど課題が多い。
- データに住所や座標などがあれば、無料で使える民間の地図サービスに簡単にデータを重ねることができるので、GISで構築したデータの一部を公開したらどうか。



GIS情報の(一部)オープンデータ化 でこう 変わった！

- 民間企業や個人が情報を付加することで、市の負担なく新たなツールが生み出された
- 上記のツールは誰でも自由に利用できるため、市民がデータを気軽に活用できるようになった



みんなでつくる、街の地図サービス

室蘭市GIS情報の(一部)オープンデータ化事業

By 室蘭市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

オープンデータで“縦割り”をなくす

室蘭市は、地方自治体で初めて地理空間情報（GIS）をオープンデータとして公開した。利活用例のひとつである「室蘭市オープンデータによる防災教育地図教材」を作成した青木和人氏によると、これに取り組む室蘭市のメリットは2つある。



（制作者：青木和人氏
あおきオープンデータ研究所HPより）

1つは、GIS情報を公開することにより、市の負担なく新たなツールが生まれた点である。地元の測定業者などが利用するGISで利活用され、工事情報を付加して再利用・再配布されることで、市は多くの情報を基に効率的な業務を行うことができる。

もう1つは、この再配布された付加価値の高いデータは市行政内部の部門を超えて利用できるという点である。今まで部門ごとに持っていた専門的な情報を、ツールを用いることで全ての部署が感覚的に共有できる。これにより、スムーズかつ正確な情報共有が可能となった。

前述した「防災教育地図教材」は、Google Earth 上で津波・洪水浸水範囲などの災害危険地域と人口・高齢者の多い地域を重ね合わせて確認することができる。室蘭市がGIS情報を公開することにより、分かりやすい防災教育教材を民間人が加工・流通させることが可能であるということを明確に提示したといえる。オープンデータは民間企業の新たな糸口になるだけでなく、自治体自身の行政内に抱える縦割り構造といった諸問題を解決する力も持っている。

使用データ	室蘭市オープンデータ　地理空間情報 総務省統計局 平成22年国勢調査小地域統計データ
データ形式	CSV(統計情報) Shape(空間情報) ほか
提供形態	データカタログサイト
受賞歴	―
地域	北海道室蘭市

“自由な”地図をみんなの手で

現在、多くの自治体では商業用GISであるGoogle Mapにオープンデータをマッシュアップしているが、Google Mapはオープンデータとして利用できない。

そこで、道路地図などの地理情報データを誰でも自由に参加・編集・利用できる無料のオープンデータマップとして「Open Street Map（OSM）」が有志によって運営されている。このデータはこれからのオープンデータ事業に欠かせないものとなるだろう。

災害時道路通行状況を可視化！

道路通行実績マップ

By 特定非営利活動法人ITSJapan 他、複数の民間事業者

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

トヨタ、ホンダ、特定非営利活動法人ITSJapanなどが、車のプローブ情報（GPSを元にした走行位置情報）をWEBの地図上に“通れた道路”として表示公開する仕組みを構築。災害時に被災地への支援活動や復旧活動を検討する際に活用。

自動車に搭載されたGPSから通行情報を収集し、通行止め情報と統合、あるいは複数の事業者の情報を統合して表示



©1995-2017 Toyota Motor Corporation – 地図データ© 2017 ZENRIN
© 2017 Microsoft Corporation



©2011 Honda Motor Col,Ltd. – 地図データ © 2011 Google



©2009 Google – 地図データ © 2011 ZENRIN

「どの道が通れて、どの道路が通れないか」の把握が可能に

道路通行実績マップ 誕生の キッカケ

- 大規模災害時に交通網が受ける打撃は、車での避難に影響し、物資の配給支援や、ボランティア活動に支障をきたす



道路通行実績マップでこう 変わった！

- 多数の車両から収集された通行実績情報や、通行止め情報を把握し物資の配給やボランティア活動の計画が立てやすくなった
- 東日本大震災、広島市の土砂災害、長野県北部地震、熊本地震においても通行実績情報をマップとして公開



災害時道路通行状況を可視化！

道路通行実績マップ

By 特定非営利活動法人ITSJapan 他、複数の民間事業者

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

災害時にデータ統合による情報提供

東日本大震災時において、特定非営利活動法人ITS Japanが中心となり、民間企業4社[*1]が収集するプローブによる通行実績情報と、国土地理院に集められた通行止め情報を統合し、通行実績マップとして表示した。

●東日本大震災における取組みとして、以下実績

3/11(金)東北地方太平洋沖地震発生
3/12(土)ホンダがパイオニアのプローブ情報を含め一般提供
3/16(水)トヨタがプローブ情報を一般提供
3/19(土)ITSJapanがホンダ・パイオニア・トヨタ・日産の4社統合のプローブ情報を一般提供
3/23(水)国土地理院が東北地方整備局・岩手県・宮城県・福島県NEXCO東日本からの通行止め情報を集約し、一般提供
4/6(水)ITSJapanが国土地理院からの通行止め情報を活用し、プローブ情報と重ね合わせ自動車通行実績・通行止情報として提供
4/28(木)ITS Japan からの情報提供を終了

●現在、ITS Japanでは民間企業7社[*2]のプローブ情報より、以下の条件で情報提供を行っている。

✓ 地震発生時は、気象庁が発表する防災情報に連動し、震度6以上（東京23区は5強以上）で、プローブ情報保有各社へ情報提供の開始依頼を通知し、通行実績情報の集約・配信を開始する。
✓ 風水害、土砂崩れなどの広域災害時は、非常災害対策本部設置時に通行実績情報の集約・配信を開始する。

● トヨタ自動車(株)、本田技研工業（株）では、JARTIC(公益財団法人日本道路交通情報センター)などが提供する交通規制情報を自社のプローブ情報と統合し情報提供を行っている。

*1:本田技研工業㈱、パイオニア㈱、トヨタ自動車㈱、日産自動車㈱
*2:本田技研工業㈱、パイオニア㈱、トヨタ自動車㈱、日産自動車㈱、富士通㈱、いすゞ自動車㈱、ＵＤトラックス㈱

使用データ
・車のプローブ情報 （GPSを元にした走行位置報）
・交通規制情報

データ形式

提供形態
WEBやスマホ等アプリ

受賞歴
・本田技研工業（株）の通行実績マップが2011年度グッドデザイン大賞受賞
・平成23年　ITS Japanが国土交通大臣表彰「情報化促進部門」を受賞
・平成24年　ITS Japanが国土交通大臣より感謝状を授受

地域
ー

道路状況等の最新情報の収集・提供を

大規模災害によって、被害が広範囲に及び場合は、各地の被災状況を把握するのに多大な労力がかかる

道路通行実績や通行止め状況を可視化することによって、救援・支援の輸送・進出ルートの確認の手段を提供し、災害時の減災や復旧に貢献

災害の状況をリアルタイムに！

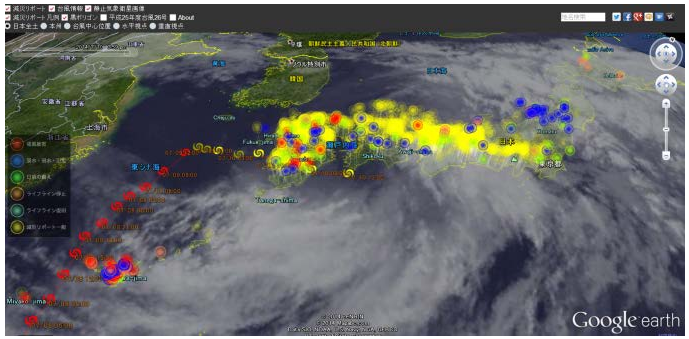
台風リアルタイム・ウォッチャー

By 首都大学東京大学院渡邉英徳准教授

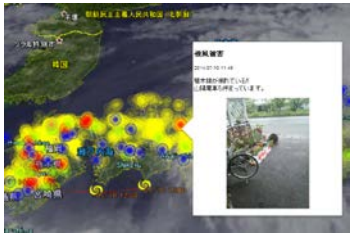
防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

気象庁が提供するトップダウンの気象情報と、多数の人々がボトムアップで発信する災害発生報告を地図リソースにマッシュアップし、災害の状況をリアルタイムに伝えるウェブサービスです。（2014年7月サービス開始）

マップ上の災害種別に応じて色分けされたアイコンが表示



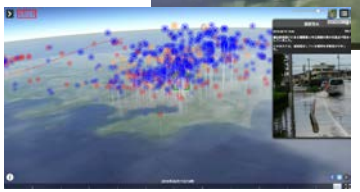
台風の例



平成28年度熊本地震の例



豪雨の例



丸印をクリックすると選択した地域の被害状況や減災レポートが閲覧できる

台風リアルタイム・ウォッチャー誕生の キッカケ

- 人間センサーが捉えたデータを、適切なシステムにデザインすることで、減災に結び付ける
- 周辺で起こったことをすぐ発信するリテラシーを育てていきたい



台風リアルタイム・ウォッチャーでこう 変わった！

- 台風や豪雨、噴火、地震などの災害の現況を把握するとともに、現場のつぶやきから被害を即自的にキャッチし確認できるようになり、被害等のビジュアルをマッピング化することで、災害情報の新しい伝え方を提案



災害の状況をリアルタイムに！

台風リアルタイム・ウォッチャー

By 首都大学東京大学院渡邉英徳准教授

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

可視化によって社会全体の「減災」に

ソーシャルメディアの災害情報と、気象庁の台風情報をバーチャル地球儀「Google Earth」にマッシュアップしたものとして作成し、2015年よりオープンソース・ソフトウェアの「Cesium」、地理院タイルやOpen Street Mapなど、オープンな地図リソースの活用に移行。

5分毎の更新によって台風・災害の現況を把握するとともに、被害を現場からのつぶやきを即時的にキャッチ。

ウェザーニュース「減災リポート」のデータを、災害種別に応じて色分けされたアイコンで示し、風台風・雨台風など災害の全体像・傾向を可視化。



（制作者：渡邉英徳氏
首都大学東京システムデザイン研究科
インダストリアルアートHPより）

また、データの時間情報を高さ方向に展開することによって、過去3日間の状況の推移を表現。

平成26年の台風第8号が接近中であった7月8日に公開したのち大きな反響があり、7月11日までに約30万件のアクセスがあったほか、さまざまなメディアで報道された。その後、台風や豪雨、噴火、地震などにおいても、災害の実態をつかむためのサービスとして、広く利用されている。

このプロジェクトは、これまでオープン化されていなかった「減災リポート」のデータを公開し、他のオープンデータとマッシュアップする初の試みでもある。今後もさまざまなデータを追加予定。

この可視化によって、災害の全体像と身に迫る危険を実感をともなって伝え、社会全体の「減災」につなぐことができる。

使用データ	気象庁「気象情報」、国立情報学研究所「デジタル台風」 ウェザーニューズ「減災リポート」 GDACS（Global Disaster Alert and Coordination System）災害予報
データ形式	JPRG（画像）、TXT（コメント）等
提供形態	Webアプリ、スマートフォンアプリ
受賞歴	Mashup Awards 10 Civic Tech部門賞 ジャーナリズム・イノベーション・アワード　最優秀賞
地域	全国

「人間センサー」で速やかな災害状況を！

人間は、とてもすぐれた“センサー”でもある。 周囲の状況をすみやかに捕捉し、発信する能力を持っている。

台風リアルタイム・ウォッチャーは、こうしたボトムアップの、いわば「人間センサー」で、トップダウンの観測情報を補完しようとするものである。

佐賀のWi-Fiと観光・地域情報を発信

佐賀わいわいWi-Fiマップ

By佐賀県

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

佐賀県内のフリーWi-Fiスポット、スマートフォンなどの充電ができる充電スポットの各種施設情報を、誰でも簡単に調べることができるウェブサイトサービス。（2015年5月サービス開始）

例：スマートフォンの場合
① 検索内容を選択









② 地図から施設を選択すると詳細情報が表示

佐賀わいわいWi-Fiマップ 誕生の キッカケ

- 平成26年度から、新たにフリーWi-Fi環境や充電環境の整備を促進する「佐賀県公衆無線LAN等環境整備事業」に取り組んできたところ。
- 上記によりフリーWi-Fi環境等が整備された施設のいろんな情報を、外国人観光客を含めた来県者や県民の皆様が、簡単かつ便利に入手できるよう、検索サービスを開始。



佐賀わいわいWi-Fiマップ でこう 変わった！

- 佐賀県を訪れる国内外からの観光客やビジネスマンの利便性向上に資するツールの提供。
- フリーWi-Fi環境等の整備を行った店舗等施設のPR機会の提供。



佐賀のWi-Fiと観光・地域情報を発信

佐賀わいわいWi-Fiマップ

By佐賀県

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

佐賀を訪れた際には、ぜひご利用を



佐賀県では、誰もが無料で利用できるフリーWi-Fiスポットやスマートフォンなどの充電ができる充電スポットの設置が広がっている。

こうした県内のフリーWi-Fiスポットや充電スポットを整備した観光、宿泊施設、飲食店や買い物ができる施設の各種情報を誰でも簡単に調べることができるよう、佐賀県ではウェブサイト「佐賀わいわいWi-Fiマップ」サービスを行っている。

このサービスでは、フリーWi-Fiスポット等を「グルメ」や「観光」といった種別ごとに検索し、地図上で表示できる。

また、スマートフォンのGPS機能を使って、最寄りのスポットを調べたりすることもできる。

掲載されている情報は、5か国語（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語）で表示されるので、外国人の方々でも利用可能。

さらに、このサイトで提供しているフリーWi-Fiスポット等の情報は、様々な用途で自由に二次利用ができるように、オープンデータとして公開。

使用データ	フリーWi-Fi、無料充電スポット施設等の各種情報
データ形式	緯度経度情報（GPS）、xml、csv形式
提供形態	Webアプリ
受賞歴	―
地域	佐賀県

佐賀県におけるフリーWi-Fi設置の推進や観光振興

佐賀県では「佐賀わいわいWi-Fiプロジェクト」の一環として、平成26年度・27年度に、店舗や商業施設、ホテル、宿泊施設等がフリーWi-Fi及びフリー充電スポットを新たに整備する際に、初期費用の半額補助を実施。

また、フリーWi-Fi整備に加えて、佐賀県観光連盟では、佐賀県の観光、イベント情報の提供や14言語に対応したコールセンターと連動したスマートフォン用の観光アプリケーション「DOGANSHI★TA★TO？」（どがんしたと？）を提供。

防災情報可視化ARアプリ

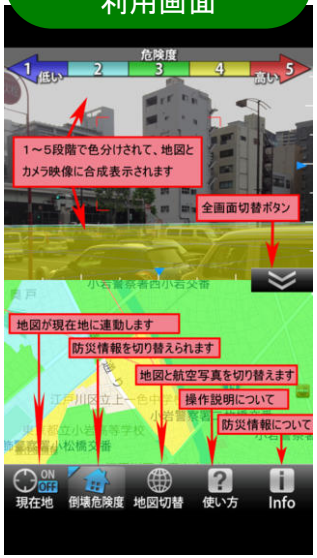
天サイ！まなぶくん（葛飾区版）

By 葛飾区・株式会社キャドセンター

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

GPS情報と連動して、カメラで撮影された実写の映像に、現在地の防災情報が合成されます。
（2013年1月サービス開始）

天サイ！まなぶくん
利用画面





天サイ！まなぶくん

最寄りの避難所
最短方向と距離



ARにて津波・浸水
想定の高さ表示



天サイ！まなぶくん　誕生の キッカケ

- 東京都葛飾区新小岩北地区は、昭和22年カスリーン台風襲来時に、利根川決壊による広域大規模水害を経験。
- 水害のシンポジウムを開催するなど、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的に、防災アプリ「天サイ！まなぶくん」を開発（東京大学等に依頼）。



天サイ！まなぶくん　でこう 変わった！

- 地元の小学校などで、「天サイまなぶくん」をインストールしたi-Padで学校周辺の浸水状況や水害時の疑似体験をすることで防災意識が高まった。
- アプリのプレスリリース後、複数のメディアにて報道され、葛飾区が取り組んでいる防災活動の注目度が向上した。



防災情報可視化ARアプリ

天サイ！まなぶくん（葛飾区版）

By 葛飾区・株式会社キャドセンター

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

アプリで水害対策

「天サイ！まなぶくん」は、新小岩北地区連合町会やNPO、区で構成される「葛飾区新小岩北地区ゼロメートル市街地協議会」が、東京大学等に開発を依頼したアプリであり、これまで洪水ハザードマップなどの平面情報（二次元）でしか表現できなかった洪水時における区内各所の浸水状況を、立体的な情報（三次元）で表現することで浸水状況を疑似体験できる。

また、スマートフォンやタブレット端末のカメラから取り込んだ映像に、各洪水ハザードマップの浸水深のイメージ映像を重ね合わせて表示することができるため、小学生でも水害時の浸水イメージが理解できるように工夫されている。

アプリ開発後、スマートフォンやi-Padを持って、住民や小・中学生が街を歩き回って、避難場所や避難経路を学ぶ町会や学校等による活動に繋がっている。



（浸水状況の疑似体験）



（アプリを使ってる様子）

使用データ　建物倒壊危険度情報、避難所位置情報、荒川・江戸川・中川・綾瀬川浸水情報　等

データ形式　緯度経度情報（GPS）等

提供形態　スマートフォンアプリ

受賞歴
- 平成26年2月総務大臣賞（葛飾区新小岩北地区ゼロメートル市街地協議会の取組について受賞）
- 平成27年10月　国土地理院　防災アプリ賞（「ARハザードスコープ」アプリについて受賞）

地域　葛飾区

住民の声

- 地震災害と水害災害では、避難所が異なることが理解できた。
- 子どもにも分かり易く、地域の防災訓練で活用できた。
- いつも何気なく歩いているところも危険を感じることができた。
- 4m、5mの浸水を実感することで、3階建や塀より上でないと助からないことが分かった。
- 視覚効果の高い防災訓練を地域で実施できることで、コミュニケーション（共助）の意識が生まれた。

個々の利用者のニーズにフィットした京都の観光・防災情報を多言語で提供

平成29年8月4日版

KYOTO Trip+

By 京都府・京都市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

個々の利用者のニーズにフィットした京都の観光、防災情報をトータルに多言語で提供！
旅行者が安心・快適に京都旅行を楽しんでもらうためのスマートフォンアプリです。
（2014年　サービス開始）

京都の観光・防災等に係る情報を、個々の利用者のニーズに応じて多言語で提供。観光では地域や関心事項の設定が行え、防災では種類や地域を選択し、PUSH情報の受信のON/OFFなどの設定が行える。



観光情報（日本語）　観光情報（英語）　防災情報　気象情報

住民・旅行者自身が身の回りの気象状況や減災に役立つ情報などを投稿して共有できる機能も提供。

KYOTO Trip+ 誕生の キッカケ

- 旅行者の現地での情報収集手段としてスマートフォンの利用が急増し、行政機関や観光振興団体においてもスマートフォン利用者に向けた情報提供チャネルが必要となっていた。
- 京都への訪日旅行者は年間138万人（日平均では約4千人・平成22年）に達し、観光情報と合わせて防災情報を訪日旅行者に対してスムーズに提供することが防災上益々重要となっていた。

KYOTO Trip+ でこう 変わった！

- 旅行者が気になる情報である観光情報、防災情報、気象情報等をトータルで提供することで旅行者の情報収集を容易にし、安心・快適な旅行を支援。

個々の利用者のニーズにフィットした京都の観光・防災情報を多言語で提供

平成29年8月4日版

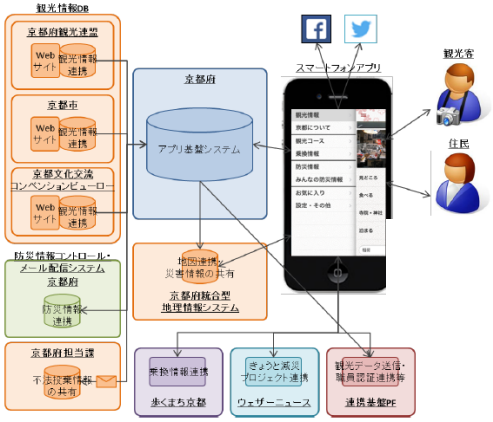
KYOTO Trip+

By 京都府・京都市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

旅行者への情報提供と合わせて、市民と行政機関の情報共有ツールとしても活用

KYOTO Trip+は、国際観光都市京都を訪れる多数の国外の観光客へ観光情報と合わせて防災情報、気象情報といった旅行者の関心が高い情報を多言語で合わせて提供している点が特徴のひとつである。



KYOTO Trip+のイメージ

また、情報の投稿連携機能により、旅行者間で口コミなどが共有できるだけでなく、住民、旅行者自身が身の回りの気象状況や減災に役立つ情報を投稿して共有できるようにしている点も特徴のひとつとして挙げられる。

こういった複数の異なる情報をトータルで提供するためには、行政機関が保有する観光情報DB、防災情報コントロールシステム、GISといったシステムを相互に連携するためのプラットフォームの整備が重要となる。

KYOTO Trip+では、複数のシステムから自動的にデータを収集して標準フォーマットに変換するプラットフォームを構築することで、既存システムへの影響や担当者への負担を一切必要としないかたちでサービスを実現させている。

使用データ	観光スポット、避難所、救急医療機関、AED設置場所の情報
データ形式	CSV
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	―
地域	京都全域

利用者の声

KYOTO Trip+の利用者に対して任意のアンケート調査（N=50）を実施したところ、「コンセプトについて」という質問に対して約80%の利用者が「良い」と回答し、また、「今後の利用意向について」という質問に対して約70%の利用者が「今後も利用したい」と回答した。（開発時（H25.2）の調査）

今後は、アンケート調査の結果等を踏まえ、ユーザーインタフェースのさらなる改善や、提供情報の拡充について検討していく予定である。

日常の通勤通学の中で、自分の街を知りながら健康になる！

なごや健康のりかえ

By 名古屋大学大学院情報学研究科　安田・遠藤研究室

平成29年8月1日版

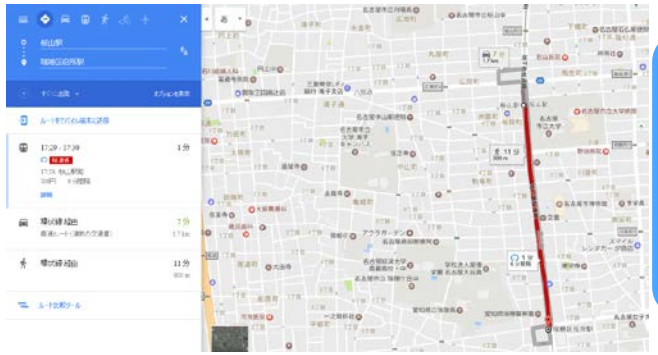
防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

普段使う地下鉄の経路の中から最適な徒歩ルートの提案を受け、街を知りながら歩くことで健康になれる。

（2015年　サービス開始）

普段使う名古屋市の地下鉄の経路を入力すると、徒歩で移動できる最適な徒歩ルートを提案。





地図上に最適な徒歩ルートが表示され、ナビと連携して歩くことをサポート!

なごや健康のりかえ 誕生の キッカケ

- 運動不足な人々にとって、日々の忙しさの中で運動するまとまった時間を確保することは難しい
- 日常生活の中で、健康のために歩くことができる適度な距離や区間、経路を見つけることもなかなか難しい



なごや健康のりかえ でこう 変わった！

- 普段使う地下鉄の経路から、歩くことができる最適な徒歩ルートの提案を受け、日常生活の中で運動する時間を確保することができる
- 普段地下鉄に乗っている区間を歩くことで、街の違った一面を発見することができる



日常の通勤通学の中で、自分の街を知りながら健康になる！

平成29年8月1日版

なごや健康のりかえ

By 名古屋大学大学院情報学研究科　安田・遠藤研究室

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

普段使う地下鉄を利用した経路の中で自分の街を知りながら健康になれる！

運動不足を認識しているものの、日々の忙しさの中で運動するまとまった時間を取り入れるのは難しいという人々に向けて作成されたアプリです。名古屋市の普段使う地下鉄の経路を入力すると、最適な徒歩ルートを提案し、ナビと連携して歩くことをサポートします。3つのソースから5つのオープンデータを利用し、自分の街を知りながら歩くことで健康になる一石二鳥のアプリです。

開発当時（2015年9月頃）、名古屋市が公開するオープンデータは、機械可読性が高くない形式でした。そのため、データを利用しやすい形に変換し、アプリケーション内に組み込むなどの工夫により、データの流通の促進に向けた取り組みを進めてきました。

また、「なごや健康のりかえ」は、東海地域における豊かなコミュニケーション文化の創造を目指す産官学連携フォーラムである「NEXT COMMUNICATION FORUM 2015」のアプリ開発フリー部門にてグランプリを受賞しました。



NEXT COMMUNICATION FORUM 2015の様子

使用データ　①地下鉄区間区数距離表（名古屋市交通局）
②名古屋の観光施設情報（LinkData）
③路線、駅、接続駅データ（駅データ.jp）

データ形式　①②xls、③CSV

提供形態　Webアプリケーション
（スマートフォンやPCのブラウザに対応）

受賞歴
・NEXT COMMUNICATION FORUM 2015
アプリ開発　フリー部門　グランプリ
・LOD Challenge2015 審査員特別賞学生奨励賞

地域　愛知県名古屋市

各地域に合わせた健康な乗換案内ができる！

なごや健康のりかえは、名古屋市交通局からの「地下鉄区間区数距離表」、LinkDataからの「名古屋の観光施設情報」、駅データ.jpからの「路線データ」・「駅データ」・「接続駅データ」の5つのオープンデータが使用されており、名古屋市のような地下鉄等の公共交通機関が発展している地域で、運動不足な人々の活用が期待できるアプリです。

各地域のスポットのオープンデータなどを利用すれば、その土地に合わせた健康な乗換案内が作成できます。

地域における自主的な防犯対策に役立てることが可能に！

平成29年8月1日版

大阪市　警察署×犯罪発生

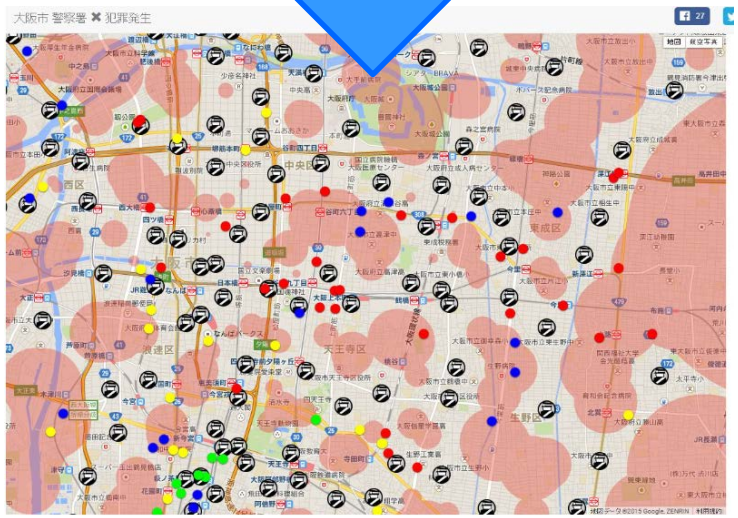
By 上田洋、佐藤麻耶

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

警察署・交番の位置情報と犯罪発生地点を地図上に重ね合わせて表示。
犯罪多発地帯や犯罪の種類による発生場所の傾向を視覚的に把握することが可能。

（2014年　サービス開始）

・大阪市が公開する警察署・交番の位置情報を表示
・警察署・交番が無い場所を半透明の赤い円で表示
・大阪市の犯罪発生情報をもとに犯罪発生地点を各種アイコンで表示



警察施設の存在しない地域と犯罪発生の傾向に相関があるかを地図上で視覚的に確認できる！

警察署×犯罪発生 誕生のキッカケ

- 犯罪多発地帯の把握が難しいため、地域ごとの効果的な防犯対策ができていなかった
- オープンデータとして公開されている警察署・交番の位置情報をその他の情報と掛け合わせることで、効果的な防犯対策に活用できないかを検討していた



警察署×犯罪発生 でこう変わった！

- 地図上で警察施設の存在しない地域と犯罪発生の傾向を把握することで、地域での自主的な防犯対策に役立てることが可能になった
- 地域全体での防犯意識を高めることも可能になった



地域における自主的な防犯対策に役立てることが可能に！

平成29年8月1日版

大阪市　警察署×犯罪発生

By 上田洋、佐藤麻耶

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

地域における防犯対策へのオープンデータの利活用を積極的に推進

大阪市が公開するオープンデータ（警察署・交番の位置情報）と、実際に犯罪が発生した地点を地図上に重ねて合わせて表示することにより、地域で今までわからなかった犯罪の種類ごとの発生場所の傾向が確認できます。また、地域での犯罪に関する仮説(特定の場所で犯罪に遭いやすいなど)の検証が可能になります。

地図上に表示される　警察アイコンは、警察署・交番の位置を示し、赤、黄緑、青、黄色のアイコンは、そこで起きた犯罪の種類を示します。

各アイコンを押すと、そのアイコンに関する情報が表示されます。



地図上で表示する各アイコン

本アプリの活用により、住民の防犯意識が高まり、地域コミュニティでの自主的な防犯対策の策定や警察署との円滑な連携が図られることが期待されます。

実際にアプリを利用した方からは、「犯罪が多そうだと思っていたところで、実際に発生していることが地図上で確認できた」「思っても見なかった場所で犯罪が多発していることがわかった」「警察署以外のデータと犯罪発生地点を重ね合わせると、違った傾向が見えそう」などの声がありました。

使用データ　①地図情報（警察署、交番）
②犯罪発生場所情報

データ形式　①JSON(RDF)　②CSV
※大阪市公開のWeb APIを利用

提供形態　アプリWebアプリケーション

受賞歴
- LODチャレンジJapan2014
  ビジュアライゼーション部門　優秀賞
- 大阪から考えるCivicTechアプリコンテスト
  特別賞（オープンデータ活用賞）

地域　大阪市

他の地域・他の分野でも活用可能なアプリ！

「大阪市　警察署×犯罪発生」の可視化手法は、大阪市以外の地域の防犯データや、防犯以外のデータでも活用可能(例えば、消防署と火災発生地点など)です。そのため、アプリ自体のソースコードをオープンソースとして誰でも利用可能な形で公開しています。
(https://github.com/uedayou/dangerzone-x-dangerpoint-sparql)

これを利用することで、オープンデータの重ね合わせにより、さまざまな地域課題を可視化をすることができます。

オープンデータで地域をつなぐ観光クラウド

平成30年2月21日版

Myルートガイドサービス

By NPO法人地域情報化モデル研究会（地域プロデュース）

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

観光オープンデータを活用して、公共観光サイト上で旅行者自身が自由な周遊ルートプランを作成しながら、地域の埋もれた魅力の発見につなげるサービスです。

（2012年6月　サービス開始）

旅行者が自由に目的地を選択するだけで、「最短での訪問順序」「移動時間・走行距離」「移動ルート」を案内



All Rights Reserved, Copyright © 2010-2017 FUJITSU LIMITED

名所の他、名所間の周遊ルート周辺に点在する地元ならではの埋もれた観光資源も自動で案内

My ルートガイドサービス 誕生の キッカケ

- 県内の二次交通を自動車に依存しており、自動車で自由に安心して観光してもらうための周遊ルート案内の充実が必要であった
- 訪れた旅行者に土地の魅力を楽しんでもらうためには、ルート周辺にある歴史から生活文化に至る大小さまざまな情報提供が必要であった



My ルートガイドサービス でこう 変わった！

- 複数の観光サイト上にMyルートガイドを実装し、各サイト上で広域周遊ルート案内が可能になった
- Myルートガイドの実装をきっかけに自治体の観光データのオープン化が進み、地元レンタカー会社など民間でのオープンデータを活用した観光案内サービスの展開につながった



オープンデータで地域をつなぐ観光クラウド

平成30年2月21日版

Myルートガイドサービス

By NPO法人地域情報化モデル研究会（地域プロデュース）

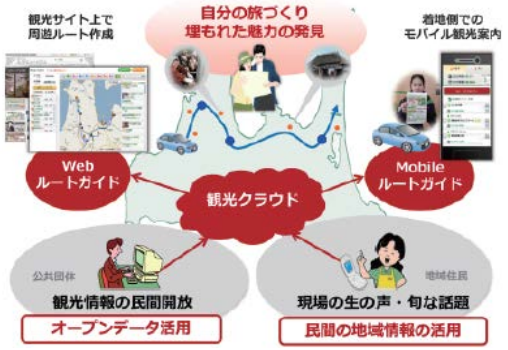
防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

観光データの官民連携活用による観光案内サービスの提供

公共団体が保有する約3000件の観光データや、地域の飲食店など約600の事業者が参加し、官民の観光データが相互利用されている。

二次交通の主な手段を提供する地元レンタカー会社では、官民の観光データとMyルートガイドを活用して、スマートフォン向け観光案内サービスを開発し、県内19店舗の窓口でも活用している。

また、県内の複数の自治体観光サイトにMyルートガイドを実装し広域周遊ルート案内サービスを展開。月平均約6,000人の利用がある。



Copyright © NPO地域情報化モデル研究会　2017

各自治体が公開している観光情報や民間からの旬な現地情報を収集・結合し、Myルートガイドなど多様な観光情報サービス間で連携活用するモデルを「観光クラウド」と呼ぶ。現在までに青森県のほか全国17県50団体へと展開が進み、総務省地域IoT実装推進タスクフォースの推奨モデルとして、2020年までに150地域への横展開が期待される。

●自治体職員の観光データの登録負担の解消

観光サイト上から観光データを自動的に収集する技術（特許技術）を活用して、自治体職員のデータ負担を解消し、データの最新性の持続にもつながっている。

使用データ	自治体・観光連盟等：観光名所、宿泊施設等 民間事業者：店舗・施設情報、クーポン等
データ形式	HTML、JPEG等
提供形態	Webサービス、Webアプリ
受賞歴	平成23年度総務省 「情報通信月間」東北総合通信局長表彰 平成26年度総務省 地方創生に資する「地域情報化大賞」特別賞
地域	全国17県50団体

プロボノによる地域観光の振興

地域連携による情報活用を推進するには、異なるステイクホルダ間の相互連携を円滑に進めるプロデューサの存在が重要となる。

NPO法人地域情報化モデル研究会(2007年5月設立)では、IT企業や行政関係者の有志がプロボノ(職業上の専門性を活かし無償で社会貢献する活動)として集結し、官民や組織の枠組を越えた有志活動により、青森県観光モデルをはじめ、地域SNSや商店活性化モデルなど、ICTで地域をつなぐ取り組みを行ってきた。

その活動成果が認められH26年度「情報通信月間・電波の日」情報通信月間推進協議会会長表彰 情報通信功績賞が贈られた。

熱中症になりやすい危険度を段階評価で教えてくれる！

熱中症警戒計

By TAKAHIRO IZAKI © 2012 maibokun

平成30年2月21日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

登録した地点での「気温」「湿度」から、１時間ごとの熱中症の危険度が分かる！

（2015年　サービス開始）



熱中症に関する情報を知りたい地域を最大5つ登録することが可能

気象庁の観測データから1時間おきに「気温」「湿度」「WBGT（暑さ指数）」を判定することで熱中症の危険度を表示！



横にスワイプをすることで、同時に他の地域を確認することも可能!

熱中症警戒計 誕生の キッカケ

- 天気予報以外に熱中症に関する情報を知りたい時、地域ごとの熱中症の危険度を迅速に把握することが難しかった
- 熱中症の危険性が高い室内などでの熱中症の危険度を簡単に把握するための手段が多くなかった



熱中症警戒計 でこう 変わった！

- 事前に熱中症の危険度を把握することによって、水分補給や帽子をかぶるなどして、自主的に熱中症対策を行うことができる
- 室内で運動するときに熱中症の危険度を把握したり、室内で生活することの多いお年寄りをサポートすることも可能（介護士や訪問看護師が高齢者宅訪問時の高齢者への指導などに活用）



熱中症になりやすい危険度を段階評価で教えてくれる！

熱中症警戒計

By TAKAHIRO IZAKI © 2012 maibokun

平成30年2月21日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

知りたい地域の1時間ごとの熱中症の危険度が分かる！

「熱中症警戒計」は、取得した気象庁の観測データをもとに、最新の「暑さ指数（WBGT※）」を算出し、熱中症になりやすい危険度を教えてくれるアプリである。表示される「気温」「湿度」「WBGT」は、1時間ごとに更新される。（例：朝の10:30に検索すると、10時現在のデータが表示。）

※「湿球黒球温度」のことで、湿度、輻射熱、気温の3つを取り入れた指標

熱中症に関する情報を知りたい地域（＝観測点）を最大5つ登録することができ、遠方の地域の情報の取得も可能である。

アプリでは、WBGT値から日本生気象学会が設定した基準による4段階の熱中症危険度か日本体育協会が設定した基準による5段階の熱中症危険度の、どちらを使いたいかを選ぶことができる。

また、その場で気温と湿度を測定することができれば、室内であっても熱中症危険度を把握することができるため、室内で運動するときなどにも対応可能。



日本生気象学会では4段階で、日本体育協会では5段階で熱中症危険度を表示

使用データ	観測データ（気温・湿度・降水量・風向き等）※気象庁より取得
データ形式	HTML、CSV等
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	—
地域	日本全国

熱中症に関する情報を取得することも可能！

「熱中症メモ」の機能では、熱中症予防や熱中症になったときの対処方法などの情報が手に入るのもアプリのポイントである。「どんな日が熱中症になりやすいのか？」「熱中症の予防方法は？」という情報をイラスト付きで教えてくれるため、容易に理解する事ができ、友達・家族に熱中症の疑いがあった場合に対処することもできる。



熱中症になったときの対処方法

スクールゾーンでの事故防止に役立つ！

Qld School Zones

By クイーンズランド州（オーストラリア）

平成30年2月21日版

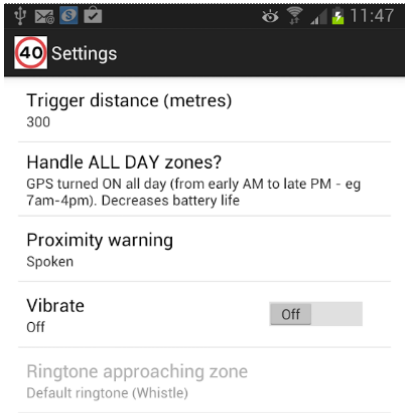
防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

指定されたスクールゾーンに近づいているときに、ドライバーに警告を通知することが可能。
運転中に事前に注意喚起することで、スクールゾーンで子供の安全を確保することに役立つアプリです。
（2014年　サービス開始）

学校の位置情報や祝祭日、運輸省が公開する主要道路の分析・統計データをもとに、ドライバーにスクールゾーンの正確な情報を通知



アプリで実際の標識を確認することが可能。



警告を鳴らしたい学校区域からの距離を設定することが可能。

Qld School Zones 誕生の キッカケ



- オーストラリアでは、スクールゾーンでの速度規制が他の区間と異なるため、運転中にドライバーが事前に意識して運転する必要がある。
- クイーンズランド州では、スクールゾーン内における交通事故が多発しており、学校関係者だけでなく市民の中からも子どもたちを事故のリスクから守ろうという意識が高まっていた。

Qld School Zones でこう 変わった！



- 学校の位置情報・祝祭日情報、主要道路の分析等をアプリで行うことで、スクールゾーンをプッシュ通知により事前に把握することが可能となった。
- ドライバーがスクールゾーンを意識して運転することが可能になり、安全性が向上し、事故の発生率の減少につながっている。

スクールゾーンでの事故防止に役立つ！

Qld School Zones

By クイーンズランド州（オーストラリア）

平成30年2月21日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

子どもの交通の安全・安心を守りたい一技術者の思いから開発

クイーンズランド州は、子どもの交通の安全・安心の確保に高い関心を持っており、従来より通学路のスピード規制に関するガイドラインの作成・公表、通学路の安全を見守る監視者の設置、スクールゾーンであることを運転手に視覚的に伝える標識の開発等を進めてきた。

一方でクイーンズランド州では、全地域においてスピード違反による死亡事故が依然として多発しており（交通事故による死亡者数の22.1%）、特にスクールゾーンでの交通事故発生率が高い。

行政を中心に非営利団体や個人が連携して、交通事故から子どもたちを守るための取組が行われている。「Qld School Zones」は、このような州の状況の中で、一個人によって開発されたものである。本アプリは、指定されたスクールゾーンに近づいたときに、スマートフォンのGPS機能を使用して、ドライバーに警告を通知する（音、振動等）。これにより、ドライバーはスクールゾーン内に入ったことを確実に把握し、標識の確認漏れ等によるスピード超過を防止することが可能となり、子どもたちの安全確保につながっている。



「Qld School Zones」の画面イメージ

使用データ	①学校の位置情報 ②学校運営の時間帯 ③運輸省の主要道路の分析・統計データ
データ形式	html、CSV
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	―
地域	クイーンズランド州（オーストラリア）

交通の安全・安心の確保に向けて

日本におけるオープンデータを活用した交通の安全・安心の確保に向けた取組としては、車載ナビゲーションのデータを活用して、急ブレーキ多発個所を特定し、それらを交通事故の防止対策に活かす事例が見られる。

オーストラリアと日本の道路事情は異なるため（日本では狭く入り混んだ道が多い等）、「Qld School Zones」と同様のサービスがどの程度正確に通学路の位置情報を伝えることができるか検証が必要と考えられるが、上記のナビゲーションデータと組み合せて補助的なデータとして活用できれば、さらなる交通事故の事前防止につながることが期待される。

その日の除雪車の走行状況を地図上で見やすく提供

平成30年2月21日版

除雪車ナビ

By 福島県会津若松市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

その日の除雪車の走行状況を地図上で見やすく確認できるサービス。20秒ごとに走行状況が更新されるので、除雪車の走行場所を細かく把握することができます。

（2016年3月　サービス開始）

会津若松市の地域情報ポータルサイト「会津若松＋」（2015年12月開設）上に新サービスとして「除雪車ナビ」機能を追加（2016年3月）。



その日の除雪車の走行状況を地図上で見やすく確認できるサービス。20秒ごとに走行状況が更新されるので、除雪車の走行場所を細かく把握することが可能。「除雪車ナビ」は「会津若松＋」に登録したうえでログインし利用できる。

除雪車ナビ 誕生の キッカケ

- 会津若松市では毎年冬の時期になると除雪に関する問い合わせや苦情が市民から1,000件以上寄せられていた。
- 除雪車の稼働状況や除雪作業の実施の有無が見える化されておらず、現場の確認や除雪運転手への電話による問合せでしか把握できないため、市民からの問合せに対し適確に対応できないケースがあった。



除雪車ナビ でこう 変わった！

- 除雪車ナビにより除雪車の稼働状況を市職員や除雪車運転手の間でリアルタイムに共有することで注意しながら除雪対応することが可能となり、苦情が減少した。
- GPS機能により、除雪車の稼働状況をリアルタイムに把握できるようになったことで、市民からの問合せや苦情への電話応対や現場対応が迅速になった。



その日の除雪車の走行状況を地図上で見やすく提供

平成30年2月21日版

除雪車ナビ

By 福島県会津若松市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

会津若松市の直営、業者委託分合わせて約250台の除雪車の走行データを公開し、Web上で見える化。

会津若松市が地方創生の一環として地域情報ポータルサイト「会津若松＋」を2015年12月に開設し、その後、その機能の一つとして「除雪車ナビ」が追加された。

除雪車ナビでは、会津若松市直営及び業者委託分を合わせて約250台の除雪車の走行データを公開し、Web上で見える化を行っている。



全除雪車に配備したスマートフォンのGPS機能を活用して利用者が地図上の除雪路線のどの位置で除雪車が作業をしているかをリアルタイムで確認することができる。対象エリアは会津若松市が管理している市道約830kmと歩道116kmで、パソコンやスマートフォンから24時間いつでも閲覧が可能。除雪中に路上駐車や倒木などで作業が出来ない際は、スマートフォンで撮影した写真を担当部局に送信し、スムーズな対応が出来るなどの利点もある。

使用データ	市道除雪路線データ、除雪車走行データ、（GPSデータ）
データ形式	CSV
提供形態	Webアプリ
受賞歴	—
地域	福島県会津若松市

さらなる活用に向けて

現在、除雪車の走行データは市道分しかない。市民にとっては、市道、県道、国道の区分は関係ないため、今後市では国や県の除雪車走行データを取得し、標準的に取り扱えるようしたいと考えている。具体的には、市道、県道及び国道のデータを一元的に蓄積・管理し、標準的で汎用性が高いAPIの提供など、市民にとって便利なサービス開発に活かしたいとしている。

高齢者、障がい者、ベビーカー利用者のニーズに応じた最適なバリアフリールートをナビゲーション！

平成30年2月21日版

ココシルこまえ　バリアフリーナビ

By 狛江市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

狛江市内を循環するコミュニティバスの停留所から狛江市内の公共施設（51施設）までの経路を、車いす利用者、高齢者、ベビーカー利用者、健常者の属性に合わせたナビゲーションで提供。

（2014年2月　サービス開始）

車いす利用者向け、高齢者向け、ベビーカー利用者向け、健常者向けのルートが選択可能。避けたいルートや注意喚起の有無を、細かくカスタマイズすることもできる。



ユーザー設定画面

ルート条件設定画面

目的地を設定すると、コミュニティバス「こまバス」運行ルートに沿った主要施設へのバリアフリールートを案内。



地図上には、合わせて狛江市の観光・史跡を表示。また、右上のトイレマークを選択すると、周囲のバリアフリー・トイレの情報も表示。

バリアフリーナビ 誕生の キッカケ

- 高齢者等が可能な限り自立して生活できる環境を整備することが求められていた。
- 高齢者が自立して自宅から医療機関等までドアトゥドアで移動できるようにするためには、高齢者の主要な移動手段であるコミュニティバス「こまバス」の利用と合わせて、ラストワンマイルの徒歩ルート（自宅からバス亭、バス停から施設）における移動支援も必要であった。

バリアフリーナビ でこう 変わった！

- バリアフリー情報を市民に分かりやすく、使いやすいかたちで提供できるようになり、高齢者等が医療機関等に移動する際の負担軽減につながった。
- ルート周辺のバリアフリー・トイレやベビールーム等の情報が提供されることで、利用者の利便性が向上した。

高齢者、障がい者、ベビーカー利用者のニーズに応じた最適なバリアフリールートをナビゲーション！

平成30年2月21日版

ココシルこまえ　バリアフリーナビ

By 狛江市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

バリアフリー情報を活用して、誰もが安全・安心・快適に市内を移動できる環境を整備

ココシルこまえ バリアフリーナビは、街の情報発信ポータルサイト「ココシルこまえ」の主要サービスのひとつとして提供されており、高齢者、障がい者、ベビーカー利用者といった交通弱者の方々に対して、市内を循環するコミュニティバス「こまバス」のバス停から医療機関等の施設までの歩行移動を支援するためのサービスです。

国土交通省が提供する歩行空間ネットワークデータ、狛江市が提供する公共施設等のオープンデータを活用することで、誰もが快適に移動できるバリアフリールートをナビゲートします。

ナビゲートに際しては、階段、エレベーターの有無の他、バリアフリー対応トイレ、ベビールーム、障がい者用駐車区画、AED等の設置場所も加味したうえで、利用者の属性に応じた経路を画面・音声にて案内します。

また、スマートフォンを主な利用端末とし、こまバスのバス停40 か所に設置されたNFC タグプレートをタッチすることで、バスの運行情報や時刻表の情報を閲覧することも可能です。



サービス概要

使用データ	国土交通省：歩行空間ネットワークデータ、 狛江市：障がい者用駐車場、AED等の位置情報
データ形式	CSV
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	—
地域	狛江市内

継続的に発展していくための体制整備

・NPO等の市民団体の代表者を含む組織により構成される「あいとぴあレインボー推進協議会」が、運営責任者である狛江市と連携して事業を推進

・市民協働の新しいモデルとして、推進協議会が中心となって事業計画を検討

・利用者視点でのコンテンツ編集とするため、市内の福祉団体と適宜意見交換しながら共同運営

行政の新着情報から、自分に必要な、関心のある情報のみを自動的に収集して通知

平成30年2月21日版

PUSH大阪

By 「PUSH大阪」開発Team

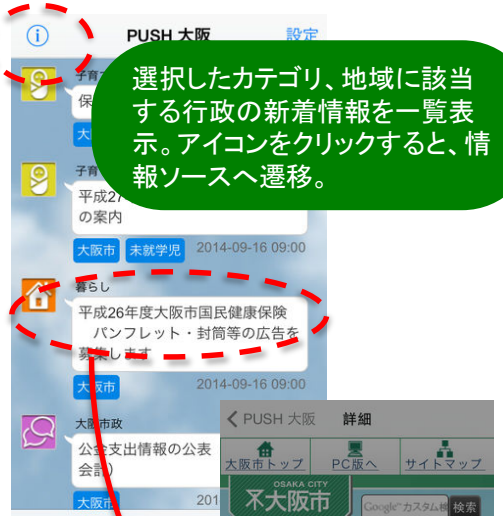
防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

「行政が発信する情報がなかなか市民に届かない」という課題を、ユーザが「関心のある情報のみを簡単に取得できる仕組み」で解決しよう！というサービス。現在大阪市全24区がホームページで配信している新着情報を自動で収集して閲覧できます。 **（2015年4月　サービス開始）**



検索条件設定画面

ユーザーが必要とする、関心のあるカテゴリ、地域を設定することで、該当する新着情報のみを検索。
この他、性別、データの検索対象期間の設定も可能。



メーン画面
（検索結果表示画面）

選択したカテゴリ、地域に該当する行政の新着情報を一覧表示。アイコンをクリックすると、情報ソースへ遷移。



記事の詳細

記事の詳細は、SNS等で共有することができる。

PUSH大阪 誕生の キッカケ

- 行政の様々な部署が定期／不定期で発行する新着情報を確認するためには、それぞれのHPに行く必要があった。
- 結果として、「行政が発信する情報がなかなか市民に届かない」状況にあり、住民サービス向上の観点からの工夫が必要となっていた。

PUSH大阪 でこう 変わった！

- 市民からは、必要とする、関心のある情報を、簡単に漏れなく入手することができ、便利になったとの声があった。
（利用者数は増加傾向にあり、現在4,000人程度）
- 新着情報を市民に見てもらう機会を増やすことにつながり、施策の市民への浸透、行政の透明性の向上につなげることができた。

行政の新着情報から、自分に必要な、関心のある情報のみを自動的に収集して通知

平成30年2月21日版

PUSH大阪

By 「PUSH大阪」開発Team

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

自治体側には新たにデータを作成するといった負担をかけることなく、すぐにサービス実現が可能

PUSH大阪は、「Civic Hack Osaka 2014」をきっかけに、大学職員、行政職員、民間技術者の有志によって構成された「「PUSH大阪」開発Team」によって、「行政が発信する情報が、なかなか市民に届かない」、しかし新しい仕組みを導入する際に、「行政職員の作業コストを増加させたくない」という課題に対し、「既存の情報・仕組みを、うまく活用することで解決しよう」というアプローチで解決することを目指し、開発がスタートした。



PUSH大阪の実現イメージ

PUSH大阪は、自治体がホームページで公開している新着情報のRSS（Rich Site Summery）を自動的に収集し、内容を解析して、「想定している対象者、記事のカテゴリ」などの属性情報（メタデータ）を自動付与した上で、データベースに格納している。

PUSH大阪を活用した自治体は、RSSファイルを最低限指定するだけでよく（追加コストはほとんど不要）、すぐにサービスを実現・展開することができる。また今後も簡単に拡大していくことができる。

使用データ	大阪市HPの新着・更新情報 大阪市：統計情報一覧　等
データ形式	HP新着・更新情報：RSS1.0、RSS2.0、ATOM等 統計情報一覧：CSV
提供形態	Webアプリ、スマートフォンホアプリ
受賞歴	大阪から考えるCivicTechアプリコンテスト（2015） 「アプリ・Webサービス部門グランプリ」
地域	大阪市

全国にサービス範囲を拡大！

「PUSH大阪」開発Teamでは、「PUSH大阪」の性能向上、利用促進に向けて、PUSH大阪から機能を拡張した「PUSH豊中市」の共同研究等に取り組んでいる。

さらに、「PUSH広報」というサービスで、大阪市以外の全国約80の団体（新潟市、横浜市、千葉市、神戸市、福岡市等）にもサービス範囲を拡大している。今後は行政機関の発信情報だけでなく、地域コミュニティの情報など、対象となる情報の拡大についても検討する予定である。

学校給食の情報を通じて子どもの食育をサポート

平成30年2月21日版

4919（食育）for Ikoma

By ミセカタラボ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

子どもが毎日食べる給食の献立やカロリー、アレルゲン、栄養バランスなどを手元のスマートフォンで手軽に確認できるようにすることで、子どもの食育をサポートし、食物アレルギー対応の理解を拡げることができるアプリ

（2017年　サービス開始）

成長期の小中学生が毎日食べる給食を中心に子どもの食育をサポートするアプリ。子どもが毎日食べる給食の献立やカロリー、アレルゲン、栄養バランスなどを手元のスマートフォンでかわいいイラストともに手軽に確認できる。

トップ画面



献立、摂取カロリー、栄養バランスの表示



ひと月の献立メニュー表示



個々のメニューのアレルゲンを表示



①食育サポート機能
- ■その日の献立、摂取カロリー、栄養バランスの表示
- ■ひと月の献立メニューの表示
- ■摂取目安カロリーや栄養バランスなど食事に関する基礎的情報を表示

②アレルゲン情報提供機能
- ■個々のメニューのアレルゲンを表示することで、注意喚起を促す

4919（食育）for Ikoma　誕生のキッカケ



- 食事の欧米化が進み、食生活の乱れや食物アレルギーを持った子どもたちの増加など、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化している。
- 学校給食での食物アレルギーによる事故が多数報告されており、食物アレルギーに関する対策が社会的な課題となっている。
- 上記の課題を踏まえて学校給食に着目し、子育てのまち生駒をPRするためのアプリとして4919 for Ikomaの開発をスタート。

4919（食育）for Ikomaでこう 変わった！



- 家庭と関係者が連携して給食での食物アレルギー事故防止に取り組まれている中で、その支援と食物アレルギー対応の理解を拡げるキッカケとなった。
- 家庭での食への関心を高め、親子での対話を通じた4919（食育）推進につなげることができた。

学校給食の情報を通じて子どもの食育をサポート

平成30年2月21日版

4919（食育）for Ikoma

By ミセカタラボ

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

子どもが育つうえで大事な食事。家庭と学校の協力により学校給食におけるアレルギー事故を防ぐ。

食物アレルギーの児童生徒が増加中で、2004年から2013年の9年間で12万人も増えている。（2013年度,文部科学省調べ）
こうしたことを背景に「4919（食育）for Ikoma」は、学校と家庭が協力し、学校給食におけるアレルギー事故を防ぐとともに、摂取目安カロリーや栄養バランスなど食事に関する基礎的な情報を提供することを目的に開発された。

生駒市の給食献立のオープンデータを取込み、イラストなどによる表示で分かりやすく給食のアレルゲン情報を表示し、子どもの食育をサポートする。



「4919（食育）for Ikoma」は奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科の学生チーム「ミセカタラボ」が開発。

使用データ	学校給食献立データ（小学校）
データ形式	CSV
提供形態	スマートフォンアプリ（iPhone版、Android版）
受賞歴	IKOMA Civic Tech Award2016 「生駒の未来アプリ・アイデアコンテスト」 アプリ部門最優秀賞・いこまの未来市民賞 受賞
地域	奈良県生駒市

家庭と学校のさらなる連携強化へ！

食物アレルギー事故は人的なミス（確認漏れ、認識違い等）によって起こってしまうことが多いため、事前に教員、保護者、児童生徒自身に注意喚起し、ミスを防止することが重要。そのため、以下の機能を今後追加予定。

- 要注意アレルゲンの登録機能
- アレルゲンが含まれている献立の通知機能（プッシュ型）

毎日の生活に役立つ情報を確認できるアプリ

平成30年2月21日版

東広島市くらしのアプリ

By 広島県東広島市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

東広島市で暮らす方々等を対象に、ごみ出しや夜間・休日当番医、イベント情報など毎日の生活で役立つ情報をお知らせする公式アプリです。

（2016年　サービス開始）

東広島市の「ごみ出し」「夜間・休日当番医」「イベント」に関する毎日の最新の情報を1つのアプリで検索することができる東広島市の公式アプリです。



休日や夜間など、病院や医療機関が診療していない時間帯等の急病時も、今日の当番医を簡単に確認可能。

ごみ出し検索は、毎日のごみ出し情報だけでなく、品目別に分別や出し方を調べることも可能。

東広島市くらしのアプリ 誕生の キッカケ

- 夜間や休日などは、受診する前には、医療機関等へ電話で開業を確認したり、病院の夜間・休日の当番医の情報を自治体の広報誌やホームページで確認したりする必要があった。
- ごみを出す際に、毎日のゴミ出しの情報や、品目別の出し方は紙媒体で確認する方法しかなかった。また、地域によって分別方法が異なるなど分かりにくい状況だった。



東広島市くらしのアプリ でこう 変わった！

- 開業時間や場所、連絡先だけでなく、休日や夜間などの時間帯においても、急病等に対応できる当番医を迅速に見つけることができるようになった。
- 住んでいる地域等の設定をしておくことで、ごみ出しの当日や前日に通知を受け取ることができ、忘れずにごみ出しができるようになった。



毎日の生活に役立つ情報を確認できるアプリ

平成30年2月21日版

東広島市くらしのアプリ

By 広島県東広島市

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

東広島市内の当日の夜間・休日当番医や医療機関の検索を簡単にできる。

「東広島市　くらしのアプリ」は、東広島市の公式アプリであり、市民にとって有益なオープンデータを活用した機能をパッケージとして提供している。現在は、市のホームページへのアクセスが多く、日常的に必要性が高い「ごみ出し」「夜間・休日当番医」「イベント」の3つの情報を検索することができる。

これらのうち、「夜間・休日当番医」の検索機能は、他自治体ではあまり見られない特徴的な機能であり、病院や医療機関が診療していない休日や夜間の時間帯の急病時における当番医を簡単に確認できるようになっている。病院の開業時間を検索するアプリは見られるが、診察当日の当番医まで検索できるようにすることで、市民は急病時等においても安心して対応することができる。

また、合わせて市内の病院・医療機関の検索機能も用意しているため、場所や連絡先の確認も簡単にできるようになっている。

なお、東広島市は、夜間・休日一次救急当番医のデータを月単位で、ごみ出しのデータを年単位で、日本語と英語で公開している。

累計ダウンロード数は、3,436件に伸びており（H29.11現在）、今後は、市民ニーズ等を踏まえながら、子育て支援情報などコンテンツ強化を行うとともに、操作性やアイコン表示の改良など利用者目線での改良を行うこととしている。



夜間・休日当番医の検索画面

使用データ	夜間・休日一次救急担当医 ごみカレンダー
データ形式	CSV　※APIでの提供可能
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	―
地域	広島県東広島市

地域のイベント情報を確認することも可能

くらしのアプリでは、東広島市が実施しているイベント情報を確認することもできる。

また、「ワーキングマタニティ教室」などの子育て世帯にとって有益なイベントは、くらしのアプリで予約することもでき、市と住民とをつなぐ貴重なアプリとなっている。

今後も対象イベントの範囲を拡大し、市民により広範囲な情報を提供することを検討している。



イベント機能のイメージ

スマホひとつでバリアフリー＆バリア情報をシェア！

WheeLog!（ウィーログ！）

By NPO法人PADM

平成30年6月14日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

GPSを活用し、車いすで移動したルートを地図に記録することで、車いすが通行できる道を共有。また、施設のバリアフリー情報も投稿可能。ユーザーが参加し、作っていくバリアフリー情報サービスです。

（2017年5月　サービス開始）

WheeLog!アプリを起動して車いすで走行することで、移動ルートの情報を自動的にアプリに記録。他のユーザーが車いすで移動できるルートか分かる。

写真の投稿も可能な、施設のバリアフリー情報等が投稿できる「スポット投稿」。
つぶやき機能もあり、ユーザー同士が交流することができる。



気になるスポットの情報はリクエストできる。

WheeLog! 誕生の キッカケ

- 初めての場所に出かける際、事前の情報収集には努めていたが、時間がかかり非常に苦労していた。
- 車いすが走行可能な道路や利用できる施設等の情報や、体験したことを動画で配信していたが、一人で発信できる情報量に限界を感じた。
- みんなが知っている情報や体験したことをみんなで共有できるプラットフォームがあればよいのではと考えた。



WheeLog! でこう 変わった！

- ユーザー自身が情報を投稿できるため、多くの情報が集まるようになった。
- 車いすで出かける際の情報収集が容易になった。
- 車いすのユーザーが町に出るハードルが下がり、また出かけるきっかけ作りに繋がった。



スマホひとつでバリアフリー＆バリア情報をシェア！

平成30年6月14日版

WheeLog!（ウィーログ！）

By NPO法人PADM

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

車いすでも社会とつながっていたい。だれもが安心して外出できるようなバリアフリーマップを。

WheeLog!（ウィーログ）は、遠位型ミオパチー患者会であるNPO法人PADMが開発したアプリである。Googleインパクトチャレンジのグランプリ賞を受賞し、その助成金により開発がスタートした。

コンセプトは「テクノロジーで世界をよくする」。たくさんのバリア&バリアフリー情報を共有・可視化することで、車いすユーザーが社会と接するきっかけを作り出すことを目指している。

また、アプリの改善面について意見を収集するために、車いすユーザーに集まってもらい、「みんな」でバリアフリーマップを作るイベントを定期的に開催。車いすユーザー同士のコミュニケーションの場にもなっている。

日本語以外にも英語版もリリース。更に、2018年3月には、オープンデータ化されている東京都のエレベーター・多目的トイレのバリアフリー情報も活用。今後は他の地方自治体のデータの活用も検討する等、より有効なバリアフリーマップとして発展をしていく予定。

※利用者登録：約3700人（うち車いす利用者約1200人）
情報投稿：約10000地点（海外含む）
（18年5月下旬時点）



使用データ	都立公園・庭園等におけるエレベーター・多目的トイレのバリアフリー情報
データ形式	CSV、Excel、JPEG
提供形態	スマートフォンアプリ、Web版（ベータ版）
受賞歴	Googleインパクトチャレンジ　グランプリ賞 東京都オープンデータアプリコンテスト 入賞・来場者特別賞 2017年度日本建築学会 技術部門設計競技 優秀賞
地域	全世界

楽しみながら継続利用できるアプリを目指して

・アプリ開発の課題の一つは、持続的な利用をどう促していくか。WheeLog!では、「バリアフリー情報という石を集めて磨いていき、それらすべてを宝石にする。」というストーリーの下、「情報収集の加速化ミッション」と「リクエスト&回答を通じた経済効果」を目的として、スポット情報や走行ログ等の投稿数に応じてランク付けした称号がもらえる、というゲーミフィケーションの要素を導入。

・また、ランキング上位者への副賞プレゼントを行う等、楽しく継続的に利用できるアプリ作りを行っている。

人工肛門・人工膀胱保有者のためのサポートツール

オストメイトなび

By 特定非営利活動法人エムアクト

平成30年10月24日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

人工肛門保有者・人工膀胱保有者（”**オストメイト**”と呼ぶ）が抱える悩みや課題を解決するためのサポートツール。オストメイトが安心して気軽に外出できる環境づくりに貢献します！（**2015年　サービス開始**）

スマホアプリ画面



サービス 誕生の キッカケ

- 日本国内におけるオストメイトは20万人を超え、排泄障害等のために約7割が外出時に不安を覚えている。
- オストメイトの多くは排泄に関わる不安を抱えていることから、オストメイト対応のトイレの設置が進められてきた。
- しかし、オストメイトへの対応トイレが設置されている場所や設備の機能についての情報提供は乏しく、既存のバリアフリーマップでは不十分であった。



サービス でこう 変わった！

- いつでもどこでもリアルタイムに、オストメイト対応のトイレが検索できるようになり、外出時の安心に繋がっている。
- 特に、既存のバリアフリーマップでは、地域に根付いた情報に限定されており、地域を越えた全国規模のオストメイト対応トイレマップとして、その意義が認められている。
  （オストメイト対応トイレのデータ登録数：4,589件 2017年12月31日時点）
- 現在は、トイレ情報以外にも、製品情報や相談会情報等も扱い、トータルサポートツールとして、QOLの向上に寄与している。



人工肛門・人工膀胱保有者のためのサポートツール

オストメイトなび

By 特定非営利活動法人エムアクト

平成30年10月24日版

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

オストメイトに特化したスマホアプリとして、オストメイトにリアルタイムで有用な情報を配信する！

・スマホアプリ「**オストメイトなび**」は、双方向的な情報伝達ツールとして、全国のオストメイトやその家族、医療従事者など、様々な人たちから情報を集めることができる。その情報は、構築したクラウドサーバー上で管理されるため、アプリをダウンロードしたすべてのユーザーと**情報を共有**することができる。オストメイトにとって有益な情報が、簡単に**いつでも、どこでも、リアルタイム**に入手できる環境を提供し、オストメイトの**QOL向上**に大きく寄与する可能性を持つ。

・成果として、2017年12月31日までに収集された情報より、**平均170回／月のトイレ検索**が行われていることがわかり、オストメイトが外出時等でオストメイト対応トイレを探していることが明らかになった。

・ダウンロード数もアプリリリース後着実に伸びを見せており、高齢者が多いと言われている中でも、スマホに代表される**携帯型ITツールの利便性**は大きな意味を持つと考えられる。

・情報収集においては、現状、都道府県毎にトイレ登録数が大きく異なる状況であり、自治体や関係団体への働きかけ、トイレ情報収集ボランティアなど、今後、**より多くの本プロジェクトへの協力者の賛同**が求められる。

・本アプリは、双方向的情報伝達ツールとして、全国のオストメイトから様々な情報を収集する**未来志向型研究基盤**の可能性を持つ。収集データは、クラウドサーバーで管理・保管され、ユーザーが持つ各デバイスへ情報配信されるため、**個人の悩み軽減**は勿論のこと、オストメイトを取り巻く**社会環境の向上**にも寄与し、ユーザー数を増やし、より多くの方々からオストメイトに特化した情報を収集し、データベースの充実を目指したい。また、ビッグデータの分析を通じて、**環境整備や街づくりへの政策提言**に繋げたい。

・**情報量の拡充**と**情報の質の向上**が大きなポイントであり、オストメイトやその家族だけでなく、医療従事者やメーカーの方々など、**より多くの方々に使っていただきたい。**

・今後、機能の拡充やデザイン変更を予定しており、よりニーズにマッチしたツールへと進化する予定である。オストメイトに寄り添うサポートツールとして、**紹介していただけたら幸い**である。

無 料　**ダウンロードできます**

オストメイトで検索！！

■アプリ名：オストメイトなび
■アプリの種類：医療・ヘルスケア
■デバイスの種類：iPhone, iPad mini, Android
■言語：日本語、英語（2019年までに、6か国対応予定）
■価格：無料
■開発元：NPO法人エムアクト（http://www.m-akt.jp/）

App Store からダウンロード　Google play

使用データ	全国のオストメイト対応トイレの情報
データ形式	csv
提供形態	スマートフォンアプリ
受賞歴	日本トイレ大賞2015 優良事例として紹介（内閣官房） 日本トイレひと大賞2016 受賞 東京都オープンデータアプリコンテストにて優秀賞　受賞
地域	全世界

このプロジェクトが目指すもの



- ミクロの視点：個人に対して
  - オストメイトの**QOL（生活の質）向上に貢献**する
- マクロの視点：社会に対して
  - オストメイトの**社会的認知度の向上**
  - オストメイト**対応トイレの重要性を伝える**
  - 患者・医療機関・企業・自治体の**繋がりを強固に**する
  - 2020年オリンピック・パラリンピックを視野に、**日本のバリアフリーの新たな試みとして、世界の仲間に発信**する



希望を反映したランニングコースを提案する

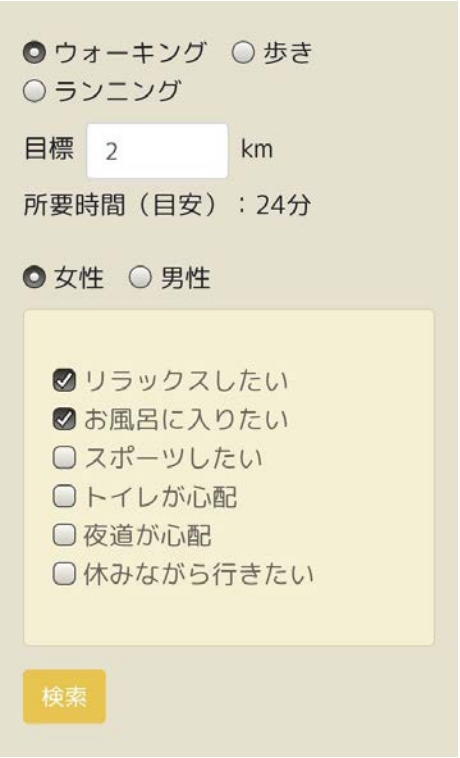
ruprun!

By 犬伏萌々子・海老澤大喜

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

ユーザの希望に沿ったランニングコースを提案するアプリです。
町巡りをしながら運動や、銭湯に行くために運動など、運動が苦手な方でも続けられることをコンセプトにしました。
（2019年3月サービス開始）

どんなコースにしたいか、条件を選びます。





条件に合うような地点を経由するコースを自動的に提案してくれます。

ruprun! 誕生の キッカケ

- 若い世代でも、運動を続けらない人が多い。
- リラックスしたり、銭湯に行ったり、運動を目的としなければ、運動を続けやすくなるのではないかと考えた。
- 運動嫌いな開発者がジム通いを続けられた理由（ジムに置いている特別なシャンプーを使いたいという思いがモチベーション）が制作のきっかけ。



ruprun! でこう 変わった！

- 運動以外の目的を提案することで、運動が苦手な方でも続けられる。
- 様々なスポットを提案することで、新たな発見と共にその街をより知ることができる。
- また、既に運動を続けている方でも、毎回ルートが異なるので自分で考える手間が省け、楽しみが増える。



※ruprun!をご利用の際はWebブラウザの位置情報取得をオンにしてください。

希望を反映したランニングコースを提案する

ruprun!

By 犬伏萌々子・海老澤大喜

防災減災　少子高齢　産業創出　防犯医療教育等

運動を日常に

ruprun!はユーザの希望に合わせてランニングコースを自動的に提案するアプリケーションですが、ランニングだけではな、**散歩、ウォーキング、観光地巡り**にもご利用いただけます。

- **自宅へ戻ってくるランニングコース**
- **観光施設を巡ってホテルへ戻ってくるコース**
- **公園で休憩しながら散歩できるコース**など、**様々な使い道**があります。

行き慣れてよく知っているような土地でも、ruprun!を使うことで、知らなかった新たな観光スポットを発見できるかもしれません。
また、**同じ条件・同じ現在地で検索してもコースが同じになるとは限りません**。前回と違うコースを提案することで、日々違うランニングコースを楽しむことができます。



使い方

条件を指定して検索ボタンを押すだけです。
現在地からぐるっと一周、円を描くようにコースを提案します。
オープンデータは位置情報のデータを使用しており、コースの経由地点に使用されています。現在は港区・台東区・文京区のオープンデータのみを使用していますが、**それ以外の場所でも**お使いいただけます。

今後の展望

様々な地域のオープンデータ追加、一度検索して表示したコースの保存、高低差を考慮したコース選択、検索条件の追加などを考えています。ruprun!をより使いやすくしていくことで、**「運動を日常に」取り入れることを支援**していきたいと思います。

使用データ	港区・台東区・文京区の位置情報データ（公園、公衆トイレ、スポーツ施設など）
データ形式	CSV
提供形態	Webアプリケーション
受賞歴	東京都オープンデータアプリコンテスト 2018 知事賞・来場者特別賞受賞
地域	東京（オープンデータを使用した経路提案は使用データにある3区のみ）

オープンデータの組み合わせで楽しみながら運動を継続

ruprun!では簡単に始められるランニングやウォーキングを対象に、運動そのものではなく観光や銭湯巡りなどそれ以外の楽しみを取り入れることで運動を続けられるのではないかというコンセプトのもと作られました。そのような多様性に対応していくために、様々な種類のオープンデータを組み合わせることでruprun!はランニングを支援できるものになりました。使用しているオープンデータは、公園、公衆トイレ、スポーツ施設、銭湯、観光施設など多岐に渡ります。このように多様なオープンデータを組み合わせることで新たな価値を生み出せることが、オープンデータの魅力ではないかと思います。

スマート九州を目指して

BODIKオープンデータセンター

By 公益財団法人九州先端科学技術研究所(ISIT)

平成31年3月18日版

オープンデータ
支援ツール

「オープンデータ事業を通じて、産学官の垣根を超えたデータの利活用を促進し、九州全域のスマート化に貢献する」ことを目標に、BODIKオープンデータセンターでは以下の4つの事業に取り組んでいます。

Open Data Catalog Site

BODIK ODCS
https://odcs.bodik.jp/

オープンデータを公開するためのデータカタログサイトを自治体向けに無償で提供するクラウドサービスです。



Open Data Monitor

BODIK ODM
https://odm.bodik.jp/

公開されている自治体のオープンデータをすべて集めたワンストップポータルです。



Seminar & Training

BODIK ODST

自治体のオープンデータ担当者の会議体である九州オープンデータ推進会議や、総務省および内閣官房の研修事業を通して自治体へオープンデータ研修を提供しています。



Open Data Unified API

BODIK ODUA

APIでアクセスできるようにし、オープンデータを利用したアプリケーション開発を容易にします。



福岡市の校区情報を不動産情報サイトで表示した事例

https://www.ekimae-r-e.co.jp/search/map/

実施期間	2017年から
主な利用者	地方公共団体並びに企業
紹介URL	https://odc.bodik.jp/

アピールポイント

公開と利活用のギャップを埋めるツールを提供し、
データの公開から利活用の創出までをシームレスに支援します。



九州オープンデータ推進会議
セミナー・研修
BODIK ODCS

↓

無償のカタログサイトや研修などを通じた地方自治体の支援

BODIK ODM
BODIK ODUA

Code for Kyushu
民間企業とのビジネス実証
(PoB)

↓

市民団体の支援や民間企業とのPoBを通じた活用事例の創出

公開 → 利活用

オープンデータを使いやすく！

最高水準5つ星オープンデータを簡単に公開

令和2年3月2日版

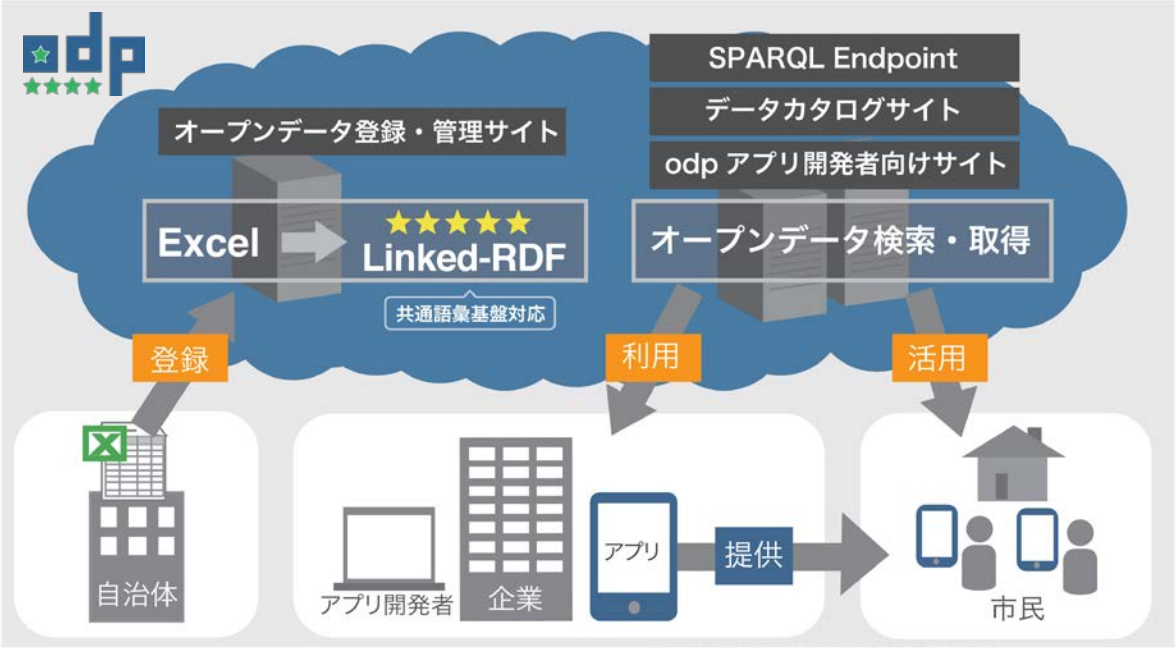
オープンデータプラットフォーム(odp)

By 株式会社 B Inc.

オープンデータ
支援ツール

地域住民に役立つサービス開発の活性化を図り、より豊かな社会の実現を目指すため、各自治体が所有するデータを簡単に5つ星オープンデータ化して公開できるASPサービス「オープンデータプラットフォーム」(odp)を提供しています。

odpでは、データを入力したExcelファイルをオープンデータ登録・管理サイトにアップロードするだけで、5つ星オープンデータ(Linked-RDF)に変換して公開することができます。
また、公開したデータを検索・取得しやすくするために、SPARQL Endpointやデータカタログサイトをご用意しています。



提供開始	2014年から
主な利用者	地方公共団体
紹介URL	https://odp.jig.jp/

アピールポイント

- ASPサービスなのでサーバを持つ必要なし
- Excelだけで簡単に5つ星オープンデータ化
- 公開したデータはodp対応のアプリですぐ使える
- 無料で避難所データを登録・公開できる

※SPARQL Endpoint
https://sparql.odp.jig.jp/sparql.html
※データカタログサイト
https://ckan.odp.jig.jp/
※odpアプリ開発者向けサイト
http://developer.odp.jig.jp/

最高水準5つ星オープンデータを簡単に公開

令和2年3月2日版

オープンデータプラットフォーム(odp)

By 株式会社 B Inc.

オープンデータ
支援ツール

導入事例

福井県鯖江市、静岡県三島市、東京都新宿区、東京都品川区

避難所や家庭ごみの収集日・分類のオープンデータを公開し、アプリで案内

■ヒナンパス　https://odp.jig.jp/hinanpass/



■ごみすてナビ　http://odp.jig.jp/gomisute/





下記URLでodp対応アプリを掲載しています。
※5つ星オープンデータ対応アプリ：https://odp.jig.jp/app_list/

オープンデータの公開から活用へ

官民オープンデータ活用支援

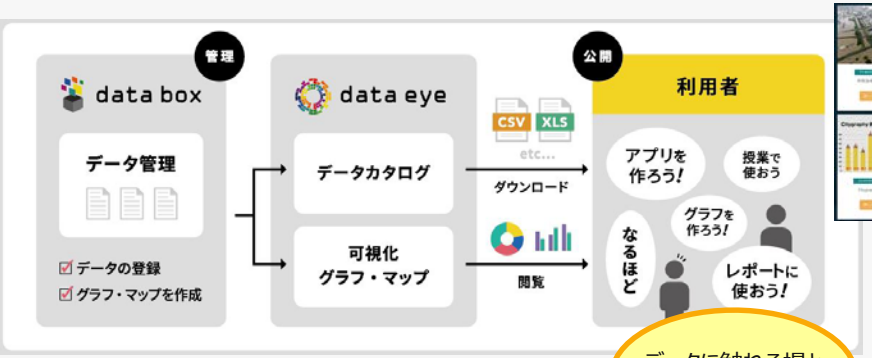
By 一般社団法人データクレイドル

オープンデータ
支援ツール

官民オープンデータ活用推進により地域活性化を図るため、組織をつないで利用できる機能（グループ機能）や可視化機能を備えたオープンデータプラットフォームの提供、データ活用人材の育成を行っています。

■オープンデータプラットフォーム「data eye」

オープンデータをグラフやマップで可視化することで、地域の現状や課題の把握、解決策の議論につなげます。EBPMや住民参加の課題解決へのデータ活用を支援しています。





官民オープンデータ活用

データに触れる場と発言の機会を提供

■データを活用する人づくり

データ活用ツールを体験利用できる場「データ分析サロン」を設け、データに触れる機会を提供しています。統計検定取得支援、分析ソフトやGIS（地理情報システム）ハンズオン等の技術習得とともに、アイデアソンやワークショップなどデータを「みて・考えて・議論」する機会を提供しています。






実施期間	2015年から
主な利用者	地方公共団体・企業・団体（商工団体、教育機関、町内会など）
紹介URL	https://dataeye.jp/ https://bousai-map.datacradle.jp/

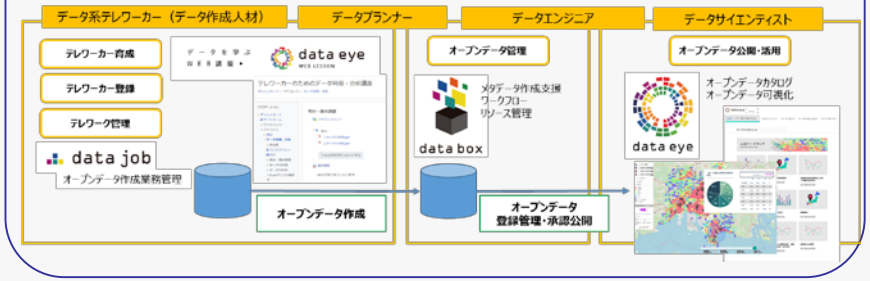
アピールポイント

テレワークで働き方改革

★ データづくりの仕事づくり ★



テレワーカーを育成して市民参画型の官民データ活用を推進。地名が読め、土地勘・生活実感がある地域人材が、生活の隙間時間を活用してオープンデータを作成。GISやAI用学習データ作成にもチャレンジ。



行政と市民の共創を促進するオープンデータ活用支援プラットフォーム

LinkData.org

By インフォ・ラウンジ株式会社

令和2年3月2日版

オープンデータ
支援ツール

2012年から運用を開始し日本のオープンデータを牽引してきた国内最大級の民間サービス。2020年2月時点で65自治体がオープンデータ公開に利用中。シビックテック等民間団体や個人の利用も多く、登録ユーザ数は4,500人超。

オープンデータの公開と利活用をサポートする4つの機能



LinkData:
データカタログサイト機能（データのアップロード・変換・公開）

App.LinkData:
アプリケーション公開機能（Webアプリ開発・公開・再利用）

Knowledge Connector:
データ利活用事例共有機能（データ利活用アイディア・ノウハウ・活動記録）

CityData:
地域別ランキング表示機能（データ・アプリ・アイディアの公開数・評価に基づくランキング）

実施期間	2012年～
主な利用者	地方公共団体、シビックテック
紹介URL	http://linkdata.org/

アピールポイント

- 無償で利用可能
- 表形式のデータをアップロードするだけで簡単オープンデータ化
- 機械判読性の高い複数の形式に自動変換



行政と市民の共創を促進するオープンデータ活用支援プラットフォーム

LinkData.org

Byインフォ・ラウンジ株式会社

令和2年3月2日版

オープンデータ
支援ツール

長野県須坂市：アプリのデータ更新を動物園職員が実施可能に

■須坂市動物園を題材としたクイズラリーアプリ
■クイズの問題や解答をLinkData.orgで管理

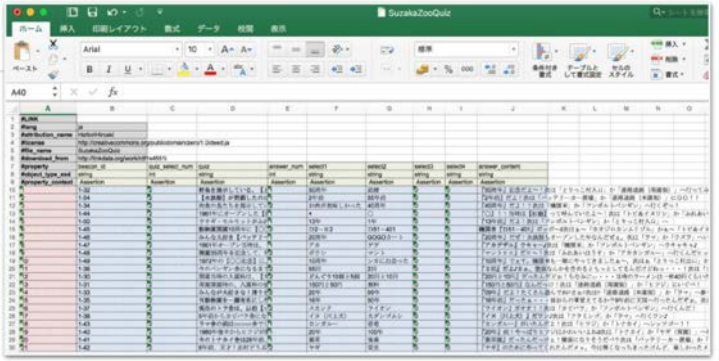
総務省地域情報化アドバイザー優良事業事例







Excelでデータを編集してアップロードするだけでアプリに反映可能
→現場の職員の方だけでメンテナンス完結



ダウンロード → データの書き換え → 再アップロード

データ活用コミュニティへの基盤提供による活用事例創出



毎年50件前後のLinkData.orgを使ったデータ活用事例が創出されている（データ活用コンテスト「LODチャレンジ」における実績）

LinkData.org 登録リソース数（2020年2月時点）

データセット数	10,219
アプリケーション数	1,336
その他のリソース数	2,433

※データ活用に関するアイディア・事例紹介ページ等の数

お問い合わせはお気軽にどうぞ！

linkdata@info-lounge.jp

Link Data Now!!

LinkData.org

オープンデータで九州の企業・自治体のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進

BODIK DX

By 公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）

オープンデータ
支援ツール

現在地などの位置情報に連動して、様々なオープンデータを検索できる「BODIK DX API」をRakuten RapidAPIで提供開始しました。
同APIを活用したLINE BOTでは、「ここ」を起点に生活や安全など気になる情報を手元で簡単に調べる「DX体験」ができます。



BODIK DX API

- 小学校区・児童数
- 中学校区・生徒数
- 小学校給食献立
- 公共施設
- 医療機関
- 公衆無線LAN
- 飲食店
- 地域・年齢別人口
- 指定緊急避難場所
- 土砂災害警戒区域
- AED設置箇所

LINE BOT

実施期間	2020年から
主な利用者	九州の企業、自治体、市民
紹介URL	https://dx.bodik.jp/

アピールポイント

生活者視点のデータ活用「**at hand**」



京都市のオープンデータの取組

KYOTO OPEN DATA

By 京都府京都市

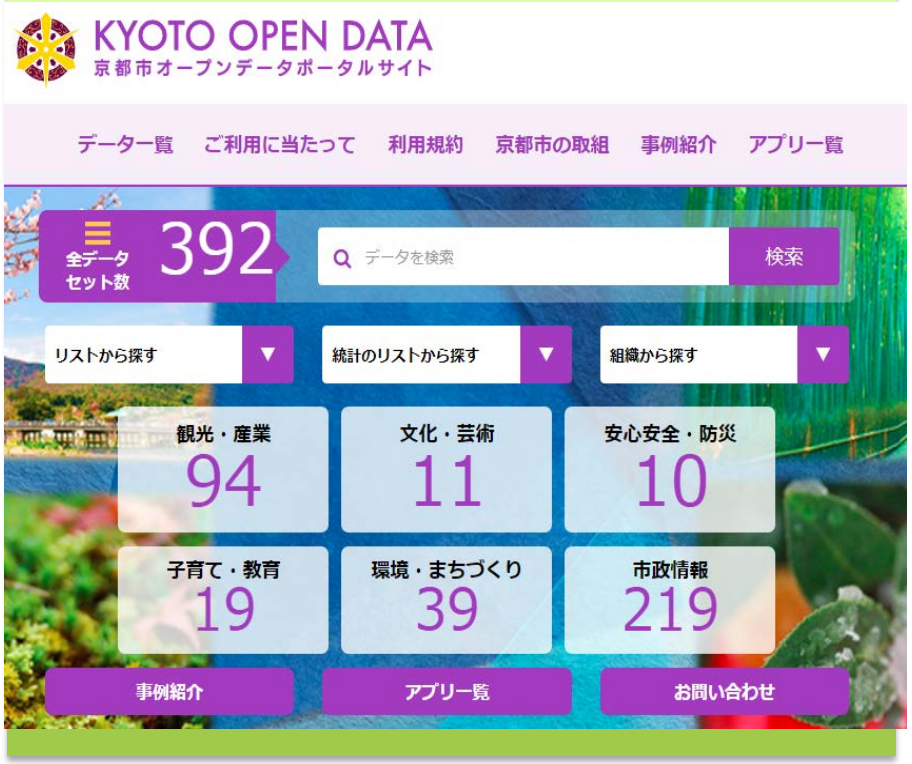
令和2年9月16日版

業務負荷低減に寄与した事例

政策立案に寄与した事例

原課が自らの判断により積極的にオープンデータを公開できる環境を、DKANをベースとして構築
オープンデータを活用した地域振興・地域課題解決を、市民等との協働により推進

京都市オープンデータポータルサイト



オープンデータ活用の キッカケ

- 京都市ではこれまでから京都の強みを活かしたまちづくりを推進してきたが、社会経済情勢の変化に対応した、より効果的な新しい政策が常に求められている。
- 上記を背景とし、平成28年度にオープンデータ事業を開始
- 「観光・産業」「文化・芸術」「安心安全・防災」を中心にあらゆる分野のデータを公開、それを市民等が利活用することによる様々な効果を期待



オープンデータの活用でこう 変わった！

- 官民協働で地域課題に取り組み、データを利用した解決の実装を目指す活動を展開
- 大学の研究活動における行政データ活用
- 担当課職員のデータリテラシー向上



京都市のオープンデータの取組

KYOTO OPEN DATA

By 京都府京都市

令和2年9月16日版

業務負荷低減に寄与した事例

政策立案に寄与した事例

オープンデータを活用した
地域課題解決と市民協働の推進

京都市のオープンデータ事業は、行政が一方的にデータを公開するだけでなく、市民や民間団体との協働が重要であるとの認識のもと展開している。

オープンデータのニーズ把握等を目的とした市民等との「意見交換会」の定例的な実施に加え、大学等における講演等を通じた啓発活動、さらにはデータを活用した地域課題解決を目的としたコンテストへ積極的に参加している。

とりわけ、自治体が地域課題と関連データを提示、それに対する市民のアプローチが審査されるコンテスト「チャレンジオープンガバナンス」においては、2017年度は最高位の賞に当たる「オープンガバナンス総合賞」を受賞、2019年度にはチーム名「Pharmatching しておくれやす☆」の取り組みが全国1位に選ばれるなど、高い評価を受けている。



使用データ：市の保有するあらゆる分野のデータ

データ形式：CSV、エクセル等

地域：京都府京都市

APIの有無：有

コスト
- 初年度　約500万円（構築、保守、操作研修）
- 2年目以降　約300万円/年（保守＋サーバー利用料 ）
- オープンデータ担当人員：3名（兼務）

受賞歴：VLEDの2017年度表彰にてウイングアーク1st賞，東京大学オープンデータセンター（UTODC）賞

京都市のオープンデータを利用して作られた各種アプリを以下のURLで紹介しています。
一度お試しください。
https://data.city.kyoto.lg.jp/appli

WebAPIを活用したリアルタイムな情報のオープンデータ

令和2年9月16日版

業務負荷低減に寄与した事例

窓口混雑情報・イベント情報のオープンデータ

By 神奈川県川崎市

区役所窓口の混雑情報やイベント情報を、WebAPIによりオープンデータとして提供し、民間のホームページやアプリとリアルタイムに連携。様々なチャンネルで市のイベント情報などを発信。

窓口混雑情報のオープンデータ化の取組

各区役所の窓口混雑情報を、リプライス株式会社の協力を得て、リアルタイムなオープンデータとして公開

各区の窓口受付情報



リプライス株式会社

区の窓口混雑情報を収集・解析し、格納データをWebAPIでオープン化



解析サーバ　データベース　オープンデータ

- **リアルタイムなオープンデータとして誰でも利用可能**
- **民間のホームページ**や**アプリ**との**連携が可能**となり、待ち時間を買い物などの他の用事に活用するなど、**時間の有効活用**が期待される。



オープンデータ活用の キッカケ

- 市内の各区役所の窓口混雑情報はそれぞれ区ごとに違う形式でホームページに掲載しており、統一感がなかった。
- 市内のイベント情報は、民間が主催するイベント情報も含め、市公式のかわさきイベントアプリで情報発信しているが、アプリを利用していない方にも幅広く情報を届けたい。また、イベント情報の内容は随時更新されるため、CSVデータでオープンデータ化しても活用されにくい部分があった。



オープンデータの活用でこう 変わった！

- 民間企業の協力を得て、窓口混雑情報をリアルタイムな形でオープンデータ化することで、情報を集約して表示でき、今後様々なサイト等で活用され、市民の目に触れる機会が増えることで、**窓口の混雑緩和や平準化**が期待される。
- リアルタイムに変化するイベントアプリの情報をWebAPIによりオープンデータ化することで、アプリに登録した情報が、今後様々な民間サイト等で掲載されるようになり、**幅広い方々にイベント情報が伝わりやすくなる。**



WebAPIを活用したリアルタイムな情報のオープンデータ

令和2年9月16日版

窓口混雑情報・イベント情報のオープンデータ

業務負荷低減に寄与した事例

By 神奈川県川崎市

リアルタイムに変化する情報をオープンデータ化することで、活用の幅が広がる

イベント情報のオープンデータ化の取組

川崎市内のさまざまなイベント情報を掲載している「かわさきイベントアプリ」の情報を、リアルタイムな形式でオープンデータとして提供

かわさきイベントアプリ



かわさきイベントアプリでは、行政と民間のイベント情報を集約し情報発信しています。



イベントアプリサーバー

行政のイベント情報

民間のイベント情報

① 欲しいイベント情報をリクエスト

例:○月○日～○月○日のイベント
:子育て分野のイベント　など

② 最新のイベント情報を提供

リクエストの内容に基づきWebAPIによりホームページ等で扱いやすい形式でオープンデータとして提供

JSON or XML

イベント情報等を掲載している民間サイト

iTSCOM

いこーよ



マチマチ

母子モ

など

③最新のイベント情報をオープンデータとして誰でも利用可能

使用データ	窓口混雑情報・イベント情報
データ形式	WebAPI（JSON・XML形式）
地域	神奈川県川崎市
APIの有無	WebAPI （リアルタイム窓口混雑情報、イベント情報）
コスト	■窓口混雑情報のオープンデータ化 協定に基づき市の負担は無し ■イベントAPI用サーバ: イベントアプリの機能改修で対応

コラム

令和2年度中に川崎市LINE公式アカウント内にチャットボットシステムの機能を追加し、チャット上で窓口混雑情報やイベント情報を表示できるようにする予定です。



LINE公式アカウント

オープンデータで業務効率化

長野市オープンデータの取組

By 長野県長野市

令和2年9月16日版

業務負荷低減に寄与した事例

政策立案に寄与した事例

民間によるデータの利活用や政策の立案を目指して、様々な情報のオープンデータを公開。
地域住民によるデータ活用事例や情報公開請求の減少による職員の業務効率化に寄与。

近隣自治体とのオープンデータ勉強会



●オープンデータ勉強会の内容
会場　長野市役所　情報政策課
内容　WebGISを用いたオープンデータの可視化について
講師　ジオナレッジ合資会社　水野博史　様
コーディネイター　名古屋大学　遠藤　守　様
内容詳細
講師からの講演、実習内容の説明
各自治体職員がアプリ作成等の実習
質疑応答、フリーディスカッション

オープンデータ活用の キッカケ

オープンデータ活用の背景や、解決する課題について説明します

- 業務の効率化
  定期的な情報公開事務が負担！
  しかし、積極的に情報公開するのは不安！
- 今後どのように事業を進めるか
  近隣自治体はどのように事業を進めているのか？
  アプリがなかなか作成されない良い解決策はないか？



オープンデータの活用でこう 変わった！

- 食品営業許可に関するオープンデータにより情報公開請求が減少（H29年に比べて、40%減少）
- 公文書の取り扱い等を担当している部局もデータ公開のプロセスに加え、適切なデータ公開と原課の安心を確保
- オープンデータ政策をきっかけに、周辺自治体の情報担当者との繋がれる仕組みができた



オープンデータで業務効率化

長野市オープンデータの取組

By 長野県長野市

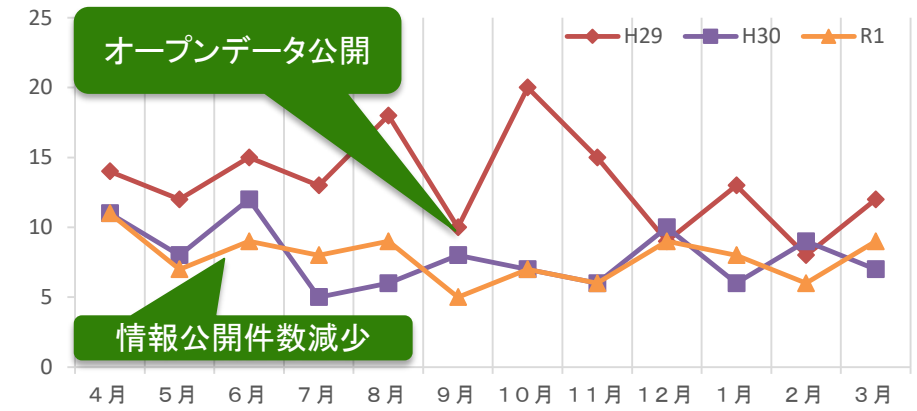
令和2年9月16日版

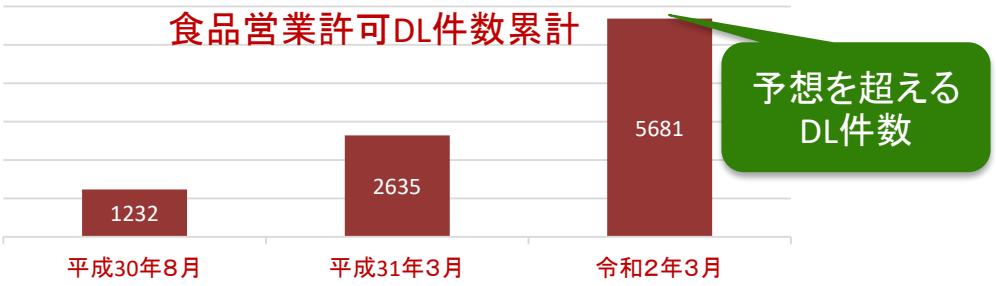
業務負荷低減に寄与した事例

政策立案に寄与した事例

情報公開請求件数が40%減少
ダウンロード数は予想を大きく超える

情報公開請求件数





ダウンロード件数も多く、データを有効活用いただいています

使用データ	新規営業許可、地区別年齢別人口、GIS等
データ形式	txt、xlsx、RDF、Shape
地域	長野県長野市
APIの有無	特になし
コスト	金銭的コストはゼロ

コラム

●公開データ内容を確認してもらうと安心

オープンデータ公開の交渉をするなかで、データは保護するという考えが強く、積極的に公開するということに抵抗を感じる方が多いようです。そんな時に「情報公開担当課にも確認してもらいますよ。」の一言で安心されるようです。

データは地域を救う。共同公開でもっと便利に！

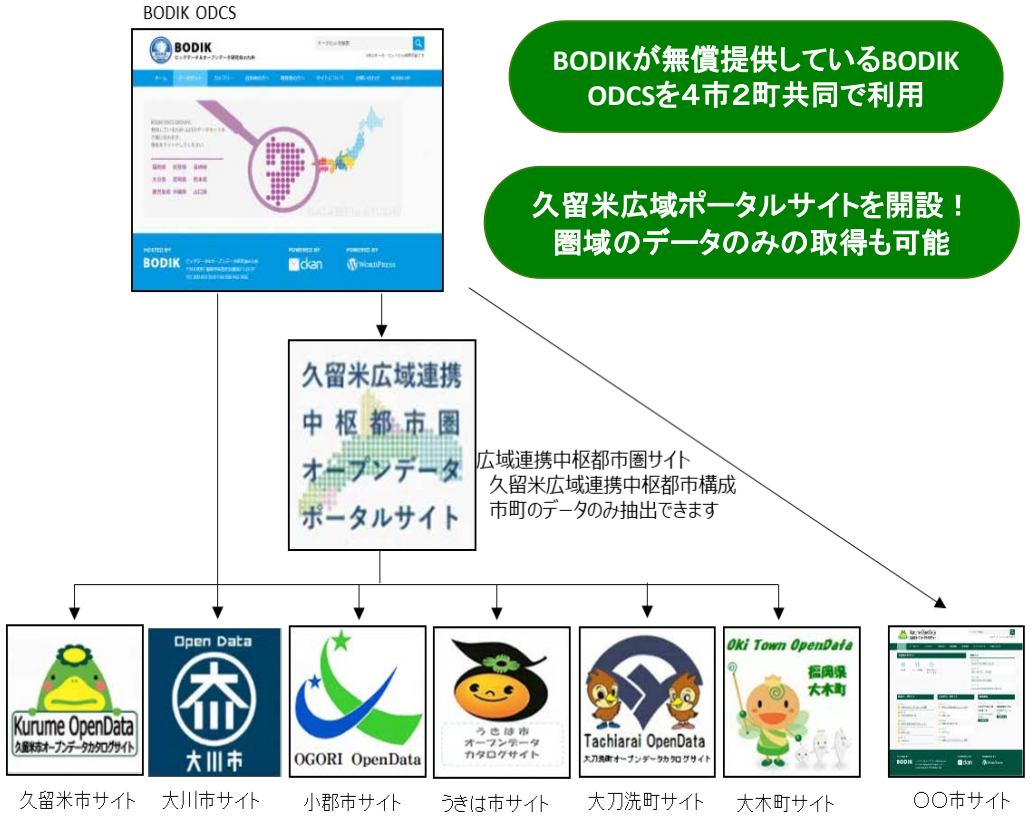
令和2年9月16日版

久留米広域連携中枢都市圏オープンデータ推進事業

その他
（広域連携による利活用事例）

By 福岡県久留米市

市単独ではなく広域連携でのオープンデータの公開を推進（2017年～）
広域市町でノウハウを共有し、共通フォーマットでデータを公開することで、データの利便性が向上



オープンデータ活用の キッカケ

- 広域で公開することで、より利活用しやすくなるデータがある（災害情報、観光情報等）
- 人口規模が小さな自治体では、人的資源が足りずオープンデータに取り組む余裕がない



オープンデータの活用でこう 変わった！

- 4市2町で横断的にデータを公開することができ、データの利便性が向上した
- 共通フォーマットによってアプリの共有が可能になった
- オープンデータの取組ができていなかった市町へノウハウの共有ができた



データは地域を救う。共同公開でもっと便利に！

令和2年9月16日版

久留米広域連携中枢都市圏オープンデータ推進事業

その他
（広域連携による利活用事例）

By 福岡県久留米市

市町の枠を超えたデータ公開のメリット

本事業は久留米広域連携中枢都市圏を構成する4市2町で久留米市を中心に平成28年度から環境を整備し、平成29年度から共通フォーマットによるデータの公開を行っています。令和2年6月末時点では、15の共通データセットを公開しています。

行政データの公開や、オープンデータカタログサイトの利用等の環境整備を行い、市民や企業等による利活用を促進することで、市民の利便性向上と地場企業の活性化を目的に始まった事業ですが、「**広域連携の枠組にのせたことでデータ所管課を説得しやすくなった**」「**オープンデータに関する情報共有ができ、各市町の知識が深まった**」など、データの利便性向上はもちろんのこと、自治体側の問題解消にも役立っています。

令和元年度より、広域ポータルサイトではオープンデータマップを利用して市町を超えて各種位置情報が確認できるようになりました。



使用データ
避難所、市町施設、保育所、人口、図書館、AED設置箇所、児童生徒数、ごみ収集日、公園情報等

データ形式
CSV

地域
福岡県久留米市・大川市・小郡市
うきは市・大刀洗町・大木町

APIの有無
有り
※カタログサイトはCKAN を使用しているのでCKAN APIが利用可能。

コスト
- 予算はゼロ。
- オープンデータ担当者は 2名（メイン担当 1名）

民産学官でアプリを作成



久留米市では、民（Code for Kurume）、産（久留米ICT組合）、学（久留米大学・久留米工業大学・久留米工業高等専門学校）、官（久留米市）で構成する久留米オープンデータ活用推進研究会にて検討を行い、久留米工業大学の協力のもと、健康保持・増進を目的とするアプリを開発しました。

令和2年9月16日版

北九州市におけるオープンデータの推進

By 福岡県北九州市

業務負荷低減に寄与した事例

その他
（広域連携による利活用事例）

問い合わせが多いものを優先してオープンデータとして公開することにより、職員の業務負荷が軽減しました。また、周辺自治体とともに都市圏単位でのオープンデータ公開に取り組み、データの積極的な利活用を目指しています。

業務軽減イメージ





KRIPP勉強会風景
（講師は公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT））

オープンデータ取組みの キッカケ

- 官民データ活用推進条例が議員提案によって制定され、庁内におけるオープンデータの認知度が上がり、オープンデータ化の取組みが促進されました。
- 北九州地区電子自治体推進協議会（KRIPP）における勉強会で、オープンデータを採り上げ、有識者による講演を行ったことで周辺自治体も含めオープンデータに取り組む機運が高まりました。

オープンデータの推進でこう 変わった！

- **窓口対応、電話対応の軽減**
  定期的にオープンデータとして公開することで、これまで電話や窓口で行ってきた対応業務が軽減される効果がありました。
- **都市圏としてのオープンデータ公開**
  KRIPPの勉強会で、オープンデータの公開についてワークショップ形式で実施し、データ公開を実現しました。
（R2.3月時点で16団体中10団体が公開。都市圏としてカタログサイトも運用）

令和2年9月16日版

北九州市におけるオープンデータの推進

By 福岡県北九州市

業務負荷低減に寄与した事例

その他
（広域連携による利活用事例）

窓口対応、電話対応の軽減

紙媒体の広報資料をPDF化して電子書籍事業者に使用してもらうことからスタートしたオープンデータですが、官民データ活用推進条例の制定やシンポジウムの開催により、庁内においても認知されるようになりました。

積極的にオープンデータ化に取り組んだ部署では、これまで窓口や電話で対応していた問い合わせ件数が減少し、業務の軽減につながりました。オープンデータの民間活用はなかなか目に見えづらいところですが、庁内業務でも効果が出ることを実感しています。

周辺自治体との連携

平成28年12月の官民データ活用推進基本法の施行を受け、例年KRIPP会員で行う勉強会で、オープンデータを採り上げました。

平成30年度の勉強会では、地域情報化アドバイザー制度を活用して、オープンデータ伝道師による講演を行いました。国や県がオープンデータを推進する方向性を示したこともあり、オープンデータに取り組む機運が高まりました。

令和元年度の勉強会では、九州地域でのビッグデータ＆オープンデータにかかわる人材育成、地域経済の活性化に貢献することを目的として活動する組織（BODIK）の事務局を担う公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）から講師を招き、オープンデータ公開の一連の作業をワークショップ形式で実演しました。

その結果、各自治体において、防災に関する情報（避難所データ）をオープンデータ化し、BODIKが運営するカタログサイトで公開することができました。

使用データ　避難所データ

データ形式　CSV形式

地域　北九州市、直方市、行橋市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、鞍手町、築上町

APIの有無　有り
（データカタログサイトが CKAN をベースにしているため、CKAN API が使用可能）

コスト
■北九州市のオープンデータカタログサイト
- 運用費：15万円程度（福岡県等との共同利用で費用抑制）
- オープンデータ担当職員1 名

■周辺自治体のオープンデータ
- 運用費：BODIKの協力により無料

北九州地区電子自治体推進協議会とは・・・

（Kitakyushu Regional Ict Promotion Panel）

北九州地区電子自治体推進協議会は、市民ニーズに即した質の高い行政サービスや効率的な行政を実現することを目的に、ICTを活用した「電子自治体」を推進する福岡県北東部の自治体有志で設立した組織です。安価で高度な情報システムを構築すべく、総合行政ネットワークやインターネット接続環境、GIS、システムバックアップサービスなどを共同利用しています。また、岩手県釜石市が行政データのバックアップサービスを共同利用したり、北海道室蘭市がGISの共同利用をしたりと、北九州地区を超えた広域連携も行っています。

広域化と共通化でオープンデータの価値向上

福岡都市圏オープンデータの推進

By 福岡県福岡市

令和2年9月16日版

政策立案に寄与した事例

その他
（広域連携による利活用事例）

「福岡都市圏オープンデータ」という取り組みを周囲の自治体とともに行い、ノウハウの共有などオープンデータの広域整備を推進しており、都市圏共通フォーマットでデータを作成することでデータの価値を高めている。

福岡都市圏オープンデータサイト

福岡都市圏オープンデータサイトでは、17市町のオープンデータをまとめて検索、閲覧できる。

https://odcs.bodik.jp/fukuoka-toshiken/



福岡都市圏オープンデータサイト開設のキッカケ

福岡都市圏では、住民の多くが圏域内の市町へ通勤・通学しており、17市町が一体化した生活圏となっているため、個別自治体のオープンデータのみでは、オープンデータを活用したサービスが生まれにくい。

福岡市では、市単独でのオープンデータの推進に加え、福岡都市圏で統一した共通フォーマットでのオープンデータ公開を目指して、本サイトを構築した。



福岡都市圏オープンデータサイトでこう変わった！

- **都市圏としてのオープンデータへの取組み**
  先行して取り組んでいた福岡市のノウハウを提供し、九州先端科学技術研究所（ISIT）が提供するBODIK ODCSを活用する事で、今まで取組みが進んでいなかった自治体もオープンデータの公開を始めた。
- **都市圏共通フォーマットでのオープンデータ公開**
  まず、共通フォーマットのオープンデータを活用して、複数自治体をまとめて避難所を検索できるアプリが開発された。
  また、これにより広域でオープンデータに取組むメリットが認識され、他の地域でも同様の取組みが加速した。



広域化と共通化でオープンデータの価値向上

福岡都市圏オープンデータの推進

By 福岡県福岡市

令和2年9月16日版

政策立案に寄与した事例

その他
（広域連携による利活用事例）

指定避難所検索アプリ

福岡都市圏オープンデータを活用した代表的な事例として、指定避難所検索アプリ（LINE BOT）がある。

- ●複数自治体の避難所をまとめて検索できる
- ●指定した位置から近くにある避難所が表示される
- ●避難所までの道順も表示される

指定避難所以外にも、公共施設や公衆無線LANアクセスポイントなども検索できる。



ISITが運営

LINE BODIK DX

使用データ	避難所データ（共通フォーマット）
データ形式	CSV
地域	福岡都市圏（福岡市＋16市町）
APIの有無	有り （複数自治体を横断的に検索できる BODIK DX APIを利用）
コスト	福岡市が独自運営しているカタログサイトは有償。 福岡市以外のほとんどの自治体は、BODIK のカタログサイト(BODIK ODCS)を使用しているため無料。

コラム

福岡市は、2017年に「福岡都市圏ワーキンググループ」を発足させ、ノウハウやカタログサイトの操作方法など実務について参加自治体に共有した。2018年には無料で利用できる「BODIK ODCS」を活用し、「福岡都市圏オープンデータサイト」を開設した。実務面、コスト面のハードルを下げることで、参加自治体がオープンデータに取組みやすくなった。

また、都市圏事業としてオープンデータ化を進めることで、各自治体で庁内の説得がしやすくなるという効果もあった。

なお、これらのオープンデータの取組みには、福岡市の外郭団体である九州先端科学技術研究所（ISIT）が大きな役割を担っている。

持続可能な地域と行政の実現へ

オープンデータによる協働・共創と効率化

By 福島県会津若松市

令和2年9月16日版

業務負荷低減に寄与した事例

政策立案に寄与した事例

オープンデータを「官民協働・共創」実現のツールとして位置付け、検討チーム設置など庁内整備を進めるとともに、産学官民で連携し地域課題解決に向け動いている。また庁内業務効率化にも利用する。

以前の流れ



データを追加するだけで、
Webアプリで自動成形し表示

公開データを活用してもらうため、
様々な場やイベントへ積極的に参加しPR





産学官民が連携した新たな取組や、地域課題解決に向けたプロジェクトが多数生まれている

オープンデータ活用の キッカケ

- 毎月人口統計データなどを市のウェブサイト上で公開していたが、手動でデータを見やすく成形してPDFにするのに手間がかかっていた。
- 地域で新しい活動や改善、自分たちのスキルを活かした貢献を主体的にしたい方々が、誰に相談していいか、どこに必要なデータがあるのかが分からない状態にあった。



オープンデータの活用でこう 変わった！

- 業務の効率化
  データ利活用基盤のAPIから読み込んだデータを分かりやすく表示するアプリを公開し、データ成形の業務負荷を大幅に低減した。
  作業時間を1/4に短縮（75%減少）
- 産学官民が連携した取組や課題解決が増加
  オープンデータを軸に、市民や地域コミュニティ、大学、地元企業などとの協働が活発化。新たな取組や課題解決のきっかけが多数生まれている。



持続可能な地域と行政の実現へ

オープンデータによる協働・共創と効率化

By 福島県会津若松市

令和2年9月16日版

業務負荷低減に寄与した事例

政策立案に寄与した事例

庁内外でオープンデータを活用

山積した地域課題の解決のためには、地域で主体的に活動し、行政とも協働してくれるプレイヤーを増やしていくことが重要です。
しかしながら、まず地域の情報（データ）を知ってもらわなければ、お互いに同じ目線で話をすることはできず、課題や問題を共有することも困難です。

会津若松市では公開したオープンデータを軸（入口）として、地域に興味を持ったり、まちづくりに参画するプレイヤーを増やしていくことで、結果として**オープンデータを利用した様々な取組や課題解決プロジェクトのきっかけが生まれています**。

また多くの自治体では、オープンデータ化のためのコスト（成形・公開）が足かせとなり取組が進まないケースが見られますが、**会津若松市ではオープンデータ化により逆にコストを下げることに成功しました**。

人口統計をはじめ、自治体で扱う多くのデータはシステムで保持・出力しているものも多いと思いますが、システムから出力した生データを人の目に見やすく加工するには手間が必要になります。
会津若松市では生データをそのままオープンデータとして公開し、データを見やすく成形する役割をアプリが担うことで、成形の業務負荷を減らしています。

使用データ	統計情報をはじめとした市保有データ
データ形式	主にCSV
地域	会津若松市
APIの有無	有り
コスト	■ 400 万円程度（オープンデータ利活用基盤保守運用代金、車両へのセンサー搭載等、オープンデータを含むデータ利活用推進事業予算） ■ オープンデータに携わる職員は2 名。

地域コミュニティ CODE for AIZU

CODE for AIZU（行動 for 会津）は、会津を良くしたいという思いのある人が、各々の立場やスキルでもって地域をより良くしていくための地域コミュニティです。

定期的に開催する活動「オープンカフェ」には産学官民様々な人が集まり、課題の共有や意見交換を通じて理解を深めるとともに、新たなプロジェクト発足のきっかけとなっています。

平成31年3月18日版

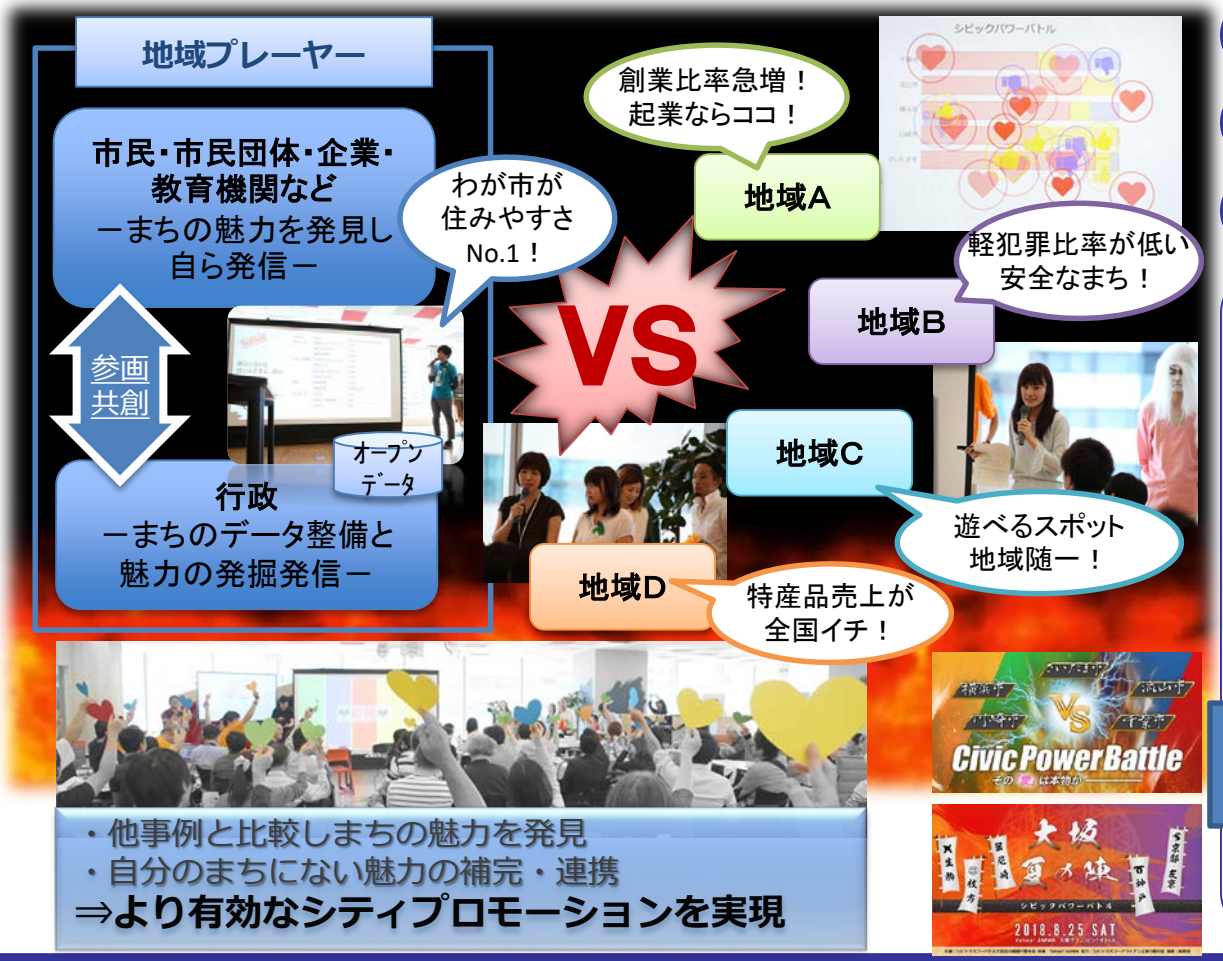
その愛は本物か！

シビックパワーバトル

By シビックパワーアライアンス実行委員会

アクティビティ

オープンデータを活用し、まちの埋もれた魅力を発掘・発信。シビックプライドを醸成するプレゼンバトル。
市民や団体、企業と行政が共創し、地域のあらたな魅力を発信する仕組みづくりに繋がるイベントです。



実施期間	不定期
主な参加者	地方自治体・企業・団体・一般市民 等
紹介URL	https://www.civicpowerbattle.org/

アピールポイント



「データ」に馴染みのない人でも参加でき、オープンデータへの興味と理解を促します！

2017年9月関東大会、2018年3月千葉市6区対抗、2018年8月大坂夏の陣、2018年10月オープンガバメント推進協議会、2019年2月川崎市南北対決、等開催実績・経験を活かし、全国での開催をサポートします

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

「その愛は本物か？」データを使って地域の魅力発信する～

神奈川県川崎市/川崎シビックパワーバトル2018

By オープン川崎

アクティビティ

川崎市を南北の地域チームにわけて、主にオープンデータを活用し、今まで埋もれていたまたは知らなかった「まちの魅力」を発掘し地域の魅力発信を目的としたプレゼン形式で対決するチーム対抗戦のイベントです。





開催場所	川崎市・JR川崎駅北改札上 エントランス広場「コモレビテラス」
主な参加者	川崎市民100名程度
紹介URL	https://cpb.openkawasaki.org/

イベントの開催を終えて・・・

- イベントでは、カワサキミナミ(川崎南)とカワサキキタ(川崎北)と2つの地域チームにわかれて、それぞれの地域の魅力をプレゼン形式で対決。
- カワサキミナミチームは「(働くところだと思われているだろうから)あえて、「住む」」、カワサキキタチームは「(ベッドタウンだと思われているだろうから)あえて、「働く」」、というテーマでそれぞれプレゼン。
- 参加者からは、オープンデータに触れ、街のことを改めて知るいい機会になったとの声もあり、引き続き来年も開催したいと考えています。

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

神奈川県横浜市/横浜インターナショナルオープンデータデイ2019

アクティビティ

By code for YOKOHAMA

公共機関が取り組んでいるオープンデータ政策を支援し、誰もが自由に使うことができるデータの創出・利用を促進するためのイベントを開催します。新市庁舎のVR体験等の展示や講演、ワークショップを並行して進行します。





開催場所	横浜市・情報科学専門学校
主な参加者	データ活用に興味のある社会人・学生：約50人
紹介URL	https://www.facebook.com/events/2313987432149450/

イベントの開催を終えて・・・

- IODDに関わらずオープンデータを活用するイベントは横浜地域で頻繁に開催されるようになり、1日だけ特別なことを行うというよりも、日頃の諸プロジェクトの流れの中での1マイルストンとしてIODDの機会を利用したという位置付けだった
- 横浜では過去に大規模なイベントを開催していたが、その日だけ盛り上がる形では意味がないので、イベント運営で無理をしない形で、プロジェクトとしての継続性を重視する形に変わってきた
- 毎年開催している中で、多様なコンテンツも蓄積され、毎回顔ぶれが同じということはなく新しい層の参加も多く、コミュニティとして良いサイクルが回ってきている

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

滋賀県大津市/アプリ活用イベント in Otsu

アクティビティ

By 大津市役所

観光スマホアプリ「いしぶみ巡るっ！」を利用して、まち歩きを行い、各コースに設定された碑を巡って、撮影した写真の得点を競うイベント。



開催場所	大津市・しがぎんホール
主な参加者	まち歩きや・石碑・オープンデータ等に興味のある方・50名程度
紹介URL	https://iodd2019.code4shiga.org/

【当日のスケジュール】

10:00 – 12:00	講演1～4、アプリ説明、インプットセミナー
13:00 – 13:15	まち歩きの事前説明
13:15 – 16:00	まち歩き
16:00 – 16:30	得点集計
16:30 – 17:00	アンケート回答、表彰式、講評

イベントの開催を終えて・・・

- 市内に設定された35ヵ所のチックポイントをアプリを頼りに、親子参加を含めた40人前後の方々が市内を走る京阪電車を使うなどして巡りました。
  ※巡った碑データはサイトに公開
- まちあるき参加中にGoogleフォームを利用したアンケートを実施し、オープンデータやアプリ、まちづくりなどについて回答を寄せていただきサイトに公開しました。
- 過去開催したワークショップ型のイベントとは異なり、小さなお子さんなど多様な方々にオープンデータの活用を体験いただけました。

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

関西地区/オープンストリートマップ関西　大集結

アクティビティ

By オープンストリートマップ関西

各地の／各団体の／各参加者の活動報告をいただき、横のつながりを深め、オープンストリートマップの発展を狙う。



開催場所	京都府向日市・上植野町公民館
主な参加者	関西を中心に16名
紹介URL	https://openstreetmap-kansai.connpass.com/event/118851/

13:15-13:30	オープニング
13:30-17:00	全員によるLT大会
17:00-17:15	クロージング
17:45-20:00	激辛懇親会！

イベントの開催を終えて・・・

- 参加者全員にLT形式で活動報告をいただきました。
- 過去にどのような活動があったのか、初心者は何を学んだか、オープンストリートマップをどのように活用するか、指導する側のノウハウ等有用な発表があり、参加者のスキルアップにつながりました。

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

避難所情報をオープンデータとしてより活用しやすくするため、データ・フォーマットを標準化！

埼玉県戸田市/防災ワークショップ「避難所情報の標準化について」

By Code for TODA

アクティビティ

避難所・避難場所データの統一化を目指し、「避難所基本情報」の項目内容や活用方法等について、自由に意見を交換し話し合うワールドカフェ形式のワークショップを開催！



開催場所	戸田市新曽南多世代交流館（さくらパル）2F
主な参加者	Code for TODA 戸田市職員・11人
紹介URL	https://codefortoda.org/

【当日のタイムスケジュール】

13:30～13:40	開会
13:40～14:30	趣旨説明
14:30～16:00	ワールド・カフェ形式のワーク
16:00～16:30	まとめ・クロージングセッション

イベントの開催を終えて・・・

- 災害が起きたと仮定し、どんな情報が必要かアイデアを出す
- アイデアを分類し整理する
- 分類した情報項目を標準化する
- 成果まとめ

災害が起きた場合に市民目線でどんな情報が必要か議論し、その情報についての分類・標準化を行いました。データ連携する情報だけでなく、普段の備えや経験の共有の情報も必要との意見がありました。

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

長野県須坂市/健康ウォーキング&アイデアソン

アクティビティ

By 須坂市の情報化を考える会

「臥竜公園活性化」や「健康」をテーマとしたウォーキングイベントと須坂市臥竜公園および動物園をオープンデータ・ICT・IoTで盛り上げるアイデアソンを開催。



開催場所	須坂市・臥竜山公会堂
主な参加者	「臥竜公園活性化」や「健康」に関心のある方・３０名程度
紹介URL	https://www.facebook.com/events/251351912460830/?active_tab=about

【当日のスケジュール】

10:15 – 10:20	オープニング、呼びかけ人挨拶
10:20 – 10:50	講演
10:50 – 12:00	イベント説明およびウォーキング実施
13:00 – 13:10	会場間コミュニケーション
13:10 – 14:50	アイデアソン
15:00 – 16:00	成果発表会
16:00	まとめと表彰・クロージング



イベントの開催を終え・・・

- 午前中はこれまでの須坂市におけるオープンデータ推進の取組みについて情報共有および整理を行いました。
- お昼には、臥竜公園・須坂動物園を活性化することを目的とした健康ウォーキングを実施しました。特に竜ヶ池周辺に設置した国内初の私設基準点を巡ることで、須坂市の観光資源に対する理解を深めました。
- 午後はチームに分かれてアイデアソンを行い、その成果を発表しました。また県外他会場との会場間コミュニケーションを実施しました。

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

佐賀県/サガ麺データソン

アクティビティ

By Code for Saga

地域の食文化である“麺”をデータとして記録・記憶する為、2019年のオープンデータデイをキックオフの機会とし、佐賀の麺を食べて、データにするイベント。



開催場所	佐賀県・アバンセ第3研修室/ローカルメディアラボ
主な参加者	佐賀の麺文化に関心のある方・20名程度
紹介URL	https://code4saga.org/archives/833

【当日のタイムスケジュール】

10:30～10:50	オープンデータデイについて
10:50～11:15	佐賀の麺を語ろう
11:15～15:00	チーム編成→実食へ
15:00～17:00	サガ麺のオープンデータ化

イベントの開催を終えて・・・

- 佐賀ラーメンは、九州ラーメン発祥にも関わるほど伝統があります。ただ近年、後継者不足などで純粋な系譜の佐賀ラーメンが減りつつあります。そこでCode for Sagaでは、佐賀県内の老舗店舗で実食しデータ化する取り組みを行いました。県内を5エリアに分け、ひたすらラーメンを食べ歩く。中には5杯完食した参加者もいました。
- 我々の身近にある文化や地域資源を、市民の手でデータ化していくことで、さらにデータ利活用が推進されることを実感しました。

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

石川県/インターナショナル・オープンデータ・デイ2019 in ISHIKAWA

アクティビティ

By 一般社団法人コード・フォー・カナザワ（Code for Kanazawa）

県内外、また世界中で公開され始めているアートや学術系のオープンデータについて学び、それを活用するワークショップを実施。



開催場所	石川県・ITビジネスプラザ武蔵 6F 交流室2
主な参加者	アートのオープンデータに関心のある方・30名程度
紹介URL	https://cfk.connpass.com/event/118844/

【当日のスケジュール】

13:30 – 13:40	開演、オープニング
13:40 – 15:15	インプットセミナー
15:30 – 16:45	ワークショップ
17:00	閉会

イベントの開催を終えて・・・

これまでのオープンデータ・デイとは違い、様々な層の方にご来場いただけたような気がします。
皆さん、アート系のデータでかなり多くのものが使えることを知らなかったこともあり、大変興味深そうにインプットセミナーを聞いていましたし、著作権のことについても勉強になった感じでした。
また、実際にデータを活用してスマホケースを作るワークショップでは「こんなに簡単に作れるんだ」と驚きながら、とても楽しんでいました。

2019年9月2日版

福岡県北九州市/データサイエンス視点からのオープンデータの分析、アイデアソン

By 北九州市

アクティビティ

データサイエンス視点からのオープンデータの分析、アイデアソン。
オープンデータから北九州をより盛り上げる方法、新規ビジネスなどについて考えます。



10時00分	開場、受付開始
10時30分 ～ 10時45分	イベント趣旨説明、アイスブレイク
10時45分 ～ 10時50分	主催者挨拶
10時50分 ～ 11時50分	インプット①「手の平から宇宙まで！データサイエンスを知る」
11時50分 ～ 12時10分	インプット②「北九州市オープンデータ」
12時10分 ～ 13時00分	休憩
13時00分 ～ 14時00分	インプット③「PythonとTableauでオープンデータを可視化！」
14時00分 ～ 14時15分	分析テーマの紹介、チーム形成
14時15分 ～ 15時45分	チームに分かれてテーマに沿ったデータ分析、課題抽出
15時45分 ～ 16時00分	中間発表
16時00分 ～ 17時00分	データ分析から抽出された課題に対するアイデアソン
17時00分 ～ 17時30分	最終発表
17時30分 ～ 17時50分	表彰式、主催者総評
17時50分 ～ 18時00分	写真撮影

開催場所	北九州市・COMPASS小倉イベントスペース
主な参加者	本イベントに興味のある方・15名程度
紹介URL	https://code4kitakyushu.connpass.com/event/120636/



イベントの開催を終えて・・・

- オープンデータとデータサイエンスを組み合わせることにより、大変おもしろいインプットができる企画だった。各グループの分析・アイデアは個性的でこのイベントだからこそ出たアイデアと言える。
- イベント自体も、特にハンズオンセミナーに関しては参加者全員が真剣な姿勢で取り組み、非常に有意義なものとなった。
- 北九州市では5回目のオープンデータディだったが、来年も是非！との参加者が多く見られた。

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

大阪府/IODD大阪2019オープンデータを「世界」に発信するウィキデータ・ソン

アクティビティ

By Linked Open Dataチャレンジ実行委員会関西支部

ウィキデータ（https://www.wikidata.org/）というオープンな知識ベース（データベース）を、各自治体が公開しているオープンデータなどの情報に基づいて編集するハンズオンおよび、ウィキデータに入力したデータの可視化。



13:30～　開場
14:00～　オープニング
14:10～　ウィキデータ（Wilkidata）の紹介
14:30～　ハンズオン1：ウィキデータの編集
17:00～　ハンズオン2：ウィキデータの可視化
18:00～　成果の共有・クロージング
18:30～　イベント終了

開催場所	大阪府・大阪大学中之島センター
主な参加者	本イベントに興味のある方・11名
紹介URL	https://peatix.com/event/605790

イベントの開催を終えて・・・

- 近隣の自治体が公開しているオープンデータを使って、ウィキデータの編集を実施。入力、編集したデータは、その場で「オープンデータ/ LOD（Linked Open Data）」として公開される。
- ウィキデータは検索APIによりSPARQLというクエリ言語で検索可能。
- ハンズオン1で入力したデータの簡単な可視化アプリを作成。
- 参加者のほとんどが、初めてのウィキデータ編集だったが、それぞれ様々な気付きがあり、満足度が高かったと言える。

<インターナショナル オープンデータ・デイ2019>

2019年9月2日版

愛知県半田市/インターナショナル・オープンデータ・デイ2019in半田

アクティビティ

By はんだオープンデータ活用推進研究会

半田運河周辺から知多半田駅前まで、実際にまちを歩いて、まちにある物を調べ、それを地図に描くイベント。



- オープンデータについて解説
- ツール解説
- 町歩き
- OSMマッピング
- まとめ



開催場所	半田市・知多半田駅前クラシティ3階
主な参加者	名大生，日本土地評価システム(株)の方含め12名程
紹介URL	https://www.facebook.com/events/258535265040917/

イベントの開催を終えて・・・

- 昨年度まではアイデアソンを行いましたが，今回は町歩きイベントで実際に出かけたイベントの開催です！
- オープンデータの意義，OSMに関連した取り組みやGPSトラッキングの活用などの理解を深めました！
- これを機会に半田市OSMの充実化につながるよう頑張っていきます
- 日本土地評価システムさんから町歩きとマッピングに向けた大判地図を提供していただきました！ありがとうございます！

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

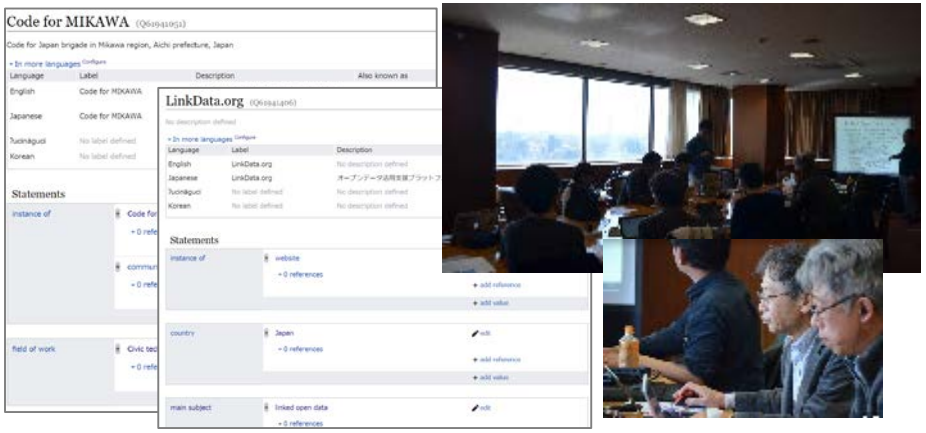
名古屋市/Wikidataでシビックテック界隈を構造化しよう！

アクティビティ

By Code for Nagoya / Code for AICHI

Wikidataに各地のシビックテック団体や、シビックテックがらみのコンテスト情報や有名アプリなどを登録して、シビックテック活動に参加しやすくしたり、過去の取り組みがチェックしやすくなるようなオープンデータを作ります。





開催場所	名古屋市・名古屋工業大学2号館11階ラウンジ
主な参加者	シビックテックやオープンデータに興味のある人・9人
紹介URL	https://www.facebook.com/events/388547498637125/

イベントの開催を終えて・・・

各地のCode for Japanブリゲイド同士でどんな横の連携があるかとか、いつからどんなコンテストが開催されているかをオープンデータ化しようとしたのですが、3時間程度では完全に網羅することはできず継続的にデータを編集していく必要がありそうです。
また、ブリゲイドの代表など各地のシビックハッカーについても登録を試みましたが、個人情報保護の観点からどこまでWikidataに載せて良いか、判断が難しいと感じました。

7 市町オープンデータ推進会議アディショナルタイム

愛知県尾三・尾東地区/オープンデータを Alexa でしゃべらせようワークショップ

アクティビティ

by 名古屋大学 安田・遠藤・浦田研究室

愛知県尾張地方東部地区や三河地方西部の自治体が協力して初のIODDを開催しました！
プログラミング未経験でもAmazonのAIスピーカー「Alexa」にオープンデータを喋らすことができました！



当日のタイムスケジュール	
午前の部	プログラミング不要のNOIDを使ってAlexaに観光オープンデータを喋らせよう！
午後の部	Node-REDを使って画像オープンデータを画面付きAlexaに表示させそう！

開催場所	名古屋大学 情報学研究科棟
主な参加者	7市町オープンデータ推進会議など約１５名
紹介URL	https://www.facebook.com/events/828495460834537/

イベントの開催を終えて…

・ 日進市, 東郷町, 長久手市, 岡崎市などの自治体職員さんに参加していただきました ！
・参加された全ての方が観光データをAlexaに喋らせることができました！
・「データが活用されていく現場を知ることで、データを開放していくことの重要性を再確認できました」(日進市の職員さん)

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

福井県鯖江市/インターナショナルオープンデータデイ福井2019 ～G空間に関していろいろ語ろう～

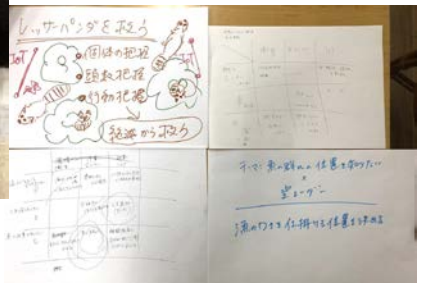
By Code For Fukui

アクティビティ

「衛星データプラットフォーム Tellus」を題材として、G空間情報を活用したサービスのアイディアを議論するイベント。







開催場所	鯖江市本町　らてんぽ
主な参加者	20名程度
紹介URL	https://fukuno.jig.jp/2413

イベントの開催を終えて・・・

- 福井県が衛星を打ち上げる（「宇宙ビジネス創出推進自治体」2018年、内閣府と経済産業省が福井県、北海道、茨城県、山口県を衛星データ等を活用した宇宙ビジネスの創出を主体的・積極的に推進として）ことから「衛星データプラットフォームTellus」を題材として、学生団体WITH、jig.jp、自治体職員等の参加で、福野さんの衛星データ、G空間情報の概要の説明後、3つのグループに別れアイデアを練り発表しました。

<＜インターナショナル オープンデータ・デイ2019＞

2019年9月2日版

静岡県掛川市/オープンデータデイ2019 in 掛川

アクティビティ

By Code for Kakegawa・掛川市

掛川市や近隣地域において、自動運転車、ドローン、古文書、OpenStreetMapなどを通じてデータ活用、ICT活用に取り組んでいる各種団体の展示、プレゼンを実施。



【展示団体・内容】
・Code for Kakegawa「ICTわな」
・掛川西高等学校「プロジェクションマッピング」
・島田商業高等学校「オープンデータ活用アプリ」
・日本Androidの会 浜松支部「Android端末流しそうめん」
・OpenStreetMap掛川「オープンストリートマップ掛川活動報告」
・中東遠ICTサミット「市域を越えた道路台帳オープンデータ化」
・掛川市教育委員会「古文書デジタルアーカイブ」
・Kwiksher「AI学習Car “Donkey Car”」
・ちっくん11（掛川市健康づくり課）「予防接種案内チャットボット」
・Code for Kakegawa&掛川市企画政策課「掛川城オープンデータ化」

開催場所	掛川市：大日本報徳社
主な参加者	本イベントに興味のある方・80人
紹介URL	https://www.facebook.com/events/532934953882261/



イベントの開催を終えて・・・

・地域でデータ利活用をされている方、ものづくりができる方、行政、課題を抱えている方々を繋げるいい機会になりました。
・これからも繋げる場として開催をしていきます。

2019年9月2日版

福島県会津若松市/オープンデータに関わる意見交換と、街に新しくできる建物のオープン化を目指す会議

By 行動for会津

アクティビティ

様々なところで講演をしているメンバーの「資料の共有化」を兼ねた発表を行った。また、街の中に新しくできる建物をどのようにオープンに進めていくかの検討を行った



イベントのスケジュール
会津大学の取り組み
会津若松市役所の取り組み
デザイニウムの取り組み
GIS検討チームの取り組み
施設についての紹介とディスカッション

開催場所	会津若松市　AiCT
主な参加者	会津大学、デザイニウム、シンク、会津ゼネラル 会津若松市役所オープンデータWG
紹介URL	https://www.facebook.com/events/2593277124022996/



イベントの開催を終えて・・・

- 普段は外で発表することが多いメンバーの貴重なプレゼンを見ることができた。定期的にこのような機会を設けたい。
- 小さな子供達や女性が参加しやすいオープンな場を目指した。→そのためには託児施設などがあると良い→新しい施設はオープンな場にするためにはそのような施策が必要である。